

第2回豊明市総合計画審議会議事録

平成26年9月29日（月）

午後1時30分～3時30分

豊明市商工会館イベントホール

1. 挨拶

○ 会長あいさつ

前回から4ヶ月経ち、その間にまちの未来を描き隊や職員、事務局など作業がだいぶ進んでいると聞いている。大変多くの資料があるが、委員の皆さんに活発にご議論いただきたい。

○ 石川市長あいさつ

第5次総合計画は今までの総合計画と違って具体的な事業は出てこない。めざすまちの姿という目標を定め、まちの未来を描き隊の皆さんに作り上げていただいたまちづくり指標により目標の達成度を測っていく。また、これから「役割分担値」を設定して、行政だけでなく市民の皆さんができること、NPOなどの団体、企業の皆さん、国や県など、それぞれの役割を分担するという新しい公共のあり方を第5次総合計画で創りあげていくことになる。

職員は現在、めざすまちの姿に対する事業の有効性を検討するためのツリー型ロジックモデルを作成している。少子高齢化時代を迎え、このまま何も手を打たないと財政も大変厳しいものとなる中で、目標を明確にし、ツリー型ロジックモデルを使って目標達成のために有効な事業を実施していく。職員も市民の皆様も、委員の皆様も意識改革をして、取り組んでいける総合計画にしたい。

○ 交代及び前回欠席の委員あいさつ

成田委員、寺田委員、太田委員、近藤委員、安藤委員

2. 議題

(1) 人口推計等基礎調査の報告について

○ 事務局（企画政策課長）より資料1及び2に基づき説明

● 質疑

(海老原委員)

資料7、8ページについて、人口推計は減少だが推計世帯数は増加となっている。このあたりについてもう少し説明をしてほしい。

(事務局)

現在も核家族化が進行していると言われるが、将来においてもこの傾向が続き、世帯あたりの人数が減るためと考えている。人口問題研究所のデータである。

(加藤委員)

本年5月に公表された日本創成会議の増田氏のレポートでは、1,800ある市区町村のうち半分が2040年までに消滅すると言われているが、そういった視点での検討はなされているか。

(市長)

具体的な検討というのではないが、個人的な考えでは、広域的な連携をとらないとまちづくりがやっていけない時代になる。今行われているよりも更に広範囲でのまちづくりが必要になってくるのではないかと考えている。

(加藤委員)

子どもを産む世代の女性が働いていける、若い女性の雇用を維持するという視点でのお考えは。

(市長)

出生率の問題にも大きく関わってくる。出生率をあげていく施策の中で考えていかなければいけないと考えている。

(太田委員)

豊明団地に住んでいる方と話した。最近、80代くらいの独居の方が豊明団地に引っ越しに来るのが目立っているらしい。高齢の独居の方は様々な理由で民間の賃貸物件を借りることができない。総合計画策定においても、豊明団地をどうしていくかを踏まえて人口の問題など検討していくべきだと思う。

(小川会長)

財政力指数について、全国または愛知県の中で見るとどのような位置にあるのか。

(行政経営部長)

豊明市の財政力指数は0.89である。全国平均は0.5程度で、愛知県内で49団体中1.0を上回るのは13団体である。順位については今資料を持ち合わせていない。

(2) めぎすまちの姿 (マトリクス 分野×理念) について

○ 事務局 (企画政策課長) より資料3及び4に基づき説明

● 質疑

(兼子委員)

資料3のP20の私の提案中の「意思」は「医師」が正しい。結果に問題はない。

(海老原委員)

大府市の総合計画では具体的に目標値を定めてある。絵に描いた餅にならないように、具体的な目標数値を設定するべきではないか。

(事務局)

議題(3)で説明する「まちづくり指標」で目標数値を定め、毎年数値の趨勢を測ることで進捗管理をしていきます。

(長山委員)

「市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している」について、「芸術」という文言を入れてほしい。芸術という言葉があると、豊明の伝統文化だけに限らず、広がりがあると思う。

(教育部長)

「文化」の中に「芸術」が含まれていると考えている。

(副市長)

文化については豊明独自のということにこだわらず広くとらえている。今後の策定においても長山委員の仰ったように適切に進めて行きたいと考えている。

(海老原委員)

治水の問題などや都市基盤についてなど、広域的に対策が必要な分野については、どの理念またはめざすまちの姿になるのか。

(事務局)

すべての事業について、必要に応じて広域的に取り組んでいくべきと考えている。「連携」という手段が、課題解決に向けて必要かつ有効である場合には当然採用していく。今回の総合計画は、めざすまちの姿を実現するための事業は柔軟に入れ替えていく、目標達成のための手段は常に有効性を測って改善していくものであるので、広域という手段をあえて出していない。

(3) まちづくり指標について

○ 事務局(企画政策課長)より資料5に基づき指標設定について説明

○ 市民フォーラム21後氏より追加資料に基づき指標の活用について説明

今回の第5次総合計画の特徴は、明確な目標を設定することである。今までの総合計画は事業に目がいきがちで、市として今後10年で一貫して目指す目標を決めるというものは少なかった。事業は目標を実現するための手段であり、事業だけを見て良い悪いを判断できるものではない。目標を実現するために有効か否かが事業の評価になる。41個のめざすまちの姿を明確に表したという点が成果志向への大きな一歩である。

事業の評価改善のために、まちづくり指標の推移を見て、めざすまちの姿が実現に近

づきつつあるのか後退しているのかを見ていく。まずは現状値を測定し、総合計画に明記する。この値を10年後にどこまであげていくのかという目標値を設定する。目標値については、実行不可能な数値を掲げると、かえって目標が軽視される可能性がある。

「10年間で」可能な現実的な目標値を掲げ、その数値まで上げていく手段をとるといふ枠組みを作る。

指標の数値が順調に推移しているものは事業を続ければ良い、停滞もしくは悪化していれば事業の有効性が低いということになり、事業の評価改善あるいは新規事業について検討していく必要がある。PDCAの重要な道具となる。

資料は東海市の10年分の数値の趨勢である。数字だけでなく、あらゆる附属情報を含めて総合的に目標の達成状況を計る必要があるが、数字なしで議論しても水かけ論である。また、外部評価と内部評価に違いがあるなど、主体によって異なる場合があるので、多角的に検討する必要がある。

● 質疑

(安藤委員)

「子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている」の指標に、子育て世代の定住を目指すような指標が必要ではないか。先ほど報告のあった基礎調査の中で、その世代が転出しているというデータの仮説的な説明として住宅不足などが指摘されていたので、指標としてあったほうが良いのではないか。

また、そもそもめざすまちの姿は強みを伸ばそうとするものなのか、弱みを克服しようとするものであるのか、それによって指標の視点も変わってくる。強みや弱みの詳細な分析がなされていないと観念的なものになってしまうのではないか。

(後氏)

今回の「めざすまちの姿」は、住民がどのような課題を重視しているか、という実感を表したものである。これをどう実現していくかという段階では、まさに今なぜ実現できていないのか、など原因や強み、弱みを分析する必要があるようになってくる。

(太田委員)

描き隊では、めざすまちの姿の達成度を測るためにどうすれば良いかという指標を出している。子どもの数が増えていない理由が住宅不足ということになれば住宅を増やす事業が出てくると考えられる。まちづくり指標はあくまで「まちの姿」という状態を測る指標である。

(眞田委員)

新しい公共というと、行政が担う役割と市民が担う役割というのがあるかと思うが、それは総合計画のどこに出てくるのか。

(事務局)

このあと「役割分担値」を設定していく。家庭、学校、地域、企業、NPOなど、それぞれの主体で分担していく割合を1%単位であらわしていく。これは期待値であり、意識付けとして示すものである。

3. その他

次回開催は3月下旬から4月予定。

内容は、役割分担値やまちづくり指標の現状値などの予定。

出席委員 兼子幸夫、成田勝幸、海老原勉、酒井克俊、寺田正樹、土方治、原由実子、長山加代子、田口一子、小川雄二、眞田明、堀井敏秀、大石雅子、前田稔、太田博文、加藤浩彦、安藤仁、斉藤克彦、丸山創平、近藤二、小田早樹子

欠席委員 外山隆一、松井俊和、宮本慶子、三輪泰久、黒田清隆、横田貞夫、山田緑、加藤年春

市職員 市長、副市長、教育長、行政経営部長、市民生活部長、健康福祉部長、経済建設部長、教育部長、議会事務局長、消防長

事務局 企画政策課長、企画政策課長補佐兼政策推進担当係長、経営管理担当係長、企画政策課職員3名、(特非)市民フォーラム21・NPOセンター 後、島

第2回総合計画審議会 次第

日時 平成 26 年 9 月 29 日(月)
午後1時 30 分～3 時 30 分
会場 市役所分庁舎(商工会館)
1階 イベントホール

1. 挨拶

2. 議題

(1)人口推計等基礎調査の報告について

(2)めざすまちの姿(マトリクス 分野×理念)について

(3)まちづくり指標について

3. その他

◇配布資料

- 資料1 … 基礎調査報告書
- 資料2 … 1300 年間の日本の人口推移(実績・予測)
- 資料3 … めざすまちの姿の追加提案一覧(最終案)
- 資料4 … めざすまちの姿マトリクス(分野×理念)(最終案)
- 資料5 … まちづくり指標一覧(最終案)
- 資料6 … 市民意識調査報告書
- 資料7 … 市民の潜在的なニーズ調査報告書

■豊明市総合計画審議会 委員一覧

属性	氏名	役職等
豊明市教育委員会	兼子 幸夫	委員
豊明市農業委員会	成田 勝幸	会長
豊明市区長連合会	海老原 勉	理事(吉池区長)
あいち尾東農業協同組合	外山 隆一	監事(豊明地区)
豊明市商工会	酒井 克俊	副会長
東名古屋豊明市医師会	寺田 正樹	委員
豊明市老人クラブ連合会	土方 治	副会長
豊明市連合婦人会	原 由実子	会計
豊明市文化協会	長山 加代子	会長
豊明市体育協会	田口 一子	常任理事
学校法人桜花学園(名古屋短期大学)	小川 雄二	保育科教授 教務部長
学校法人藤田学園	松井 俊和	大学長補佐
学校法人名古屋石田学園	眞田 明	学園理事
豊明市都市計画審議会	堀井 敏秀	会長
市民公募	大石 雅子	
〃	前田 稔	
〃	宮本 慶子	
まちの未来を描き隊	太田 博文	
〃	加藤 浩彦	
愛知県愛知警察署	三輪 恭久	豊明幹部交番所長
名古屋鉄道(株)	安藤 仁	事業企画部企画担当部長
独立行政法人都市再生機構 中部支社	斉藤 克彦	住宅経営部長
ホシザキ電機(株)	黒田 清隆	総務部部長
豊明経済懇話会	丸山 創平	会長
日本中央競馬会 中京競馬場	横田 貞夫	中京競馬場場長
豊明市心身障害者(児)福祉団体	近藤 二	会長
豊明市幼児教育研究協議会	山田 縁	マミーナ保育園 園長
豊明市自主防災組織連合会	加藤 年春	会長
市民活動(NPO)連絡協議会	小田 早樹子	書記

平成26年9月29日現在

第5次豊明市総合計画策定
基礎調査報告書

豊 明 市

目次

I	豊明市を取り巻く環境	1
1.	立地条件	1
	(1) 位置	1
	(2) 地勢	1
	(3) 交通網	1
	(1) 人口	2
	(2) 世帯数	3
	(1) 就業人口	5
	(2) 産業別構成	5
II	将来フレーム	5
1.	将来人口	6
	(1) 将来人口	6
	(2) 実績値の人口推移	6
	(3) 実績値による人口推計	7
	(3) 将来世帯数	8
2.	将来就業人口	9
III	過去の財政運営の分析	9
1.	歳入決算額の推移	10
	(1) 自主財源と依存財源	10
	(2) 市税	11
	(3) 国・県支出金	12
	(4) 交付金など	12
	(5) 地方債	12
2.	歳出決算額の推移	12
	(1) 歳出決算額の性質別推移	12
3.	財政指数の推移	14
	(1) 財政力指数	14
	(2) 経常収支比率	14
	(3) 実質公債費比率	15
IV	財政推計と課題	16
	(1) 公共施設・インフラの更新問題	16
	(2) 財政推計（超長期）	17

I 豊明市を取り巻く環境

1. 立地条件

(1) 位置

豊明市は、愛知県の中央よりやや西部に位置している。北は東郷町、東は刈谷市、西は名古屋市、南は大府市に接している。

(2) 地勢

豊明市の面積は 23.18 km²、周囲 27 km で、地形は台地と低地からなり、一帯の土地は、北部の標高 72m の二村山を最高に南に向かってゆるやかに傾斜し、全市平野部を形成している。市内には、若王子、井堰、正戸、皆瀬川等があり、これらの川が全て境川へ流れ込んでいる。丘陵地を造成した二村台、新栄町などの住宅地と境川の流域に広がった沓掛、大脇などの平坦な農地とに、大きく分けられる。

(3) 交通網

豊明市は、市南部に伊勢湾岸自動車道が東西に走っており、豊明インターチェンジが位置している。また、市南部に国道 1 号、国道 23 号が主要都市間を結ぶ幹線道路として東西方向に走っている。さらに、瀬戸大府東海線（主要地方道）と県道で骨格が形成されている。

公共交通機関では、名鉄名古屋本線が市南部を通過しており、中京競馬場前駅、前後駅、豊明駅が設置されている。前後駅では、急行が 10 分に 1 本程度停車しており、名古屋へは約 20 分で連絡している。また、名鉄バスが前後駅を起点に 6 路線で運行されるとともに、市による公共施設巡回バス（コミュニティバス）として、「ひまわりバス」が 3 台で運行している。

2. 人口

(1) 人口

図1から、豊明市の人口は、緩やかな増加傾向にある。年齢階層別で見ると、15歳未満の年少人口がほぼ横ばい、15～64歳の生産年齢人口が減少傾向、65歳以上の老年人口が増加傾向で推移している。この状況から、高齢化が進んでいることがわかる。

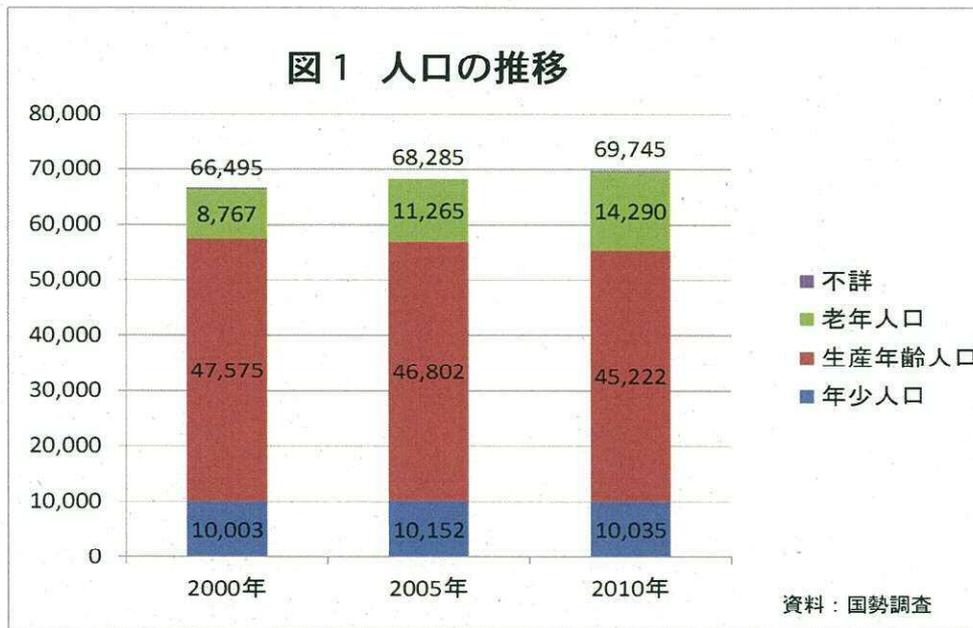
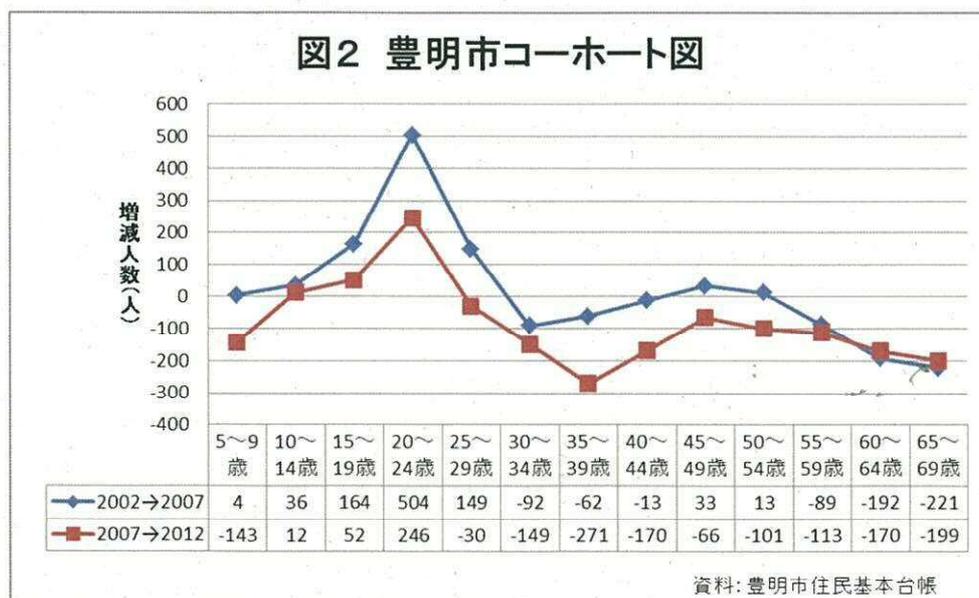
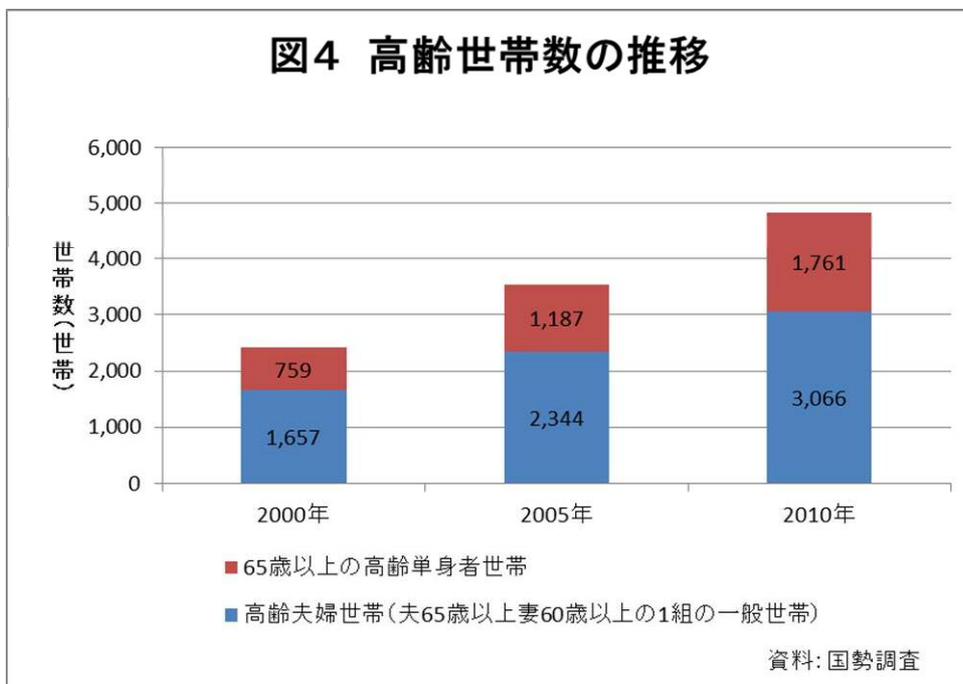
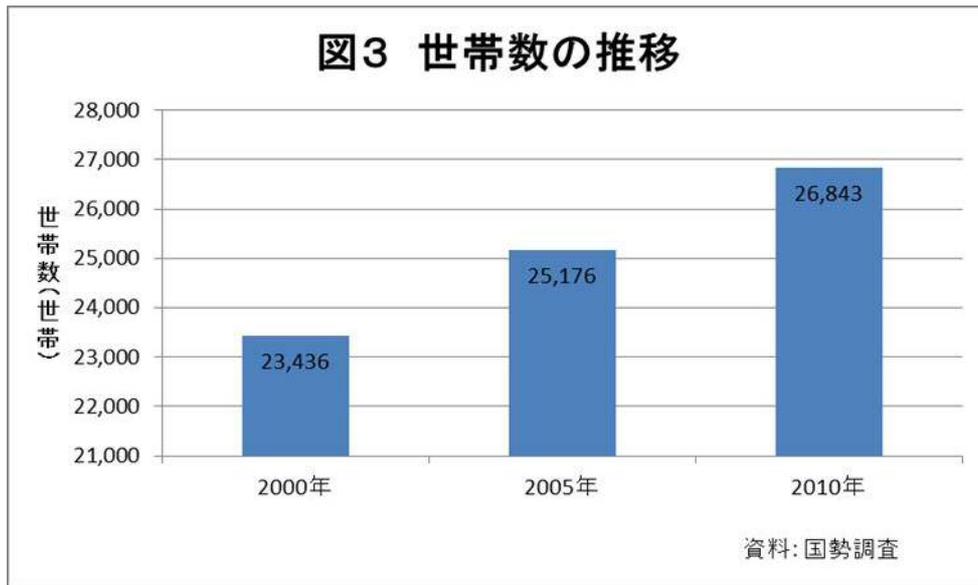


図2は、2002年及び2007年において、5歳階級別の各年齢層が5年の期間で何人増減したかを表している。豊明市の特徴として、15～19歳、20～24歳の階級の増加が顕著である。この要因として、市内に2つの大学があり、学生層が流入していることが考えられる。さらに、基準年2002年と2007年の比較から、20～24歳の増加率が低くなっていること、35～39歳の減少率が高くなっていることがわかる。35～39歳は子育て世代であり、5～9歳の減少にも影響を与えていると推測される。



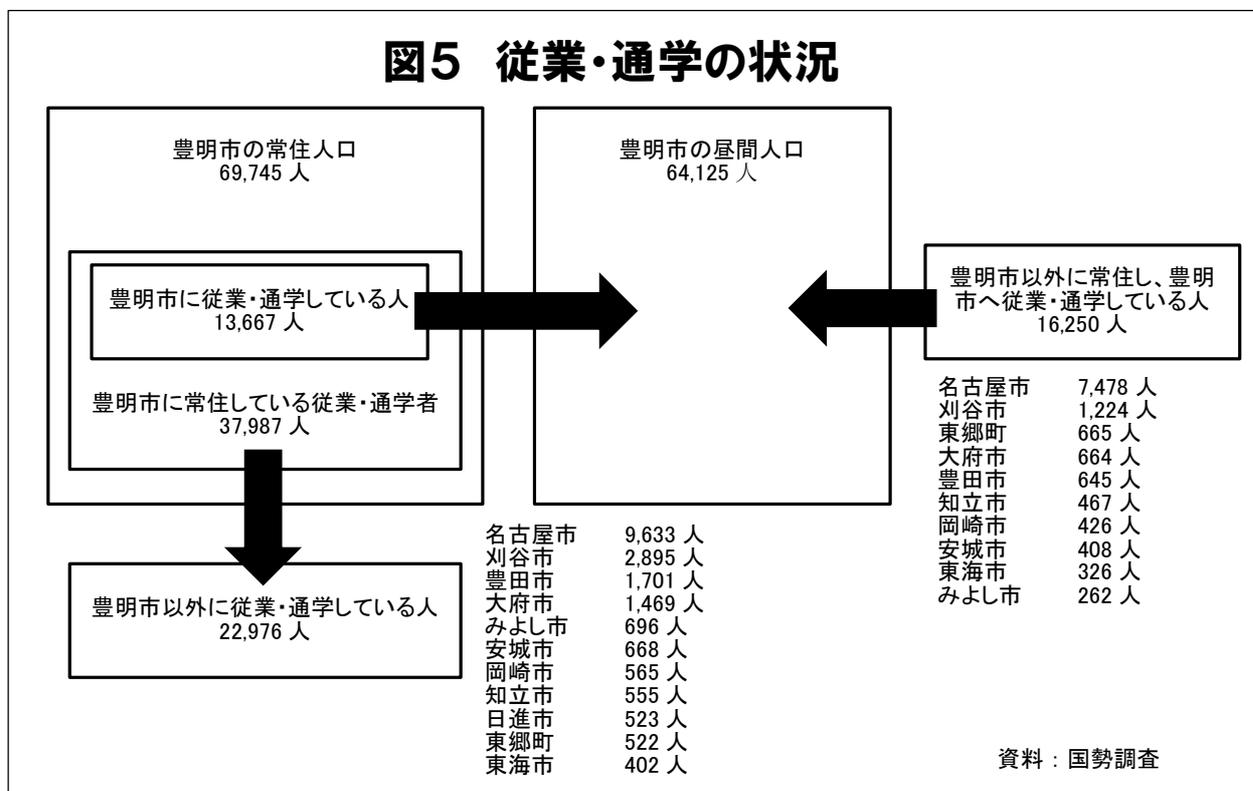
(2) 世帯数

図3から、豊明市の世帯数は、人口と同様に増加傾向で推移している。しかし、人口と比べて増加率が高くなっていることから、核家族化が進行しているものと推測される。さらに図4からは、高齢夫婦世帯と高齢単身者世帯が増加傾向にあることがわかる。図3の世帯数増加の原因として、高齢者夫婦世帯と高齢単身者世帯の増加によるところが大きいと推測される。



(3) 従業・通学状況

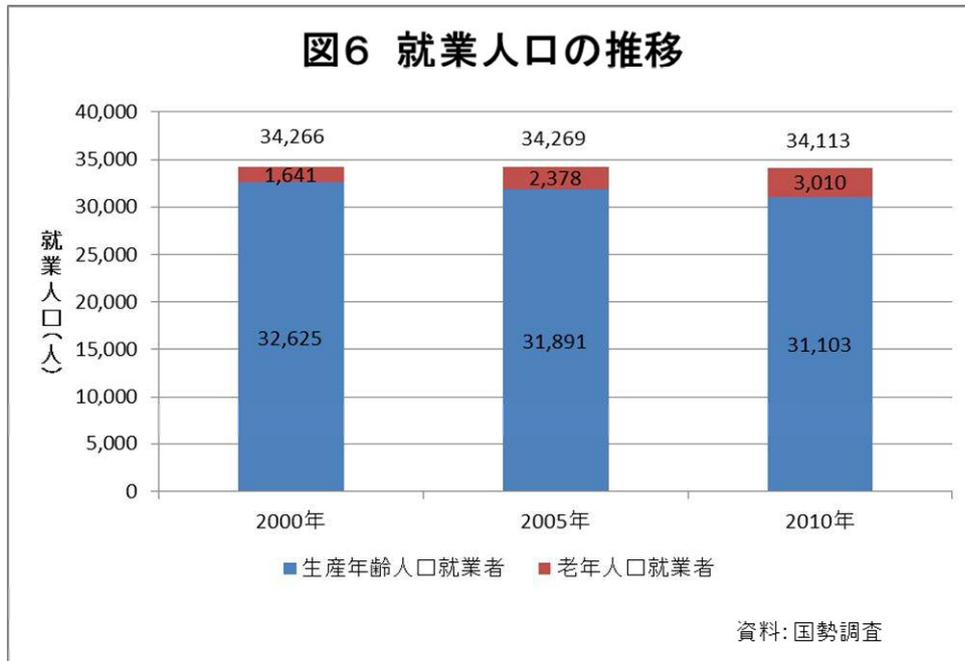
図5は、2010年時点において豊明市の従業者・通学者がどこで従業・通学しているかを表している。豊明市に常住している従業・通学者のうち、豊明市に従業・通学している人は13,667人(35.9%)、豊明市以外に従業・通学している人は22,976人(60.4%)である。豊明市以外に従業・通学地として上位にきているのは名古屋市(9,633人)、刈谷市(2,895人)、豊田市(1,701人)、大府市(1,469人)である。この状況から、豊明市は名古屋市のベッドタウンになっていることがわかる。一方、豊明市以外に常住し、豊明市へ従業・通学している人は16,250人で、常住地として上位にきているのは名古屋市(7,478人)、刈谷市(1,224人)である。なお、豊明市の昼間人口は64,125人、昼夜間人口比率は91.9%である。



3. 産業

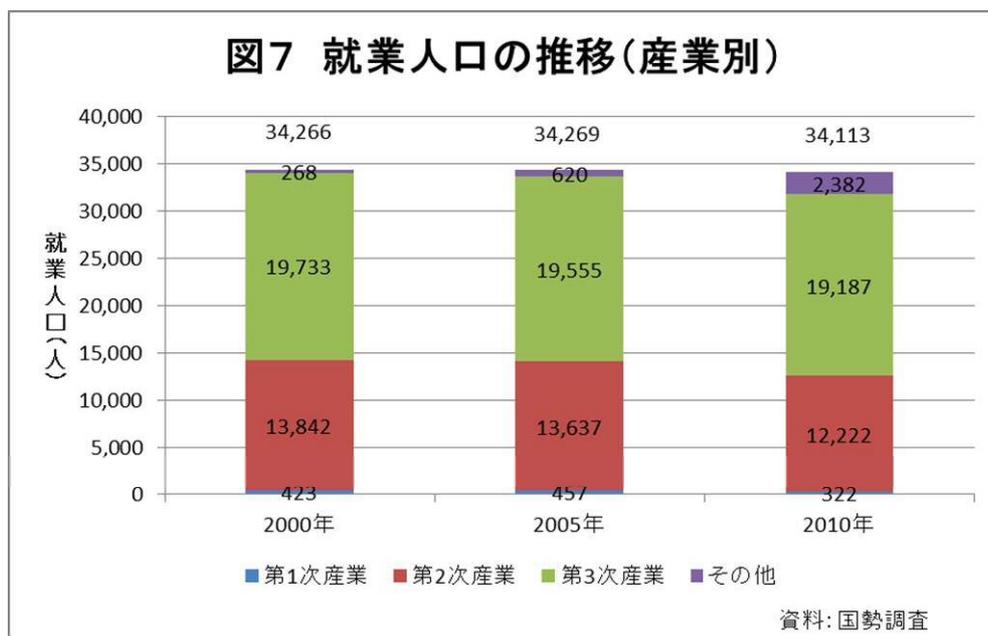
(1) 就業人口

図6から、豊明市の就業人口はほぼ横ばいで推移している。年齢別でみると、生産年齢人口（15～64歳）就業者は減少傾向にあるが、老年人口就業者（65歳以上）は増加傾向にある。



(2) 産業別構成

図7は、豊明市の就業人口を産業別に表したものである。なお、「その他」とは、「産業分類上、いずれの項目にも分類しえない事業所が分類され、これは主として調査票の記入が不備であって、いずれに分類すべきか不明の場合又は記入不詳で分類しえないものである」との定義がなされている。



Ⅱ 将来フレーム

1. 将来人口

(1) 将来人口

2010年の国勢調査を基に、2010年から2040年までの30年間（5年ごと）について、豊明市の年齢（5歳）階級別の将来人口を推計したものである。推計方法は、5歳以上の年齢階級の推計においては、コーホート要因法を用いている。

2015年までは人口は緩やかに増加傾向で推移するが、2015年以降は減少に転じると見込まれる。さらに、年少人口及び生産年齢人口は減少していくことが見込まれる一方、老年人口は増加が見込まれる。2040年には老年人口は33.7%となり、高齢化が進むことが予測される。



(2) 実績値の人口推移

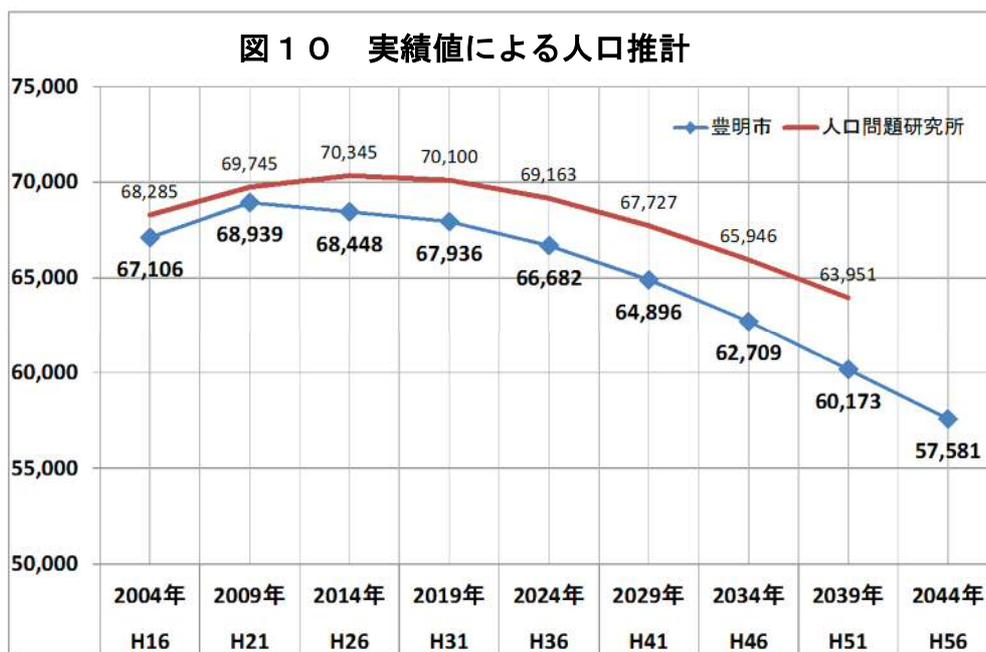
国立社会保障・人口問題研究所の推計では、人口増加は2015年まで続くと推計されているが、住民基本台帳登録者数（外国人を含む）実績値の推移では、2009年（H21）にピークを迎え、微減から横ばい状況になっている。従前から国勢調査人口と住民基本台帳登録者数（実績数）では、国勢調査人口の方が1,000人余り多くなっているが、国立社会保障・人口問題研究所の推計値2015年（H27）と実績値2014年（H26）との差は、2,000人弱まで開いている。



(3) 実績値による人口推計

国立社会保障・人口問題研究所の新しい人口推計は、国勢調査データを用い推計されるため、次回の2015年（H27）調査以降となる。そのため、第5次総合計画では財政推計など施策の基礎データとして活用するため、住民基本台帳の実績値を用いた人口推計を豊明市独自に行った。

推計方法は、同様にコーホート要因法により、2004年、2009年、2014年それぞれ4月1日現在の住民基本台帳（外国人を含む）データにより推計を行った。



注意：国立社会保障・人口問題研究所の数値は、2004年⇒2005年というように、それぞれ1年後の推計値です。

(3) 将来世帯数

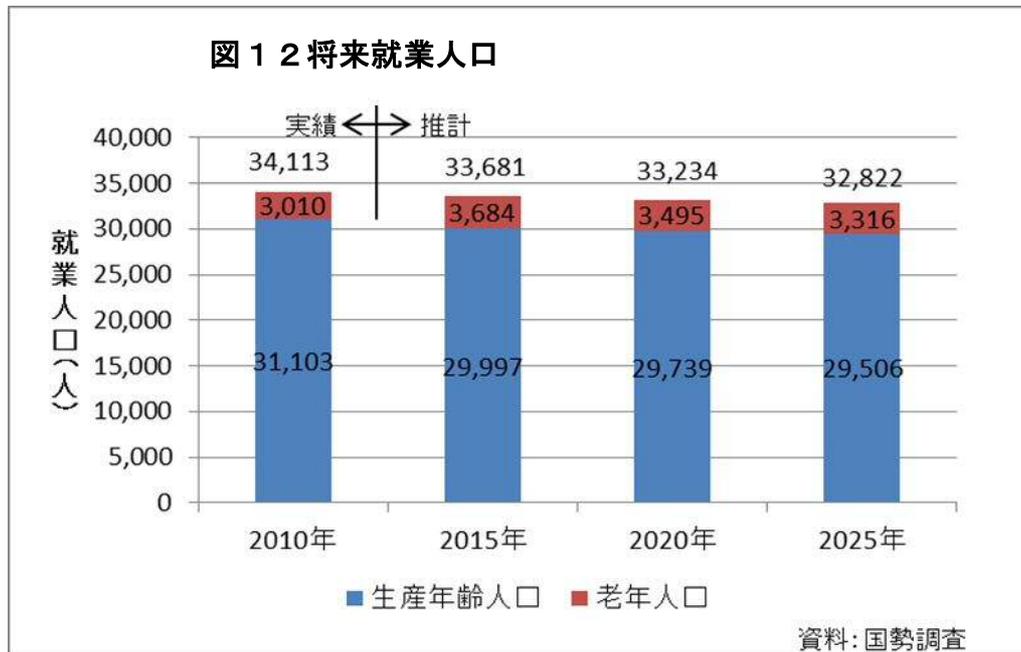
2010年から2025年までの15年間（5年ごと）について、豊明市の世帯数を推計したものである。推計には世帯主率法を用いている。

2010年までは増加傾向が続いているが、2010年以降も増加傾向が続くものと見込まれる。夫婦と子からなる世帯の世帯数は減少が見込まれるが、単独世帯及び一人親と子からなる世帯の世帯数は増加が見込まれる。



2. 将来就業人口

豊明市の就業人口は減少傾向が予測される。特に、生産年齢人口の減少が予測される。産業別にみると、第2次産業の就業者は減少が予測されるが、第1次産業及び第3次産業の就業者は増加傾向と予測される。



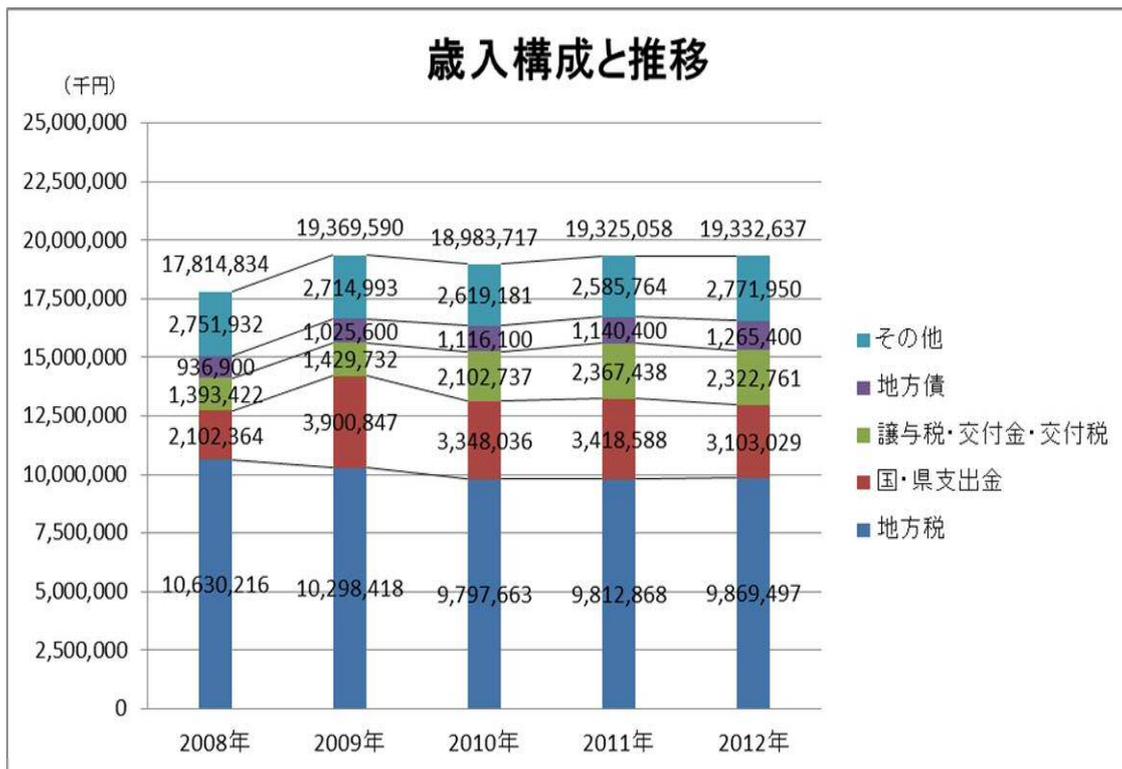
Ⅲ 過去の財政運営の分析

1. 歳入決算額の推移

(1) 自主財源と依存財源

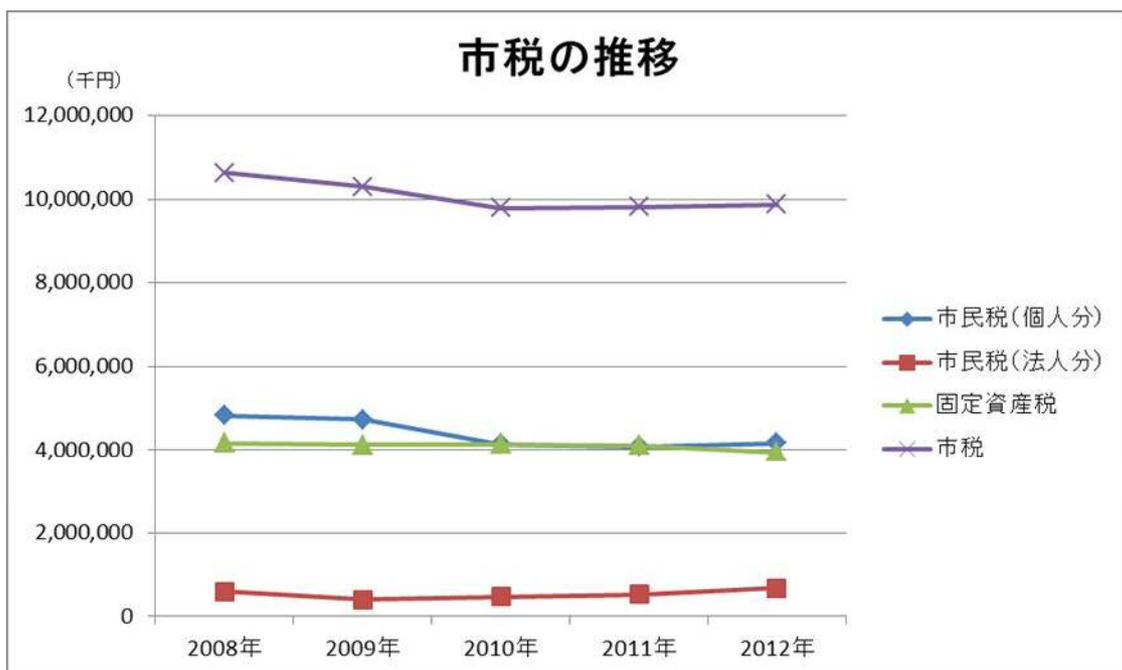
自主財源とは市税、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、繰入金などがある。依存財源とは収入の源泉を国・県に依存し、その額と内容が国・県の定める具体的基準ないし意思決定に係っている財源であり、地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債などがある。歳入に占める自主財源の割合が大きいくほど、行政経営推進における自主性と安定性が確保できることになる。2012年の決算においては自主財源の割合が65.4%となっている。





(2) 市税

歳入の根幹である市税収入は微減している。2008年に対して2010年は832,553千円の減少であるが、2011年、2012年は微増となっている。減少の要因は市民税（個人分）であり、今後、景気の動向と生産人口の減少による影響に留意する必要がある。



(3) 国・県支出金

定額給付金事業や子ども手当給付に伴う児童手当負担金などにより減少となった一方で、子ども手当負担金や生活保護費負担金などが増えている。

(4) 交付金など

豊明市は2009年より交付団体となり、普通交付税を受けている。また、一括交付金については、国から地方への税源移譲の短期間の過度的措置であり、その活用とともに真に自治体の自由度が拡大する制度となるように十分な協議を進め、自治体からの提言に努めていくのがよいと考える。

(5) 地方債

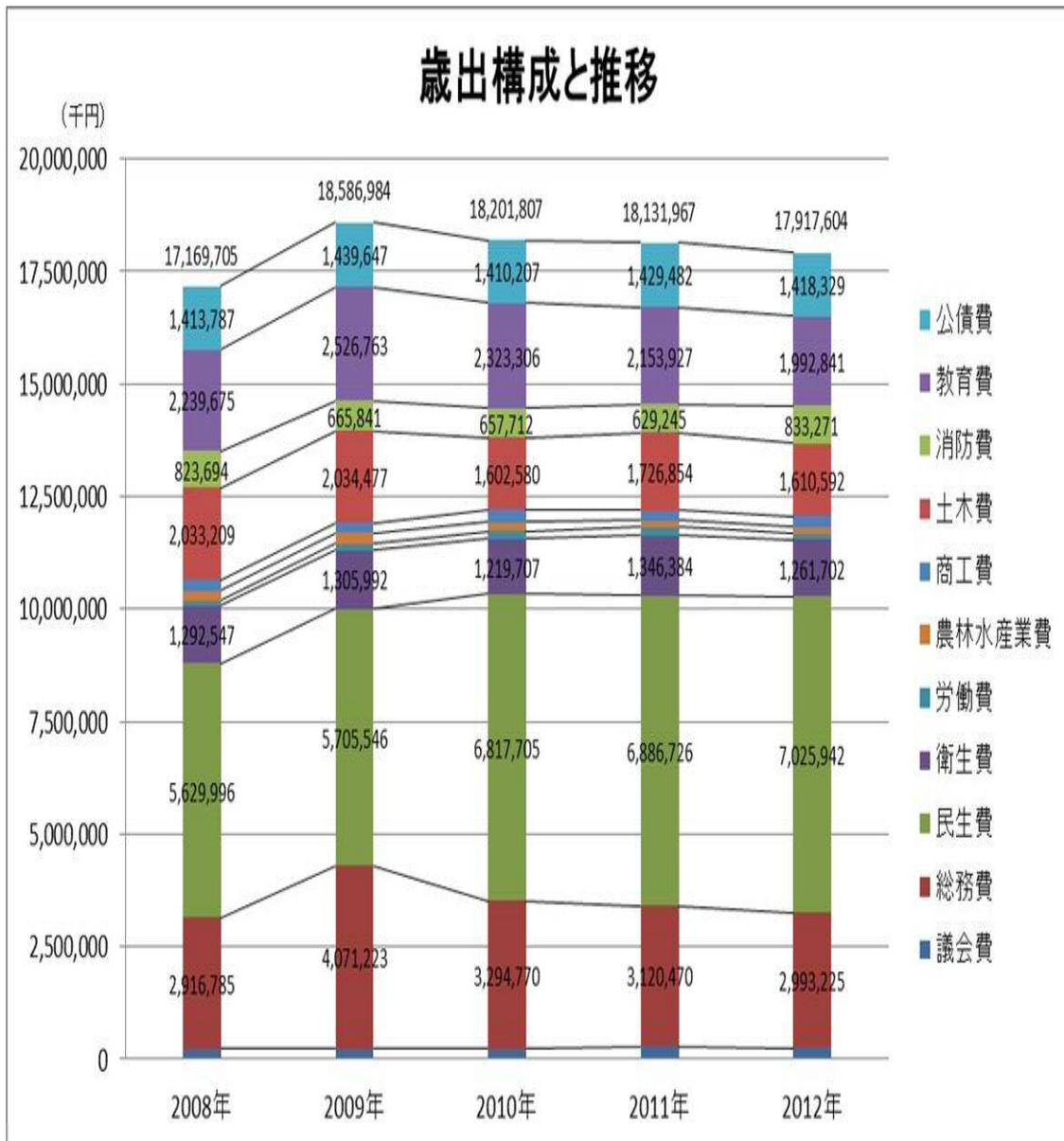
市債は公共施設の建設などの財源に充てられる。単年度に実施している他の事業に影響しないように地方財政法第5条に基づき市債を発行している。市債は単年度の財政負担を軽減し長期間使用する施設について将来にわたって償還することから世代間の負担を公平にするという考え方を基本にしている。

2. 歳出決算額の推移

2008年と2012年を比較すると、747,899千円の増加となっている。主な原因は障害者総合支援法に基づく給付費、保育所措置費、生活保護費、子ども手当、児童手当の扶助費の増加によるところが大きいと考えられる。

(1) 歳出決算額の性質別推移

民生費は2008年と比較して2012年は1,395,946千円の増加、土木費は422,617千円の減少、教育費は246,834千円の減少となっている。今後さらに増加すると見込まれる民生費について、多様な主体者の役割分担による市民満足度の向上と効率性を高める工夫が求められる。



3. 財政指数の推移

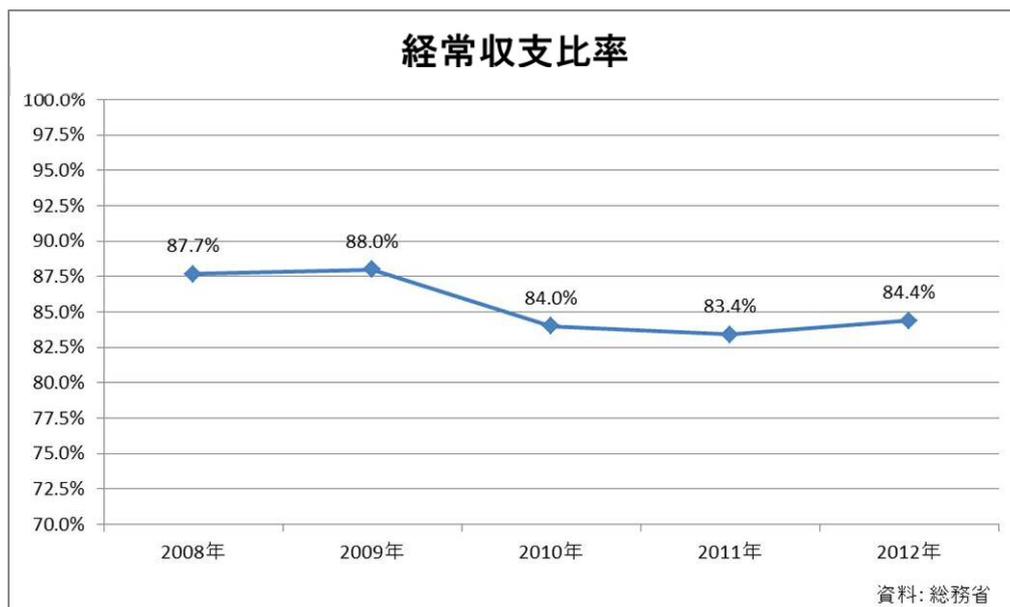
(1) 財政力指数

財政力指数は地方公共団体の財政基盤の強弱を示す指標である。指標が1を超えるほど財源に余裕があるものとされている。豊明市の2012年の財政力指数は0.89で悪化の傾向にある。



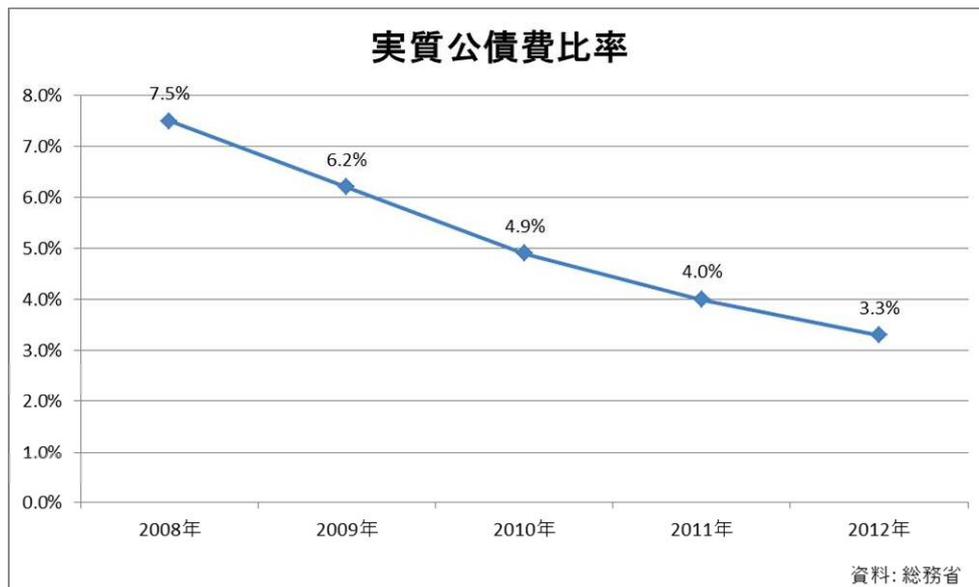
(2) 経常収支比率

経常収支比率は、財政構造の弾力性を測定する比率として利用される指数であり、人件費、扶助費、公債費などの経常経費に地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常的な収入である一般財源がどの程度充当されたかをみるものである。豊明市は2010年より横ばい状況である。



(3) 実質公債費比率

実質公債費比率は、地方公共団体の標準的な一般財源の規模に対し、これまで借り入れた地方債の元利償還金に充てられた一般財源の占める割合である。一般財源のうち、借入金の返済にどのくらい充てているかを示すものである。財政の健全化のためには10%を超えないことが望ましいとされている。豊明市は県内でも16位であり、財政の健全を維持している。



IV 財政推計と課題

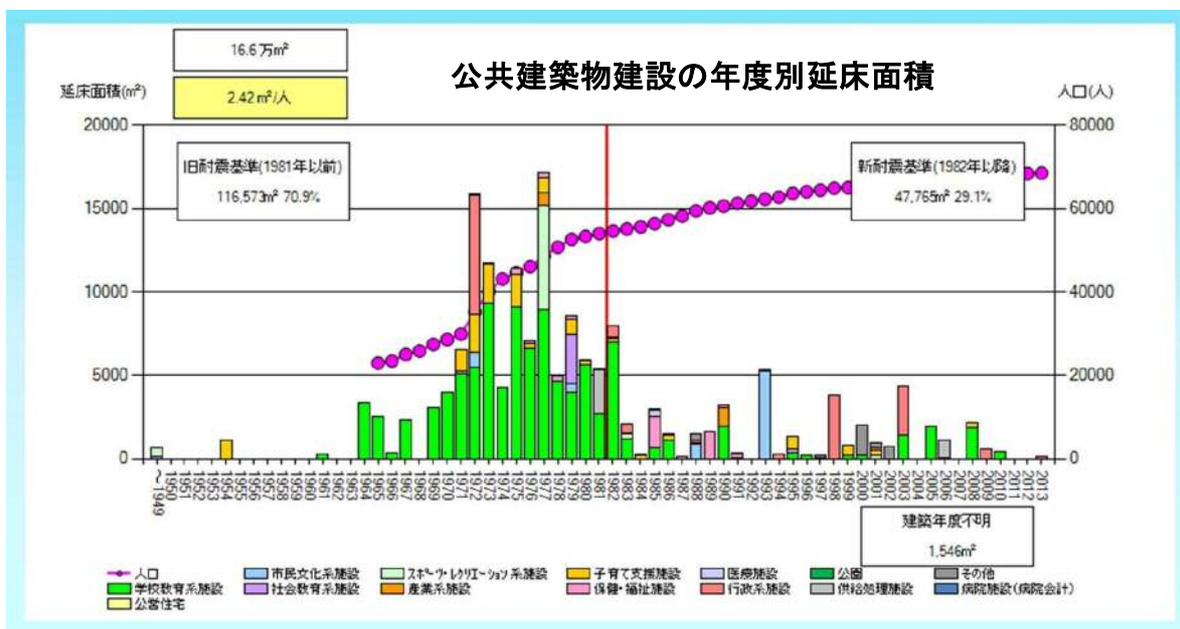
(1) 公共施設・インフラの更新問題

豊明市の公共施設・インフラの多くは、1970年代に整備され、30～40年以上経過した施設を多く保有している。現状の公共施設等をそのまま保有していくとすると、今後40年間で約1,200億円（参考：豊明市H26一般会計当初予算191億円）の費用がかかるとの試算（総務省試算ソフト）もあり、人口減少、少子高齢化を見据えた公共施設の適正な配置を検討し、その財源確保についても今後の大きな課題である。

表 豊明市の公共施設のストック

名称	施設数	総量
公共建築物	194棟	165,974m ²
インフラ	橋梁	101橋
	道路	362km
	下水道	247,180m
	公園	50公園
		618,502m ²

※上水道は、愛知 中部水道企業団（豊明、日進、みよし、長久手、東郷）

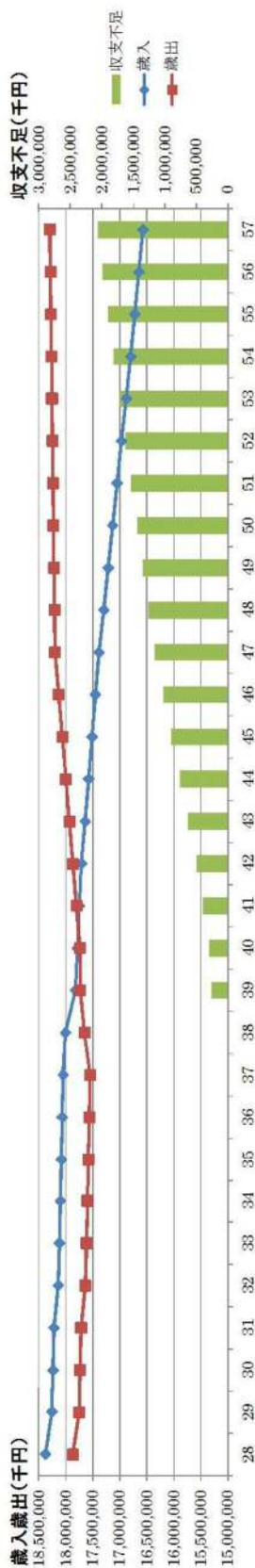


(2) 財政推計 (超長期)

■ 財政の変化

人口は減少し、納税者の減少から市税は減少する。
高齢者は増加し、扶助費は増加する。
収支の均衡を建設事業費の削減で図るものの、やがて収支不均衡が生じる。

	平成28年度	平成57年度
ひとり当たり歳入額	269,203 円	275,739 円
ひとり当たり市税負担額	134,350 円	131,939 円
ひとり当たり歳出額	261,877 円	304,038 円
ひとり当たり扶助費負担額	70,061 円	124,900 円
ひとり当たり人件費負担額	58,739 円	64,135 円
ひとり当たり建設事業費負担額	14,811 円	0 円



超長期の財政推計は、人口の変動を推計しその変動要因を財政推計に加味しているのもので、その他の変動要因は現時点で予想されるもの意外は考慮していない。つまり、現状からの推計であり、何らかの手を打たないまま将来を推計したものといえる。
国は地方の財源を確保する立場からも、税制や地方交付税交付金を始めとする諸制度の改正等をもって財源確保による関与をすることも想定されるが、国の財政健全化が優先され期待できないか、関与があっても結果として団体自治としての自立性は乏しくなる。

なんら手を打たないままていくと、この超長期の財政推計では収支均衡が崩れる分岐点は平成39年におとずれる。
人口減少社会への対応を共通の命題とした具体的な政策による手立てを各政策施策分野で準備し実列に移すことが求められる。

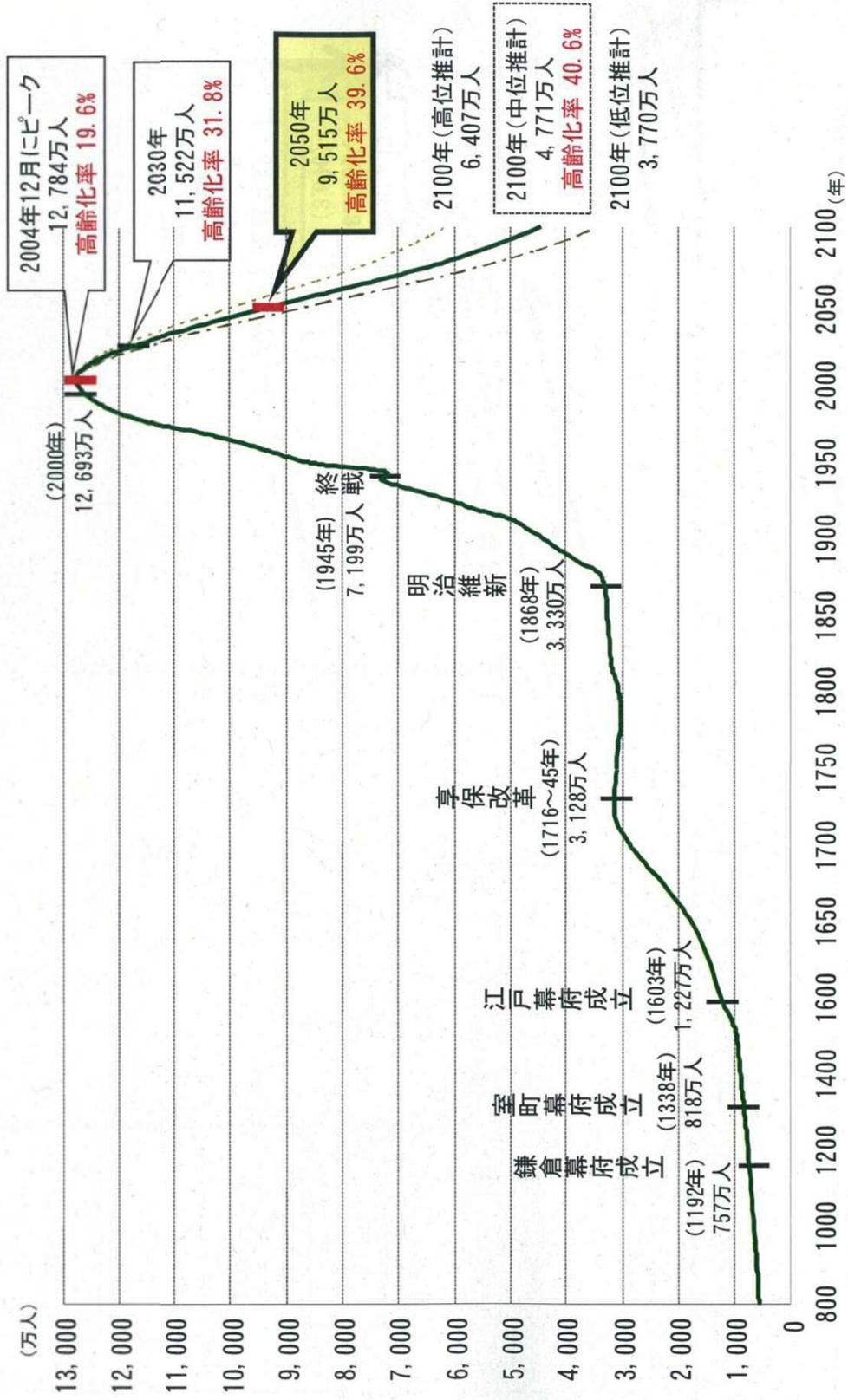


	28年度歳入	57年度歳入
市税	9,168,967	7,939,039
歳与税交付金等	1,715,667	1,492,899
地方交付税	940,000	898,342
分担金負担金使用料	457,692	403,538
国庫支出金	2,000,000	2,017,924
県支出金	1,000,000	1,000,000
財産収入	30,000	30,000
寄附金	180,000	180,000
繰入金	300,000	300,000
繰越金	600,000	350,000
諸収入	600,000	600,000
市債	1,380,000	1,380,000
合計	18,372,326	16,591,742

	28年度歳出	57年度歳出
差引収支額	500,000	▲1,702,840
人件費	4,008,740	3,859,158
扶助費	4,781,479	7,515,461
公債費	1,396,560	1,396,560
普通建設事業	1,010,776	0
物件費	3,162,615	2,268,108
維持補修費	200,000	200,000
補助費等	908,156	651,295
積立金	300,000	300,000
投資出賃貸付金	104,000	104,000
繰出金	2,000,000	2,000,000
合計	17,872,327	18,294,583

1,300年間の日本人人口の推移(実績・予測) → 長期的に急減

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく。この変化は千年単位で見ても類を見ない、極めて急激な減少。



(出典) 総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

【「めざすまちの姿」の追加提案一覧】

当初案		提案者	めざすまちの姿の提案	提案内容及び理由	市の審議内容等	対応	最終案	
① 健康福祉	1	子どもへの虐待がない	子どもへの虐待がないだけでなく、高齢者も加える	子どもだけの問題ではないから(高齢者、障がい者等)	・虐待、DVなどは、子どもや高齢者だけではなく、障がい者にも起こり得る	既存の目標の文言を一部修正して包括 既存の目標の文言を一部修正	子ども、高齢者、障がい者等の虐待やDVなどがない	
			市幹部	子どもや高齢者への虐待や、DVなどが無い	高齢化社会の到来により増加が予想される高齢者虐待や、表面化しにくいDVについても行政が取り組むべき深刻な課題であるため。			
	2	子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	審議会(真田委員)	市のスポーツ制定	西尾市は「剣道」の町として有名である。大府市はスポーツで健康都市づくりをめざしています。豊明市には市の花として「ひまわり」木は「けやき」が制定されています。市が推進するスポーツもあっても良いのではないかと思います。ソフトボールに拘りませんが豊明市ソフトボール協会が21回豊明市長杯全国高校招待女子高校ソフトボール大会を実施しているので候補にはなるのではないのでしょうか。(めざすまちの姿マトリックス案では健康福祉の分野でスポーツを楽しみとの記載がありそれも結構ですが少し観点が異なると思います) ※上記と直接関係ありませんが、豊明市の花が「ひまわり」とどれだけの市民が知っているのでしょうか。例えば各戸に夏前に種を配布し、ある時期ひまわり一杯のまちにするとか、もう少し市の花を市民に知ってもらう必要があるような気がします。	・「市のスポーツの制定」については、個別具体的な事業提案となる ・当該めざすまちの姿や、「③教育・歴史文化-4」、「④都市基盤・産業-5」に包括される	—	子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている
			描き隊 都市基盤・産業	市内外から健康になりたい人が集まる健康のための施設がある「健康都市」である。	少子高齢化・人口減社会においては、元気に暮らせること、それ自身が「社会貢献」であり、医療費の抑制、生きがいにも繋がってくる。そのような都市を創れる立地(条件)にある豊明は、「健康都市・スマートウェルネスシティ」を創造することが期待される。	・当該めざすまちの姿や、「①健康福祉-4」、「④都市基盤・産業-1」などに包括される		
			生涯学習課	誰もが、いつでも、いつまでも気軽にスポーツに取り組める生涯スポーツ社会のまちとなっている	平成25年3月に策定した豊明市スポーツ推進計画の基本理念がまったく取りこまれていない。 スポーツ振興計画は4つの柱からなっている。 1. 生涯にわたるスポーツ活動の推進 2. スポーツに取り組む環境の充実 3. ニーズに応じたスポーツ施設の整備 4. スポーツによる地域づくり	・当該めざすまちの姿に包括される		
	3	多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている	保険医療課	経済的にも制度的にも安心して医療を受けることができる	高齢化社会の到来により、今後医療費の負担はますます増大するものと思われる。市民ひとりひとりの生活のみならず、行政全体にも大きな影響を及ぼすものと思われる。 国民健康保険や後期高齢者医療、福祉医療における安定的な制度運用を図り、将来にわたって市民が不安なく医療が受けられることももちろんとして、今後の医療費の増大を見据えて適正な受診を促し、無駄な受診を抑制することも併せて推進していく必要がある。	・医療福祉施策が実行されることにより、市民が安心してることが重要	既存の目標の文言を一部修正して包括	多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
	4	元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	健康推進課	健康寿命が延びる	「健康寿命」を「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と国は定義しています。生涯を通じて健康でいきいきと過ごすためには、第4次総合計画の施策のめざす将来の姿である「健康寿命が延びる」は今後も目指していくことが必要です。 健康寿命の延伸のためには、健康増進・疾病予防に加えて、疾病の早期発見、適切な治療管理による疾病の重症化予防、さらには社会全体でサポートする仕組みが必要です。地域や人とのつながりを深め、社会全体で健康を支え、守る仕組みづくりを図ることで健康寿命の延伸ができます。このことは、教育・都市基盤・産業・地域全てが絡みあっています。	・当該めざすまちの姿や「①健康福祉-3」などに包括される	—	元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている
			生涯学習課	若者から高齢者までが、継続して生涯学習機会を得て、生きがいのある人生を送ることができる。	成長段階ごとの多様な生涯学習 〔成人教育〕 社会情勢の変化による、新たな課題に的確な対応が求められており、社会が必要としている課題などを中心とした取組みが必要であるため。 〔高齢者教育〕 長寿社会において、心身共に健康であるために、食生活改善、筋力の維持・向上等を目指した取組みが必要となるため。	・当該めざすまちの姿や、「①健康福祉-8」に包括される		
	5	支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない	審議会(松井委員)	身のまわりのことができなくなっても安心して暮らせるまち	豊明市の要介護認定を受ける原因として初老期における認知症が増えてきています。認知症を持つ高齢者も推計値として増えることとなります。これらのことはアンケートに反映されていません。	・安心して暮らせるまちを、もう少し具体的に表す ・地域の人と支え合うことで孤立しない ・寄り添える場所が必要なのは、支援が必要な人(高齢者、障がい者)に限ったことではない	既存の目標の文言を一部修正して包括	誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている
			審議会(海老原委員)	心豊かな高齢化社会	今後10年は間違いなく高齢化社会である。高齢者が自立、相互に支え合う社会・安心して老後を送れる社会を作る。			
		審議会(前田委員)	高齢者支援体制の強化	①現在の民生委員は各町内で1名程度、2~3人程度の人員体制で、②高齢者を支援する制度を設けて、各町内で細かく対応する				
		描き隊 健康福祉分科会	ソーシャルインクルージョン(共生)の視点から福祉を見る	福祉を考える基本だから				
6	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない					—	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない	
7	子どもの数が増えている	審議会(兼子委員)	出産に必要な意思、助産師及び医療施設に困っていない(or子どもを産みやすいまちである)	健やかか3位、元気の5位ではあまいであり、人口減少をくい止め国民の数1億人確保の国政策と一致	・子どもの数が増えているだけでは抽象的過ぎるため、提案のとおり補足が必要	既存の目標の文言を一部修正して包括	子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている	
8	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている					—	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	

【「めざすまちの姿」の追加提案一覧】

当初案		提案者	めざすまちの姿の提案	提案内容及び理由	市の審議内容等	対応	最終案
② 地域・ 市民生活	1					—	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない
	2					—	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである
	3	生涯学習課	大人と子どもの相互育ちと地域力の向上	第4次総合計画の青少年健全育成事業の子どもの居場所づくりの推進では、子どものためだけの取組となっていたが、子どもの居場所に大人が参画することで、子どもをほくみ育てること、次世代への関心や養育、社会への貢献を行い、成人として成熟できる。活動の場に子どもと大人が関わることで、世代を超えた持続可能な地域コミュニティができる。	・当該めざすまちの姿や、「②地域・市民生活7」に包括される	—	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している
	4					—	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている
	5	消防署	災害に強く身近に「安心」が感じられるまち	地震などの災害対応については、消防団や自主防災組織などの地域防災組織の充実強化を促進する。また、救急の分野では、応急手当普及員の増進や24時間AEDの使用ができるまちづくりを検討するなど、あらゆる災害に強いまちを築く。特に地域に密着し、機動力に優れた消防団につきましては、地域防災のリーダーとしての活動が期待されているため、装備の充実や活動の拡充により、市民が安心して暮らすことのできるまちを目指す。	・基本的に当該めざすまちの姿に包括されるが、災害に対して安心して暮らすためには、「十分」な備えと連携ができていない状態が必要。	既存の目標の文言を一部修正して包括	防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる
	6					—	子どもが元気に外で遊んでいる
	7	市幹部	地域の自治力と若者によるまちづくり	市民ニーズや社会的課題が多様化するこれからの社会において、地域の自治力向上が重要である。そのためにまちづくりの主体者として若者が自覚を持ち、積極的に地域活動に関わることが有効である。	・若者だけが活躍すれば良いわけではなく、それ以外も一緒に活動し、その結果地域の自治力が上がっていることが重要	既存の目標の文言を一部修正	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている
	8					—	若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている
	9	市幹部	女性が職場や地域で活躍し続けている	少子化と生産年齢人口の減少が進む中で、女性の職場での活躍は重要な課題である。女性も家庭と両立して仕事を続けることができる環境が重要である。また、様々な課題を抱える地域社会にとっても女性の能力・意欲の活用は有益であり、様々な分野での実践的な活動を通じて女性自身の成長も図られるという双方向の効果をもたらす。	・左記のとおり	追加	女性が職場や地域で活躍し続けている
	10	市幹部	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している	情報の活用するためには、より良い内容と発信の工夫に加え、市民の間で共有されることが重要であるため。	・左記のとおり	追加	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している

【「めざすまちの姿」の追加提案一覧】

当初案	提案者	めざすまちの姿の提案	提案内容及び理由	市の審議内容等	対応	最終案
1		いじめや自殺、引きこもりがない			—	いじめや自殺、引きこもりがない
2	生涯学習課	豊かな人間性、社会性を持った青少年が育つまち	地域ぐるみで青少年の健全な育成を推進する社会をつくるため。多感な思春期の時期に子どもが家庭のなかで家族に相談でき、心豊かな人間関係づくりができるため。	・当該めざすまちの姿や、「③教育・歴史文化-6」に包括される	—	子どもが良いことと悪いことの区別ができる
3		教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい			—	教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい
4		子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる			—	子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる
5	審議会 (前田委員)	豊明市の大学進学率ベストワンの80%以上を目指して	豊明市では、大学進学率は61%です。大学進学率はこの2年間続けて下がっています。東京～71.3%、奈良64.5%、京都62%、愛知51.8%です。学校教育の中で、中学校と高等学校の生徒にITタブレットを無償支給し、勉強方法の画期的手法の模索と今後の教育方針を検討する。	・具体的な事業提案か。 ・義務教育では、等しくというのは当然のことである。 ・子どものレベルや個性に応じた教育を実施すべき＝質の高い学び ・学力だけでなく、人として生きていくための知恵、学びも必要＝生きるための学力	既存の目標の文言を一部修正して包括	すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している
	市幹部	すべての子どもが等しく充実した教育を受け、生きるための学力が向上している	・「等しい教育」について、機会の均等とはもとより、内容についてもそれぞれに応じた望む教育が受けられ、学習意欲が向上することが重要である。 ・これからの社会で求められる学力とは、知識や技能に加え、思考力・判断力・表現力などまでを含む、生きる力となる学力である。			
6		子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている			—	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている
7	審議会 (真田委員)	グローバル化への対応と英語教育	グローバル化への対応の視点が抜けている。グローバル化は時代の流れである。しかし一概にグローバル化と言っても掴みどころがない。基本的には異文化理解、その上での共生を図ることが重要と考えるがその為にコミュニケーションツールとしての「英会話話力」は欠かせない。英語特区的な思想を「めざすまちの姿」にいれたい。 折しも小学校で英語教育が授業の中で実施されようとしている。だとするならば豊明市の小学校では更に一歩進んだ英語教育を実行し、さらに一歩進んだ特性を持ったまちづくりを目指したい。既に山梨県？の自治体は実施していると思うが…。	・英語教育とすると個別事業となる ・夢を持つだけでなく、それを実現できる人材になっていることが重要 ・グローバルな視点だけでなく、地域の視点も重要	既存の目標の文言を一部修正して包括	子どもが夢を持ち、将来グローバル(グローバル+ローカル)に活躍できる人材に育っている
	審議会 (宮本委員)	豊明市を誇れる「郷土愛」をそれぞれの市民がもっている。 (児童・子どもが豊明市の歴史や土地について教育を受けている)	市民教育として小学校、中学校から、市の策定や行政に関わらせ、深く市民意識を養うことが、それぞれの「郷土愛」へ繋がり、都市部への人口の流出を防ぐこととなる。			
	市幹部	グローバルな社会で活躍できる人材が育っている	能力、意欲ともにグローバルに活躍できる人材を育てる環境が必要。			
8	審議会 (長山委員)	豊かな芸術文化があふれるまち	国内外で活躍している人や芸術公演、個展、グループ展等素晴らしい芸術家がいるにもかかわらず、文化に対する意識が、市民・行政・議員共に低いと思う。実質的な豊かさが必要だが、非現実的な空間で何かを感じることも必要だと思う。本物を見て、本物を身近に感じる事が本当の意味での豊かさにつながるのではないと思う。	・歴史、伝統、文化については、多くの提案のとおり漏れていたため追加する必要がある ・継承するだけではなく、そこから新たに創造することも必要	追加	市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している
	審議会 (長山委員)	伝統文化を次の世代(未来)につなぐまち	古戦場。梯子獅子、棒の手など歴史的な伝統行事、地域のお祭り先人から受け継いだものは、後世に残すことは大切なことであり、今を生活している時代の人の責務であると思う。			
	描き隊 教育・歴史文化 山田浩太郎	地域の文化・伝統が子どもに引き継がれている	後世に豊明の歴史・文化・伝統が正しく伝えられる必要があるため			
	描き隊 教育・歴史文化 山田浩太郎	市民が豊明の歴史・文化・伝統に関心を持ち友達や市外にPRし、その結果来訪者が増えている	市・市民全体の活性化と意識のレベルアップを図るとともに経済効果につなげたい			
	描き隊 教育・歴史文化 淵上博之	郷土歴史・文化を後世へ確実に継承	1. 歴史・文化・伝統に興味、関心、好きになる子ども(含む家族)をより多くする為、副読本「豊明の文化財」を見直す。 2. 課外活動の一環として「郷土歴史・文化の子どもガイド」に市民団体等がコラボレーション(協働)して行う。 例: 豊明・隣接のまち地形図「模型」によるガイド 桶狭間古戦場のガイドに合わせ、紙芝居「桶狭間の戦い」を子どもが上演 歴史民俗資料室におけるガイド他 3. 子ども・年配者が接する機会・場所を教育の場を通じより多くする。			
	生涯学習課	市民が地域にある豊明の歴史・文化・自然にふれることにより、自分たちのまちに誇りと愛着心を持つことができる	桶狭間古戦場、ナガバノイシモチソウ、大狭間湿地、大脇の梯子獅子など、現存する貴重な有形・無形文化財、自然環境などを維持し、継承していくために、保護保全に努める必要があるため。			
	生涯学習課	市民の文化芸術に対する関心が高まり、心豊かで文化的な市民生活を送ることができる	音楽や芸術に触れる機会を創設し、多くの市民の心に夢や感動を提供するための事業を実施することによって、市民の文化意識の高揚を図ることが必要と考えます。			
	描き隊 都市基盤・産業 東一成	誇りある豊明を目指す	地域特性を活かす。			
	描き隊 教育・歴史文化 山田浩太郎	年配者と子どもが地域の文化・伝統を通して繋がっている	年配者が伝える責任を生きがいとして支えらるとともに老若の理解を深めるため			

③ 教育・歴史文化

【「めざすまちの姿」の追加提案一覧】

当初案		提案者	めざすまちの姿の提案	提案内容及び理由	市の審議内容等	対応	最終案
④ 都市基盤・産業	1	描き隊 都市基盤・産業 東一成	「スマートウェルネス豊明」を宣言	豊明市の存在意義を主張できる姿として必要である。 現市長が目指している施策でもあると言える。 市長のマニフェストは選挙公約的な受け取りが強く市民協働の期待が弱い ため、「宣言」の姿が望ましい。	・当該めざすまちの姿や「①健康福祉-2」などに 包括される	—	道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に 通行することができる
	2	描き隊 都市基盤・産業分 科会	産業基盤を創るための仕組み・ 住居しやすい環境(転入し易い) が整っている	若い人や高齢者が、住みやすさや自然を阻害しないで働ける産業基盤をつくる 仕組み、ならびに持続的安定化した都市構造をつくる仕組みを築く。その第一に 居住者が必要に応じ適度に入れ替わる(転入)新陳代謝のよいコミュニティが求 められる。	・当該めざすまちの姿や、「④都市基盤・産業- 6」に包括される	—	交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・ 通学している
	3					—	空気がきれいである
	4	審議会 (海老原委員)	住みやすいまち・豊明	①(6万都市では行政経営は現実的に無理ではないか) 交通、その他インフラ整備は広域的視点で対処すべし ②(人口減少が益々進行する。都市基盤整備は縮小せざるを得ない。合併も視 野に入れた方策も必要)	・「住みやすい街」は、多分野に渡る大きな課 題。 ・当該めざすまちの姿や、「④都市基盤-2」に 包括される	—	日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不 自由のないコンパクトシティとなっている
	5	企画政策課	豊明市に魅力があふれ、「通過 するまち」から「足を運んでくれ るまち」になっている	階層が高く抽象的となっていた行政経営の「魅力」を、前段に「豊明市に魅力が あふれ、」を追加することで包括する	・承認	既存の目標の 文言を一部修 正	豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運ん でくれるまち」になっている
	6					—	市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
	7					—	若い人たちが地元で働ける
	8	環境課	環境にやさしい再生可能エネル ギーの利活用を行っている	平成26年3月に策定をした「豊明市新エネルギー推進計画」では、小中学校の屋 上に太陽光パネルを設置する屋根貸し事業や公共施設の空調に地中熱を利用 する実証実験など、市民との協働を図りつつも市の推進する事業も多いため、第 5次総合計画の「めざすまちの姿」に追加したい。	・「④都市基盤・産業-3」の「空気がきれい」に も関連するが、市の重点施策として個別に掲げ る。 ・再生可能エネルギーの利活用の目的も記載 すべき	追加	エネルギーの地産地消をめざし、再生可能エネルギーの 利活用を行っている
⑤ 行政経営	1					—	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力 をしている
	2	企画政策課	世代、性別などで不公平感のない 予算配分や施策となっている	「行政経営」という言葉は、他のめざすまちの姿との関係で、大きすぎるので、 「行政経営がなされている」という表現を「予算配分や施策となっている」と修正し たほうがよい。	・承認	既存の目標の 文言を一部修 正	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっ ている
	3	企画政策課	税収が確保され、持続可能な未来 あるまちとなっている	「未来あるまちとなっている」が抽象的であるので、「財政運営となっている」と修 正したほうがよい。	・承認	既存の目標の 文言を一部修 正	税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
	4	企画政策課	市職員の顧客サービス向上の意 識が高く、市民のほうを見て仕事 をしている	文章の前半と後半を入れ替えたほうが、文章としてわかりやすいのではない。 か。	・承認	既存の目標の 文言を一部修 正	市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを 見て仕事をしている
	—	企画政策課	魅力の表記を「④都市基盤・産業 -5」に移動し、削除する	めざすまちの姿としては階層が高く多分野に渡るため、都市基盤・産業の『豊明 市に魅力があふれ「通過するまち」から「足を運んでくれるまち」になっている』と して包括 その他の魅力については、それぞれのめざすまちの姿に包括	・承認	削除	【削除】
	5					—	市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外から の知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
	6	秘書広報課	市民にとって必要な情報が迅速 に提供されている	広報・ホームページによる一方的な情報提供のみでなく、市民が求める情報を 把握した上で、必要な情報を迅速に提供するため。	・承認	追加	市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んで いることが市民に分かりやすい
7	企画政策課	行政は明確な成果目標をもち、 定期的に達成度を確認し、絶えず 改善している	第4次総合計画では、既存事業ありきで目標が設定され、達成度の確認も事業 レベルでしか行われておらず目標の達成度がわからないため、改善にもつな がっていなかった。第5次総合計画では、明確な目標を定め、目標達成のために 有効な事業を実施する。また、定期的に目標の達成度を確認し、より有効な事業 へ絶えず改善していくことが必要と考える。	・承認	追加	行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認 し、絶えず改善している	

■その他の提案

提案者	めざすまちの姿の提案	提案内容及び理由	市の審議内容等
審議会 土方治	安心はあるが安全はない	安心と安全は一体と考えるが如何か。	理念「安心」の目標に包括される 別紙、マトリクス最終案を参照
審議会 土方治	差別	男女、人種、富貧、職業、家柄等日常普通に気なしで 話す差別は紛争の始めだから	差別を無くすということは、全ての分野において必要な視点となる。

■ めざすまちの姿マトリクス（分野×理念）

	安心	快適	健やか	つながり	誠実	元気	挑戦
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち
① 健康福祉	子ども、高齢者、障がい者等の虐待やDVなどがない		子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	誰もが身近に寄り添える場所があり、地域の人と支え合いながら、孤立することなく暮らすことができる		子どもを産み育てやすいまちとなっており、子どもの数が増えている	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている
	多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している			支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない			
			元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている				
② 地域・市民生活	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		子どもが元気に外で遊んでいる	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている
				災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている			若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている
				防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できている			女性が職場や地域で活躍し続けている
				行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している			
③ 教育・歴史文化	いじめや自殺、引きこもりがない		教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもち、次世代が継承し創造している		子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	子どもが夢を持ち、将来グローバル（グローバル＋ローカル）に活躍できる人材に育っている
	子どもが良いことと悪いことの区別ができる		子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる				すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している
④ 都市基盤・産業		道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる				豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	若い人たちが地元で働ける
		交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している				市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	エネルギーの地産地消をめざし、再生可能エネルギーの利活用を行っている
		空気がきれいである					
		日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている					
⑤ 行政経営					行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている		市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
					世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている		
					税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
					市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て、仕事をしている		
					市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい		
					行政は明確な成果目標をもち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している		

まちづくり指標一覧

分科会	めざすまちの姿	まちづくり指標(まちの未来を描き隊から)		
健康福祉	1 子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどが無い	1	主観	虐待やDVなどが起こらないように見守る地域のネットワークができていると思っている市民の割合
		2	客観	虐待、DVの件数
		3	主観	虐待やDVなどに遭遇したときにためらいなく通報できていると思っている市民の割合
		4	主観	まわりに助けを求めることができる人がいる子ども、高齢者、障がい者等の割合
	2 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	1	主観	スポーツをするために必要な情報が得られている市民の割合
		2	主観	スポーツを教えてくれる人がいると思う市民の割合
		3	主観	スポーツを楽しむことができる市民の割合
		4	客観	医療機関にかかっていない市民の割合
	3 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している	1	主観	医療や福祉施設、制度の利用者の満足度
		2	客観	利用できる医療施設、福祉施設の数
		3	客観	医療や福祉分野における連携プロジェクトの数(具体的な事業数のため運営協議会等は除く)
	4 元氣なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	1	主観	近所の高齢者がいきいきしていると思っている市民の割合
		2	主観	人生が楽しいと感じている高齢者の割合(65歳以上)
		3	主観	老後の生き方に夢があると思っている若者の割合(50代以下)
	5 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている	1	客観	1日1回以上家族以外の人と会話をしている市民の割合
		2	主観	日常の中で困っている人に声掛けができている市民の割合
		3	主観	地域から孤立していないと思っている市民の割合
	6 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない	1	主観	介護で困ったときに助けを求めることができる友だちや専門機関があると思う家族の割合
		2	客観	1週間のうち1回は自分の時間をもっている家族の割合
		3	主観	支援が必要になったときに活用できるサービスを知っている家族の割合

まちづくり指標一覧

分科会	めざすまちの姿	まちづくり指標(まちの未来を描き隊から)		
健康福祉	7 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている	1	主観	子育てが楽しいと思っている市民の割合
		2	客観	0～14歳の子どもの数
		3	客観	豊明市の出生率
		4	客観	市内にある小児科、産婦人科の数
	8 高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	1	主観	自分の働き方に満足している高齢者、障がい者の割合
		2	客観	高齢者、障がい者を雇用している企業・事業所数
		3	主観	働く意欲をもっている高齢者、障がい者の割合
		4	主観	自分の経験や知識を活かすことができていると思う高齢者、障がい者の割合
地域・市民生活	9 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	1	客観	自主防犯ボランティア団体の登録数
		2	客観	犯罪発生件数
		3	主観	この1年で、市内で怖い思いをしたことのある市民の割合
	10 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	1	主観	まちがきれいだと感じている市民の割合
		2	客観	ポイ捨てされているごみの量/年間
		3	主観	積極的に清掃活動に参加している市民の数
	11 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	1	客観	地域の活動に参加している子どもの数
		2	主観	地域に愛着をもち、地域の活動に参加している大人の数
		3	客観	近所で5人以上の大人の名前が言える子どもの数
	12 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	1	客観	一年間に防災訓練に参加した団体の数
		2	客観	他自治体及び民間との災害に関する協定の数
		3	主観	災害時に備えて行政・民間の情報共有ができていると思う市民の割合

まちづくり指標一覧

分科会	めざすまちの姿	まちづくり指標(まちの未来を描き隊から)		
地域・市民生活	13 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる	1	客観	家庭で防災対策をしている市民の割合(備蓄・避難場所の確認など)
		2	主観	普段から地域で災害時の対応について話し合っている市民の割合
		3	客観	実体験できる講習の数(応急手当、初期消火など)
		4	主観	火災に備えて住宅用火災警報器が設置してある割合
	14 子どもが元気に外で遊んでいる	1	主観	自由に楽しく体を動かしていると思う子どもの割合
		2	主観	子どもが外で元気に安全に遊べると感じている保護者の割合
		3	主観	子どもが元気に外で遊んでいると思う市民の割合
	15 若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている	1	客観	地域の活動に参加している若者の割合
		2	主観	自分たちの考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合
		3	主観	若い世代の地域での活動を尊重し、応援している65歳以上の人の割合
		4	客観	町内会の加入率
	16 若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	1	主観	豊明が大好きな若者の割合
		2	主観	まちづくりに参加できていると感じている若者の割合
		3	客観	市民提案型まちづくり事業交付金の交付団体数
	17 女性が職場や地域で活躍し続けている	1	主観	職場で働きやすいと感じている女性の割合
		2	客観	育児休暇後に継続して働き続けている女性の割合
		3	客観	市内企業における女性管理職の割合
		4	客観	町内会長・区長に占める女性の割合
		5	客観	男性の育児(介護)休暇取得数
		6	客観	男性一人あたりの平均1日家事時間

まちづくり指標一覧

分科会	めざすまちの姿		まちづくり指標(まちの未来を描き隊から)		
地域・市民生活	18	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している	1	主観	必要な情報を得るための手段をわかっている市民の割合
			2	主観	この1年間で、地域の人同士で、まちのことについて意見交換した市民の割合
			3	客観	市長への手紙・Eメールの件数
			4	主観	行政や地域の情報を得て、イベントや集まりに参加している市民の割合
教育・歴史文化	19	いじめや自殺、引きこもりがない	1	主観	学校以外の習い事やグループで友達ができただ子どもの割合
			2	客観	不登校の子どもの数
			3	客観	学校でのいじめ件数
			4	客観	市内の自殺者数
	20	子どもが良いことと悪いことの区別ができる	1	主観	よその子どもを褒めたり注意したりできる市民の割合
			2	主観	良いことと悪いことの区別ができていると思う子どもの割合
			3	主観	親子のコミュニケーションがとれていると思う親の割合・子どもの割合
			4	主観	悪いことをしている友達などを見たときに注意できる子どもの割合
			5	客観	子どもの補導件数
	21	教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	1	主観	子どもにとって必要な教育環境が整っていると思う市民の割合
			2	主観	子どもにとって必要なところに予算配分がされていると思う教育関係者の割合
			3	客観	歳出の内、教育や子どもための予算の割合
	22	子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	1	主観	自然が大切にされていると思っている市民の割合
			2	主観	豊明を自慢できる市民の割合
			3	客観	ふるさと納税の件数と金額

まちづくり指標一覧

分科会	めざすまちの姿	まちづくり指標(まちの未来を描き隊から)		
教育・歴史文化	23 すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している	1	主観	学校で学ぶことが楽しいと思う子どもの割合
		2	主観	悪いことを正されたり、いいところを褒められたりして自分の行動が変わったと感じる子どもの割合
		3	主観	学習と日常生活につながりを感じている子どもの割合
		4	主観	授業から置いてけぼりになっていない子どもの割合
		5	主観	前よりも勉強や運動ができるようになったと思う子どもの割合
		6	客観	子どもの学校生活への満足度
	24 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	1	主観	一人ひとりの個性や違いを受け入れていると思う市民の割合
		2	客観	子どもが参加できる教室やサークルの数
		3	主観	積極的に自分の好きなことを見つけて取り組んでいる子どもの割合
		4	主観	子どもの行動に対して親の価値観でコントロールしていない親の割合
	25 子どもが夢を持ち、将来グローバル(グローバル+ローカル)に活躍できる人材に育てている	1	主観	将来に夢をもっている子どもの割合
		2	主観	自分の地域や国のことに誇りを持ち、いろんな国の人々とコミュニケーションをとろうとしている市民の割合
3		主観	豊明市で育った人が活躍していると思う市民の割合	
26 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している	1	主観	(この1年で)市外の人に豊明の歴史・伝統・文化の展示会やイベント等を伝えたことのある市民の割合	
	2	主観	高校生・大学生が歴史・伝統・文化を通して人とつながっていると思っている市民の割合	
	3	主観	自発的に文化を創造できるような環境が豊明にあると思っている市民の割合	
	4	主観	豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもっている市民の割合	

まちづくり指標一覧

分科会	めざすまちの姿	まちづくり指標(まちの未来を描き隊から)		
都市基盤・産業	27 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	1	主観	交通マナーが良くなったと思う市民の割合
		2	主観	安全に通行するための適切な交通規制や対策があると思う市民の割合
		3	主観	道路がスムーズに走れると感じる市民の割合
		4	客観	交通事故発生件数(歩行者・自転車・自動車)
	28 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	1	主観	交通アクセスが良くなったと思う市民の割合
		2	客観	豊明3駅の年間利用者数
		3	客観	転入者数・転出者数(年間)
	29 空気がきれいである	1	主観	空気がきれいだと感じている市民の割合
		2	客観	一人当たりの公園・緑地面積
		3	客観	大気中の汚染物質の数値
	30 日常生活は自然に親むことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	1	主観	買い物や窓口行政サービスが便利になったと感じている市民の割合
		2	主観	市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合
		3	主観	身近に自然に親むことができる場所があると思う市民の割合
		4	客観	市街化区域内人口の割合
	31 豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	1	客観	メディアで紹介された市内のイベント、お店、施設の件数
		2	客観	市外から人を呼べるような場やイベントなどがあると思う市民の割合
3		客観	豊明インターを利用した自動車数	
32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	1	客観	市外から豊明市に働きに来ている人の数	
	2	客観	法人市民税額	
	3	客観	農業算出量	
	4	主観	市外から豊明市に遊びに来ている人が多いと思う市民の割合	

まちづくり指標一覧

分科会	めざすまちの姿		まちづくり指標(まちの未来を描き隊から)		
都市基盤・産業	33	若い人たちが地元で働ける	1	客観	有効求人倍率
			2	客観	市内在住者の市内就業者数
			3	客観	新規起業者数(50代以下)
			4	主観	市内で働くための情報が得やすいと思っている若者の割合(50代以下)
			5	主観	市内在住者で市内で働きたいと思っている若者の数
	34	エネルギーの地産地消をめざし、再生可能エネルギーの利活用を行っている	1	客観	中部電力に売電された市内のソーラー発電の電力量
			2	主観	再生可能エネルギーを利用したいと思う市民の割合
			3	主観	豊明市内で再生可能エネルギーの施設が増えたと思う市民の割合
			4	客観	太陽光パネル設置補助の申請件数
	行政経営	35	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	1	主観
2				主観	年1回は、行政に関心をもって積極的に働きかけている市民の割合
3				客観	市民からの意見を吸い上げる制度の実施回数
4				客観	公募枠に対する平均応募数
36		世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている	1	主観	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合
			2	主観	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う職員の割合
			3	主観	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合
			4	主観	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う職員の割合

まちづくり指標一覧

分科会	めざすまちの姿	まちづくり指標(まちの未来を描き隊から)		
行政経営	37 税金が確保され、持続可能な財政運営となっている	1	主観	行政が税金の使い方について説明責任を果たしていると思う市民の割合
		2	客観	財政力指数
		3	客観	経常収支比率
		4	客観	実質公債費比率
		5	客観	将来負担比率
	38 市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている	1	主観	市職員の顧客サービスが高いと思う市民の割合・職員の割合
		2	主観	ワンストップサービスができていると思う市民の割合
		3	客観	窓口対応についての市民の苦情件数
		4	主観	市民からの要望・苦情に対して行政が改善を行っていると感じる市民の割合
	39 市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	1	主観	先を見据えた仕事ができている職員の割合
		2	客観	他団体からの視察を受け入れた回数
		3	主観	議員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合
		4	主観	市長・市職員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合
	40 市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい	1	主観	HPが見やすいと思う市民の割合
		2	主観	窓口のレスポンスが的確だと思う市民の割合
		3	客観	市民オンブズマンの情報公開度ランキング、点数
	41 行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している	1	主観	目標の達成度評価を重視して仕事をしている職員の割合
		2	客観	事業改善、新規事業の提案数
		3	客観	成果指標の年度別達成率

第5次豊明市総合計画策定
市民意識調査報告書

豊 明 市

目次

1. 目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
(1) 調査票の構成.....	1
(2) 調査対象.....	1
(3) 調査方法.....	2
(4) 調査期間.....	2
3. 調査報告.....	2
(1) 回収状況.....	2
(2) 集計方法.....	2
(3) 集計結果.....	2
問1 回答者の属性.....	2
問2 「理念」を実現するうえでの「めざすまちの姿」の重要度.....	6
問3 「理念」の重要度.....	32
問4 1つずつの「めざすまちの姿」の5段階評価.....	34
(4) マトリクス.....	38

1. 目的

第5次豊明市総合計画における目標設定にあたり、市民ニーズに基づく目標設定を行うため、政策マーケティング調査を実施した。政策マーケティング調査とは、市民の生活実感からニーズを掘り起こすためのグループインタビューの実施と、グループインタビューで得られた市民ニーズを市民へのアンケート調査によって重要度を把握するという調査手法である。報告書「市民の潜在的なニーズ調査・分析報告書」では市民アンケートを実施する前段階までについての調査状況をまとめている。そのため、本報告書は主として市民アンケート調査（市民意識調査）についての調査状況をまとめることとする。

2. 調査の概要

(1) 調査票の構成

問1 あなた自身についておたずねします（回答者の属性）

性別、年齢、職業、居住地区（小学校区単位）

問2 「理念」を実現するうえでの「めざすまちの姿」の重要度

①快適 ②誠実 ③のどか ④つながり ⑤安心
⑥自立 ⑦元気 ⑧誇り ⑨健やか ⑩平等
⑪魅力 ⑫関心 ⑬挑戦

※それぞれの「理念」のなかで最も重要だと思われる「めざすまちの姿」を5つずつ選択

問3 「理念」の重要度

①快適 ②誠実 ③のどか ④つながり ⑤安心
⑥自立 ⑦元気 ⑧誇り ⑨健やか ⑩平等
⑪魅力 ⑫関心 ⑬挑戦

※最も重要と思われる「理念」を5つ選択

問4 1つずつの「めざすまちの姿」の5段階評価

※81個の「めざすまちの姿」それぞれについて、重要度を5段階で選択

(2) 調査対象

18歳以上の豊明市民のなかから無作為抽出した3,000人

(3) 調査方法

質問紙郵送方式

(4) 調査期間

調査票発送 2014年2月27日

調査票返送期限 2014年3月20日

3. 調査報告

(1) 回収状況

送付総数 3,000件

有効回収数 1,405件

有効回収率 46.83%

(2) 集計方法

以下のとおり単純集計を行った。

問1 回答人数と各種構成比

問2 各選択肢の選択された数と割合

問3 各選択肢の選択された数と割合

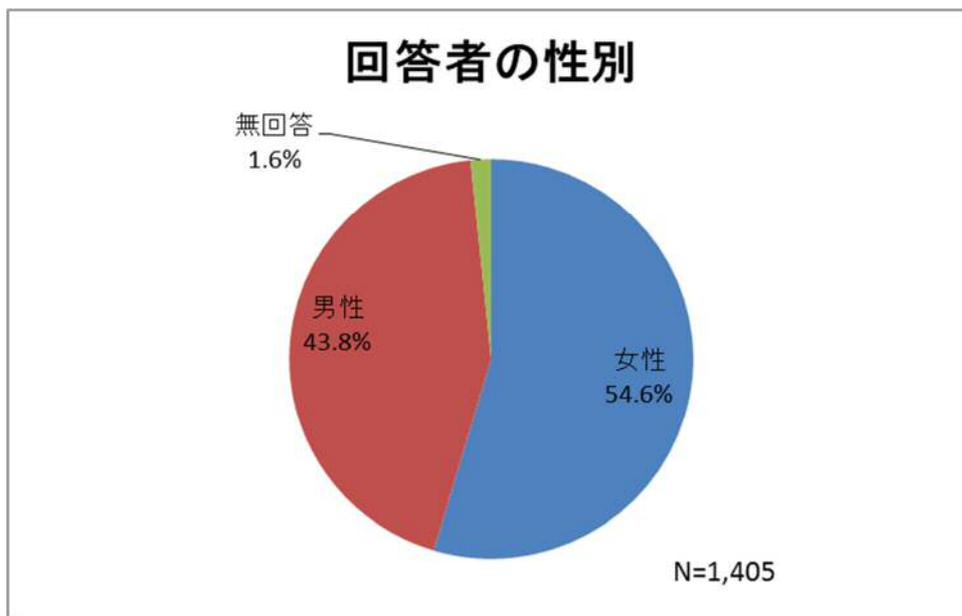
問4 各項目の5段階評価の平均値

(3) 集計結果

問1 回答者の属性

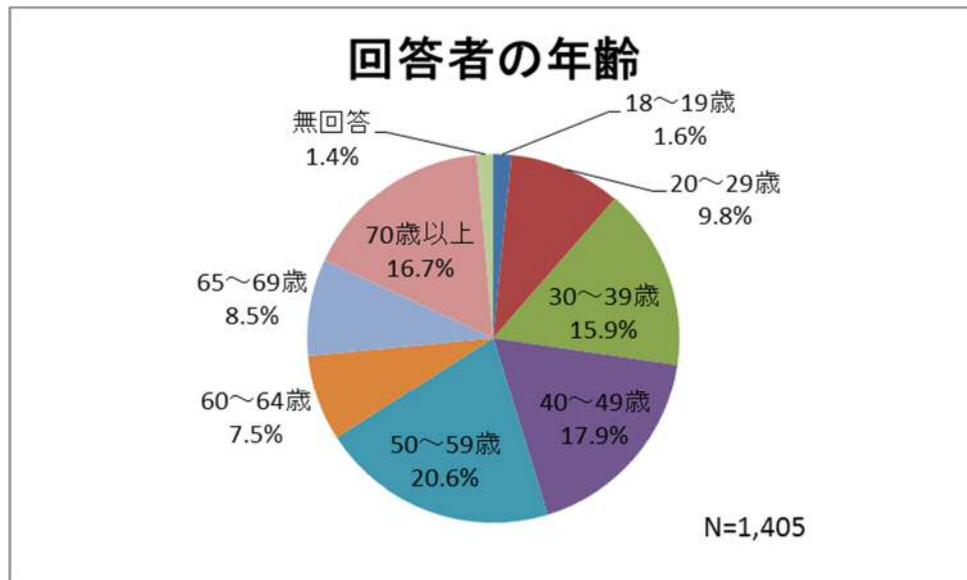
①性別

性別	件数	構成比
女性	767	54.6%
男性	615	43.8%
無回答	23	1.6%
合計	1,405	100%



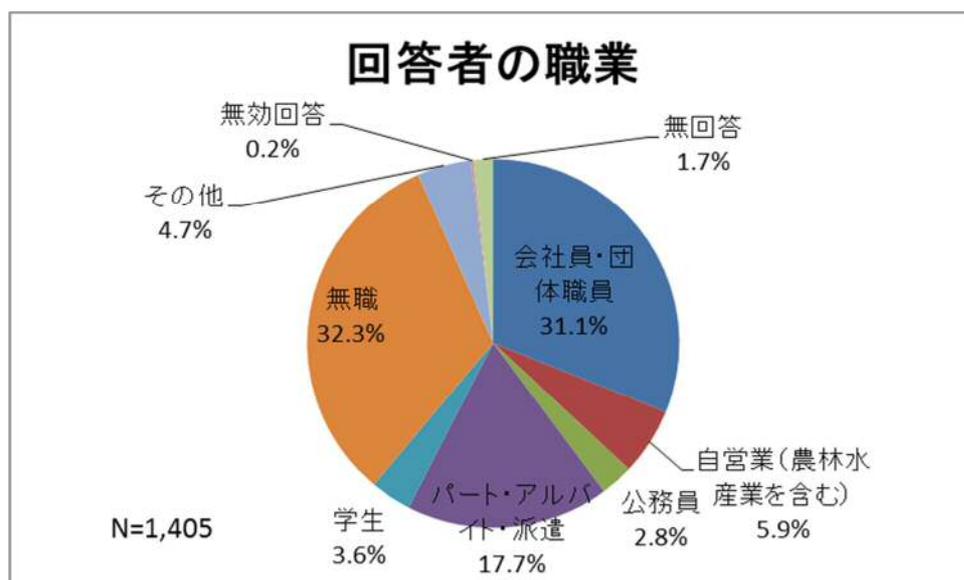
②年齢

年齢	件数	構成比
18～19 歳	22	1.6%
20～29 歳	138	9.8%
30～39 歳	224	15.9%
40～49 歳	252	17.9%
50～59 歳	290	20.6%
60～64 歳	106	7.5%
65～69 歳	119	8.5%
70 歳以上	234	16.7%
無回答	20	1.4%
合計	1,405	100%



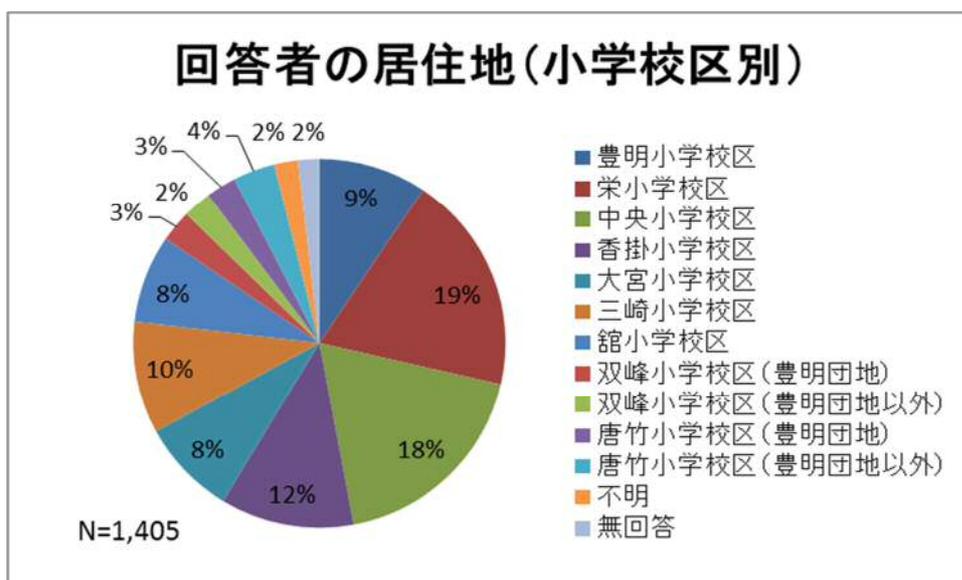
③職業

職業	件数	構成比
会社員・団体職員	437	31.1%
自営業（農林水産業を含む）	83	5.9%
公務員	40	2.8%
パート・アルバイト・派遣	248	17.7%
学生	50	3.6%
無職	454	32.3%
その他	66	4.7%
無効回答	3	0.2%
無回答	24	1.7%
合計	1,405	100%



④お住いの小学校区

小学校区名	件数	構成比
豊明小学校区	132	9.4%
栄小学校区	270	19.2%
中央小学校区	259	18.4%
香掛小学校区	163	11.6%
大宮小学校区	118	8.4%
三崎小学校区	138	9.8%
館小学校区	108	7.7%
双峰小学校区 (豊明団地)	39	2.8%
双峰小学校区 (豊明団地以外)	35	2.5%
唐竹小学校区 (豊明団地)	37	2.6%
唐竹小学校区 (豊明団地以外)	51	3.6%
不明	29	2.1%
無回答	26	1.9%
合計	1,405	100%

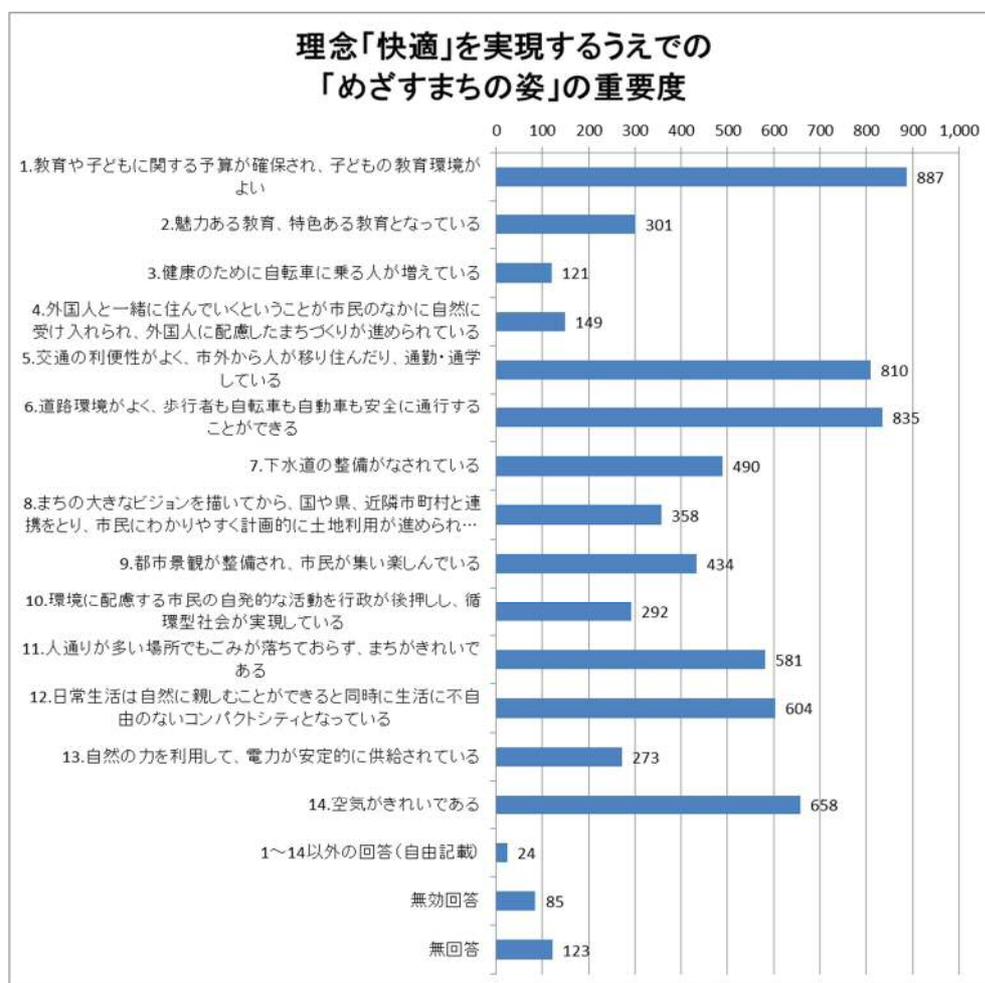


問2 「理念」を実現するうえでの「めざすまちの姿」の重要度

①理念「快適」

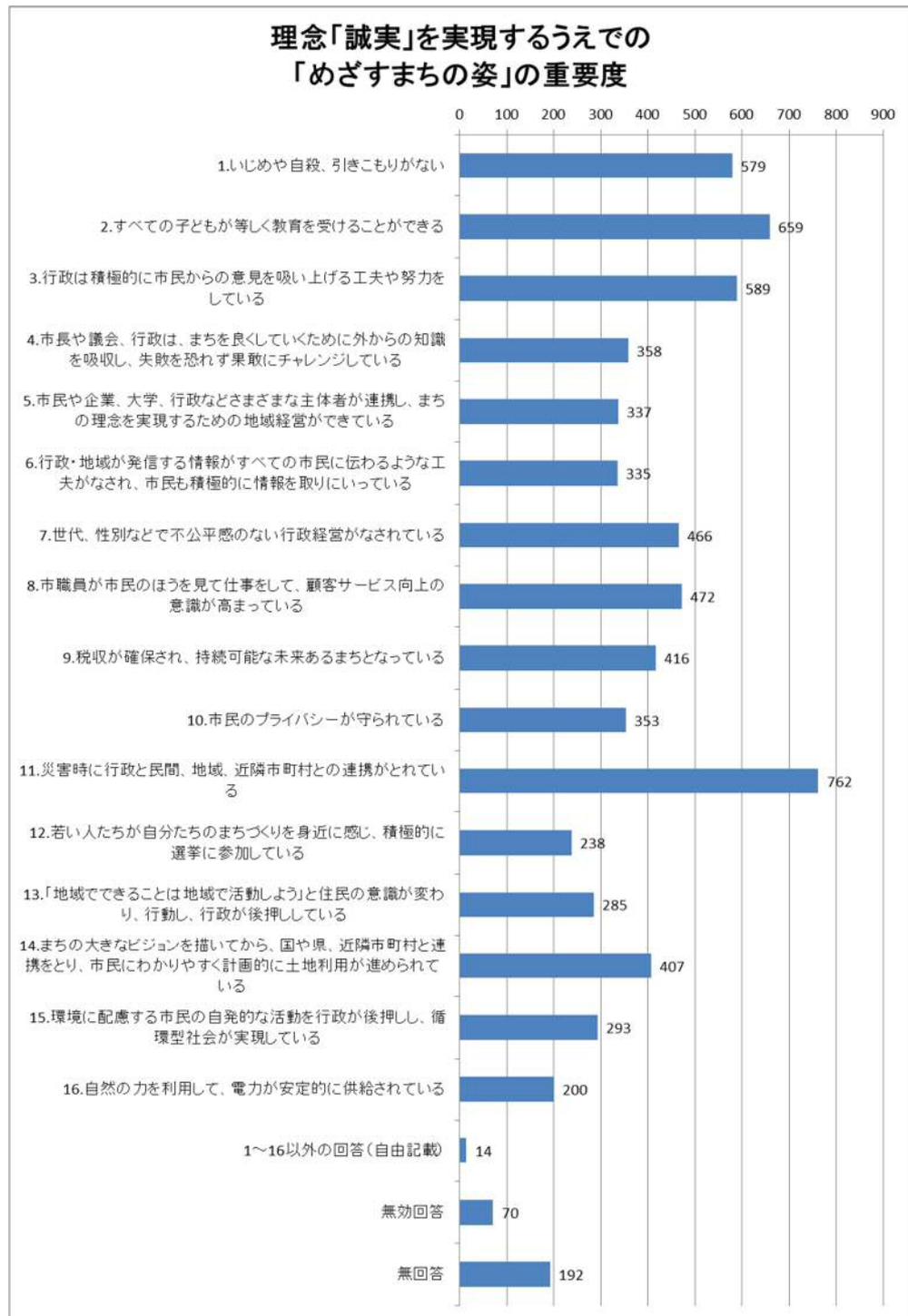
めざすまちの姿	選択数	構成比
1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	887	12.6%
2.魅力ある教育、特色ある教育となっている	301	4.3%
3.健康のために自転車に乗る人が増えている	121	1.7%
4.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている	149	2.1%
5.交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	810	11.5%
6.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	835	11.9%
7.下水道の整備がなされている	490	7.0%
8.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている	358	5.1%
9.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる	434	6.2%
10.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している	292	4.2%
11.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	581	8.3%

12.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	604	8.6%
13.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている	273	3.9%
14.空気がきれいである	658	9.4%
1～14 以外の回答（自由記載）	24	0.3%
無回答	123	1.8%
無効回答	85	1.2%
合計	7,025	100%



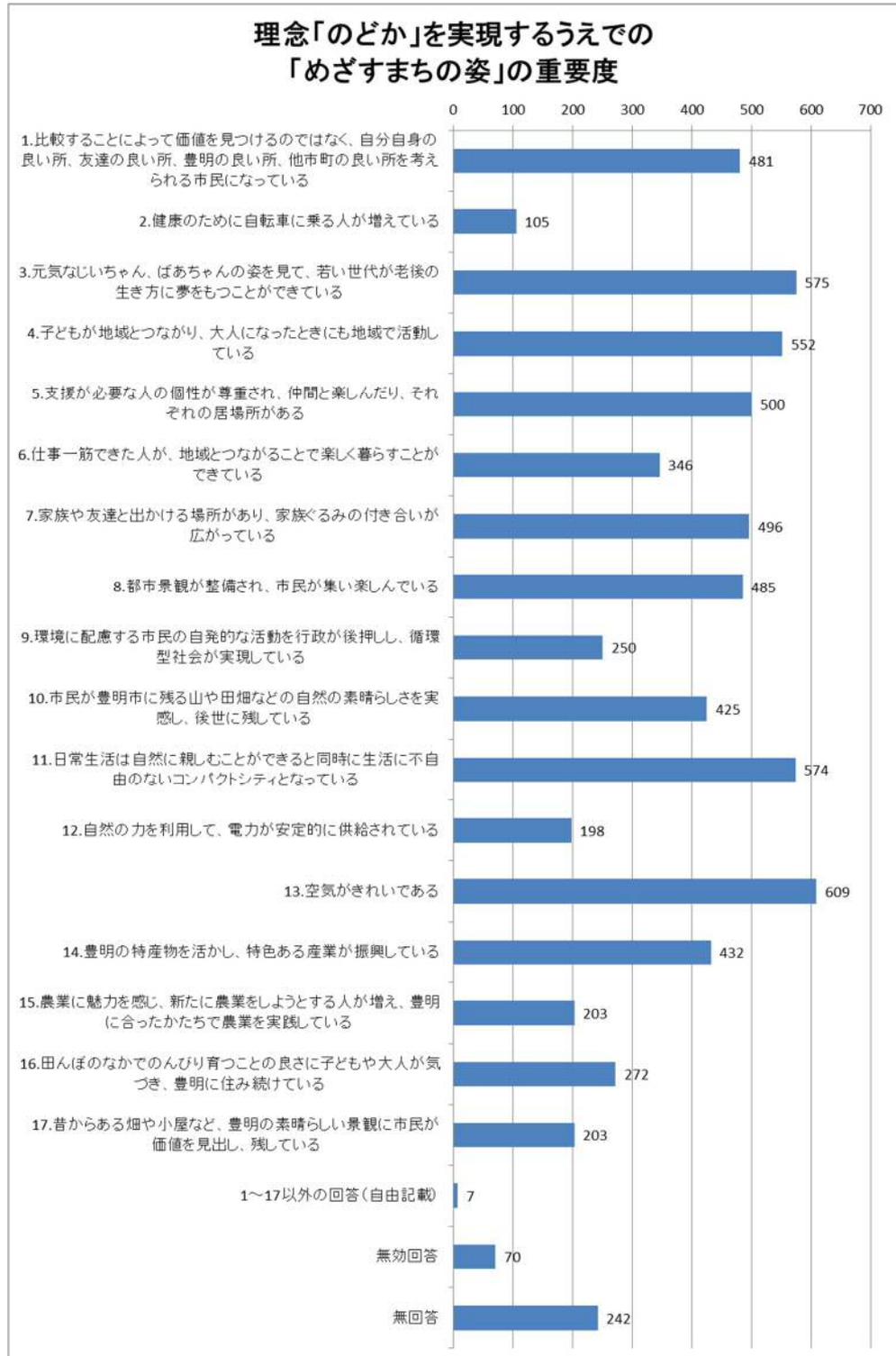
②理念「誠実」

めざすまちの姿	選択数	構成比
1.いじめや自殺、引きこもりがない	579	8.2%
2.すべての子どもが等しく教育を受けることができる	659	9.4%
3.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	589	8.4%
4.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	358	5.1%
5.市民や企業、大学、行政などさまざまな主体者が連携し、まちの理念を実現するための地域経営ができています	337	4.8%
6.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている	335	4.8%
7.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている	466	6.6%
8.市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている	472	6.7%
9.税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている	416	5.9%
10.市民のプライバシーが守られている	353	5.0%
11.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	762	10.8%
12.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している	238	3.4%
13.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている	285	4.1%
14.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている	407	5.8%
15.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している	293	4.2%
16.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている	200	2.8%
1～16以外の回答（自由記載）	14	0.2%
無効回答	70	1.0%
無回答	192	2.7%
合計	7,025	100%



③理念「のどか」

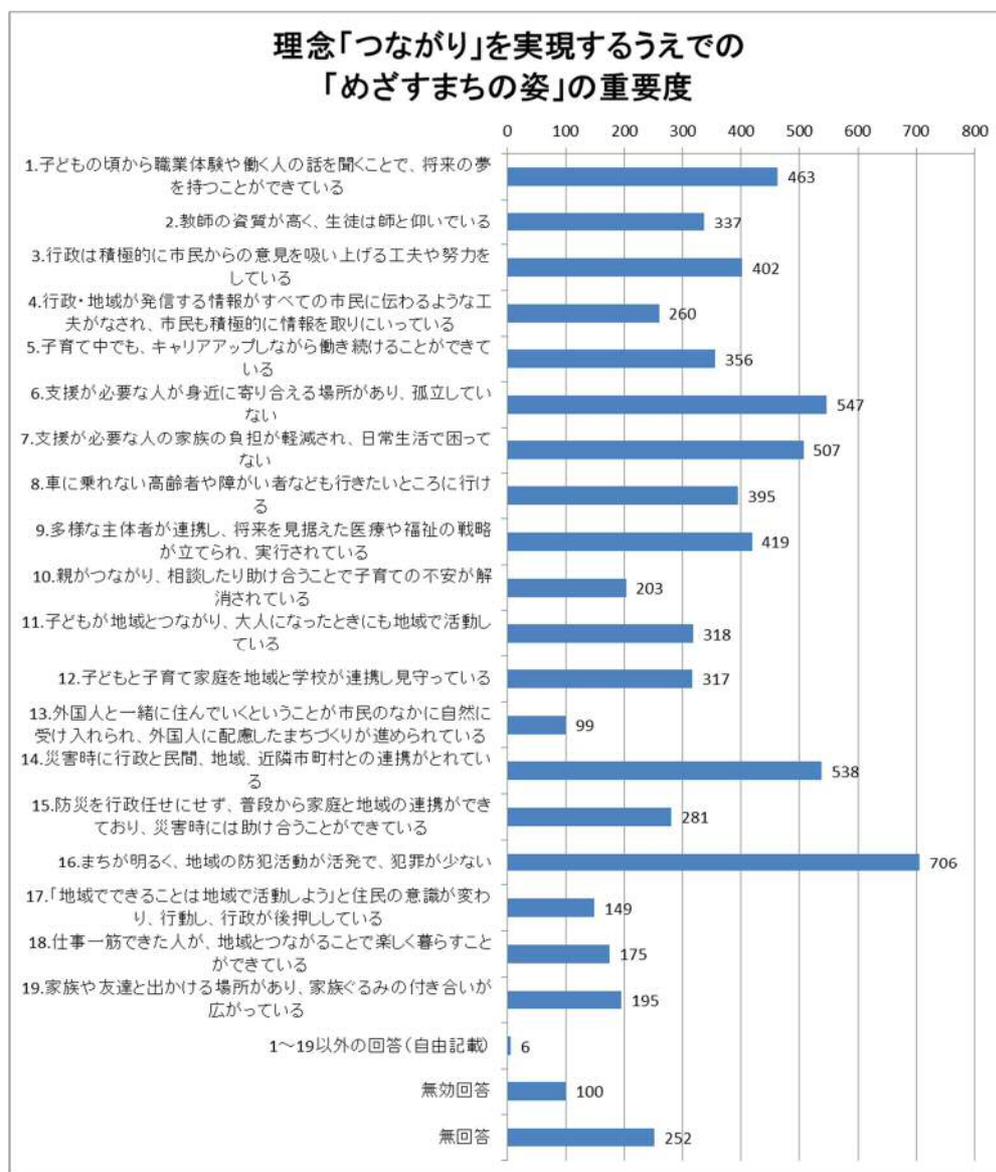
めざすまちの姿	選択数	構成比
1.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている	481	6.8%
2.健康のために自転車に乗る人が増えている	105	1.5%
3.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	575	8.2%
4.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	552	7.9%
5.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある	500	7.1%
6.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができている	346	4.9%
7.家族や友達と出かける場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている	496	7.1%
8.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる	485	6.9%
9.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している	250	3.6%
10.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している	425	6.0%
11.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	574	8.2%
12.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている	198	2.8%
13.空気がきれいである	609	8.7%
14.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している	432	6.1%
15.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している	203	2.9%
16.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている	272	3.9%
17.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している	203	2.9%
1～17 以外の回答（自由記載）	7	0.1%
無効回答	70	1.0%
無回答	242	3.4%
合計	7,025	100%



④理念「つながり」

めざすまちの姿	選択数	構成比
1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている	463	6.6%
2.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる	337	4.8%
3.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	402	5.7%
4.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにいっている	260	3.7%
5.子育て中でも、キャリアアップしながら働き続けることができている	356	5.1%
6.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない	547	7.8%
7.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない	507	7.2%
8.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける	395	5.6%
9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている	419	6.0%
10.親がつながり、相談したり助け合うことで子育ての不安が解消されている	203	2.9%
11.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	318	4.5%
12.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている	317	4.5%
13.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている	99	1.4%
14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	538	7.7%
15.防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができている	281	4.0%
16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	706	10.0%
17.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている	149	2.1%
18.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができている	175	2.5%
19.家族や友達と出かける場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている	195	2.8%
1～19以外の回答（自由記載）	6	0.1%
無効回答	100	1.4%

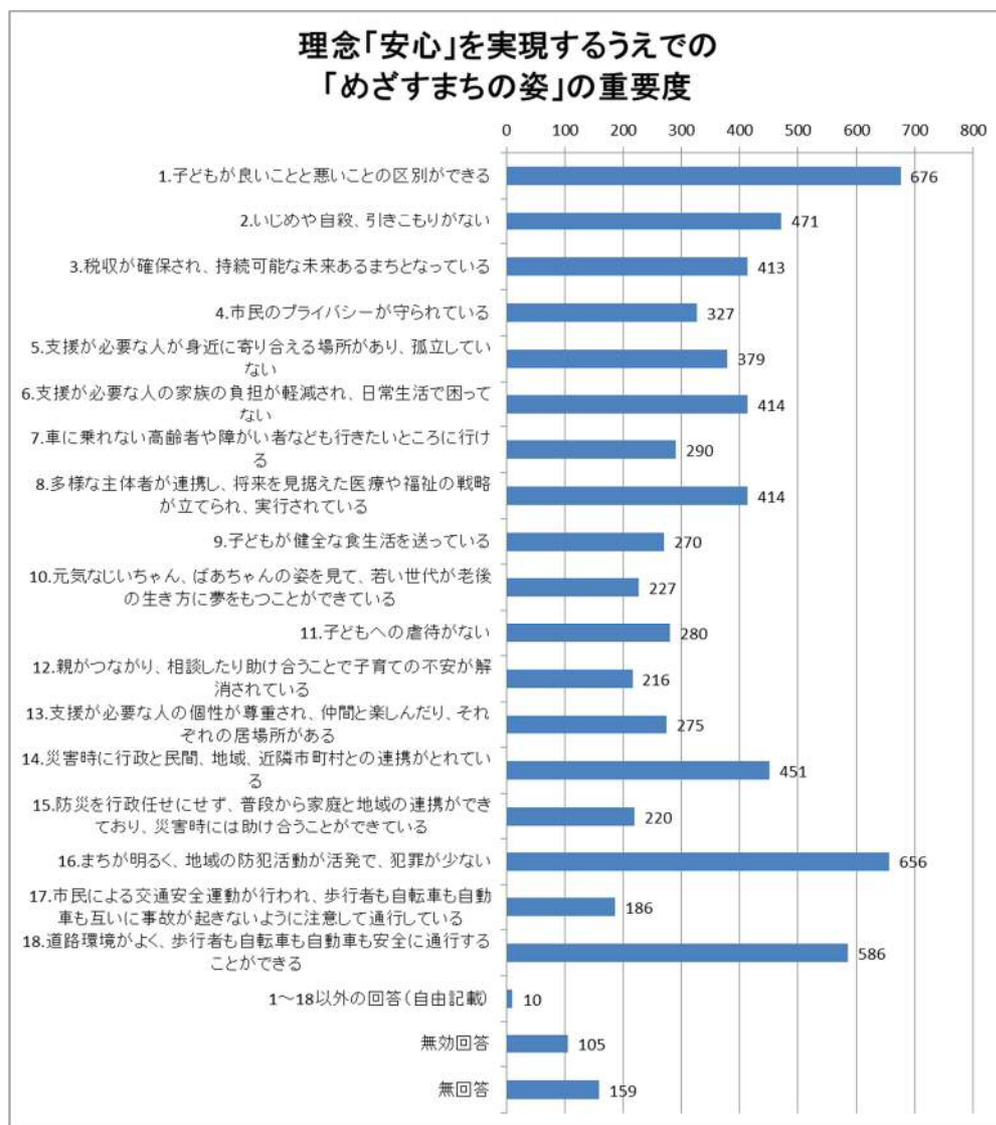
無回答	252	3.6%
合計	7025	100%



⑤理念「安心」

めざすまちの姿	選択数	構成比
1. 子どもが良いことと悪いことの区別ができる	676	9.6%
2. いじめや自殺、引きこもりがない	471	6.7%
3. 税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている	413	5.9%

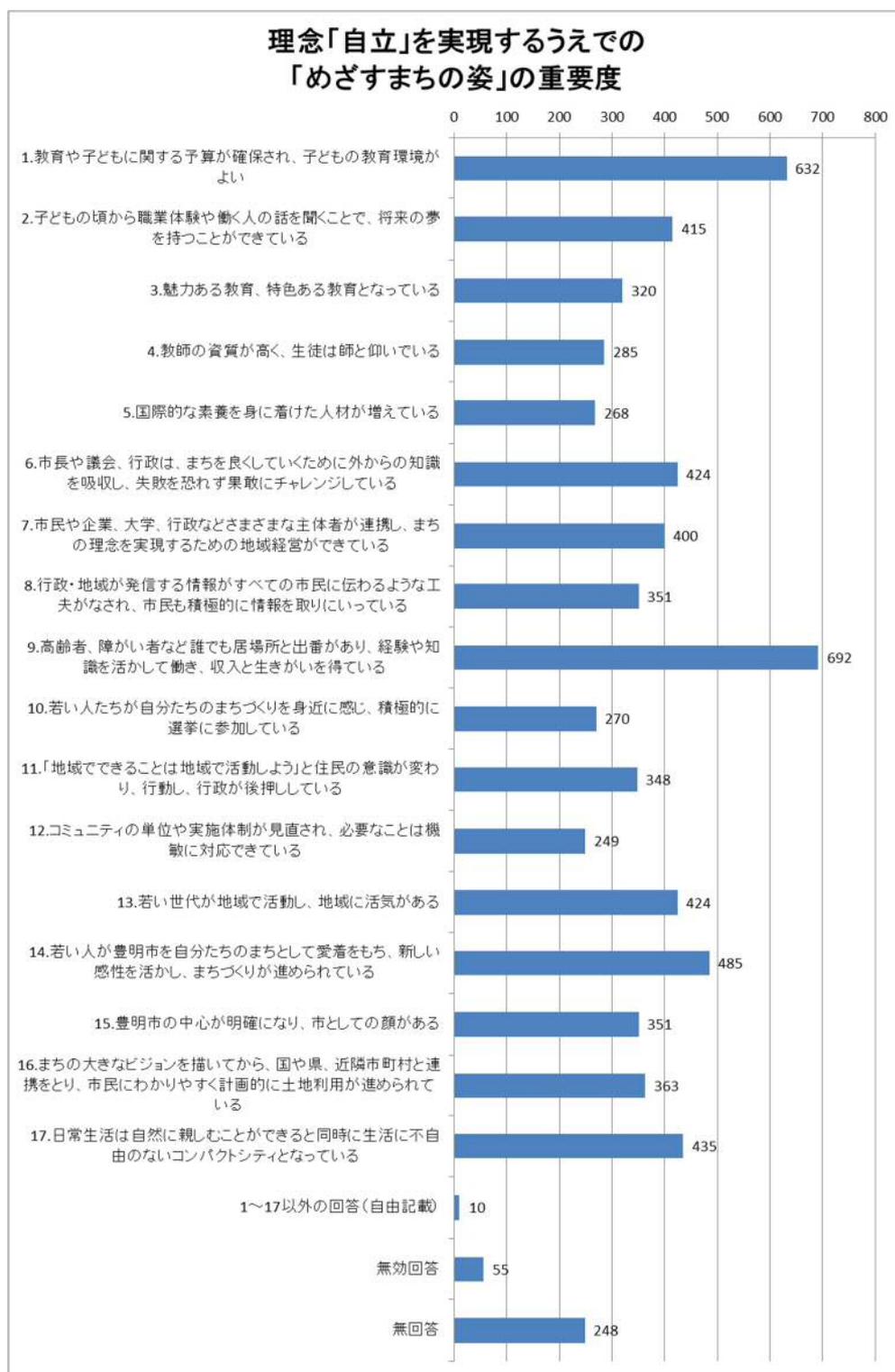
4.市民のプライバシーが守られている	327	4.7%
5.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない	379	5.4%
6.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない	414	5.9%
7.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける	290	4.1%
8.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている	414	5.9%
9.子どもが健全な食生活を送っている	270	3.8%
10.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	227	3.2%
11.子どもへの虐待がない	280	4.0%
12.親がつながり、相談したり助け合うことで子育ての不安が解消されている	216	3.1%
13.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある	275	3.9%
14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	451	6.4%
15.防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができている	220	3.1%
16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	656	9.3%
17.市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している	186	2.6%
18.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	586	8.3%
1～18 以外の回答（自由記載）	10	0.1%
無効回答	105	1.5%
無回答	159	2.3%
合計	7,025	100%



⑥理念「自立」

めざすまちの姿	選択数	構成比
1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	632	9.0%
2.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている	415	5.9%
3.魅力ある教育、特色ある教育となっている	320	4.6%
4.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる	285	4.1%
5.国際的な素養を身に着けた人材が増えている	268	3.8%
6.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	424	6.0%

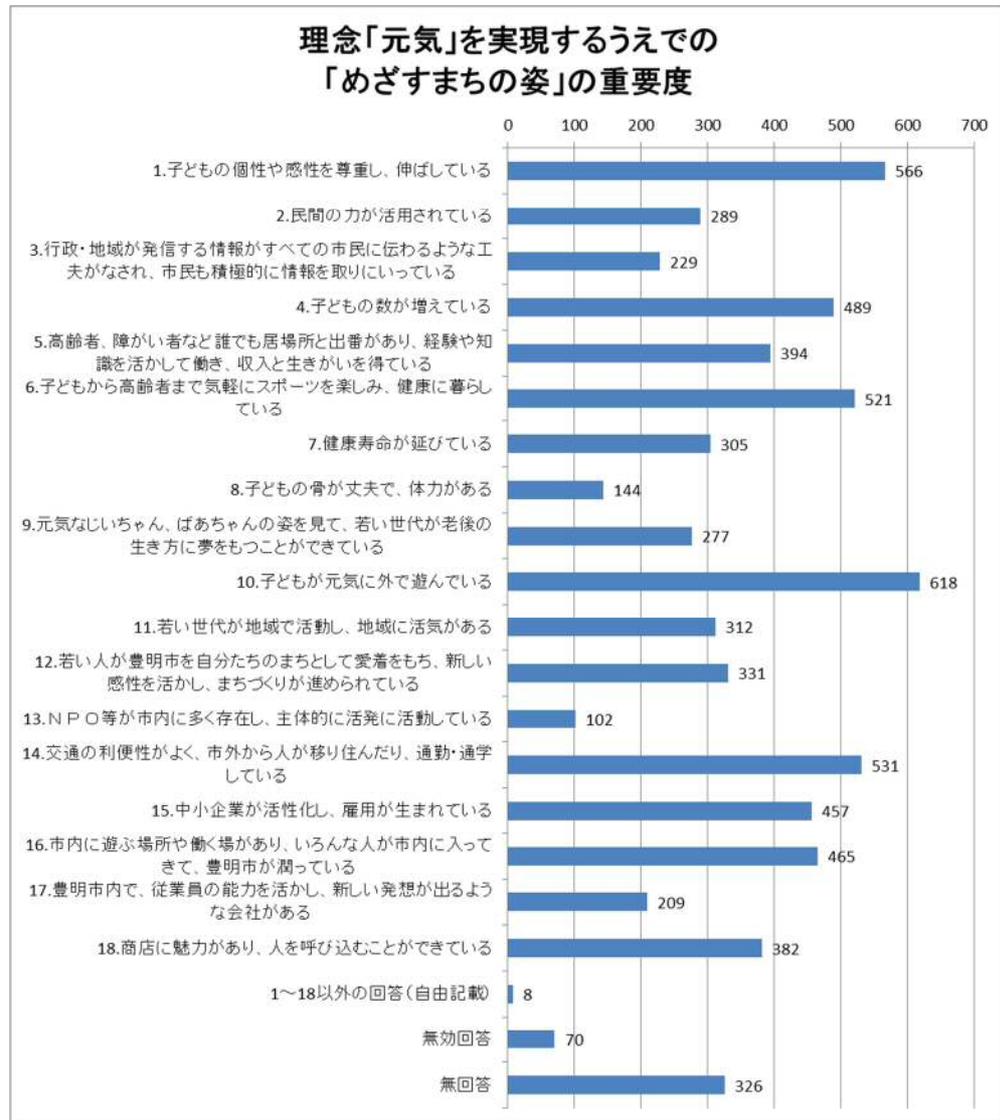
7.市民や企業、大学、行政などさまざまな主体者が連携し、まちの理念を実現するための地域経営ができています	400	5.7%
8.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている	351	5.0%
9.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	692	9.9%
10.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している	270	3.8%
11.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている	348	5.0%
12.コミュニティの単位や実施体制が見直され、必要なことは機敏に対応できている	249	3.5%
13.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある	424	6.0%
14.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	485	6.9%
15.豊明市の中心が明確になり、市としての顔がある	351	5.0%
16.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている	363	5.2%
17.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	435	6.2%
1～17 以外の回答（自由記載）	10	0.1%
無効回答	55	0.8%
無回答	248	3.5%
合計	7,025	100%



⑦理念「元気」

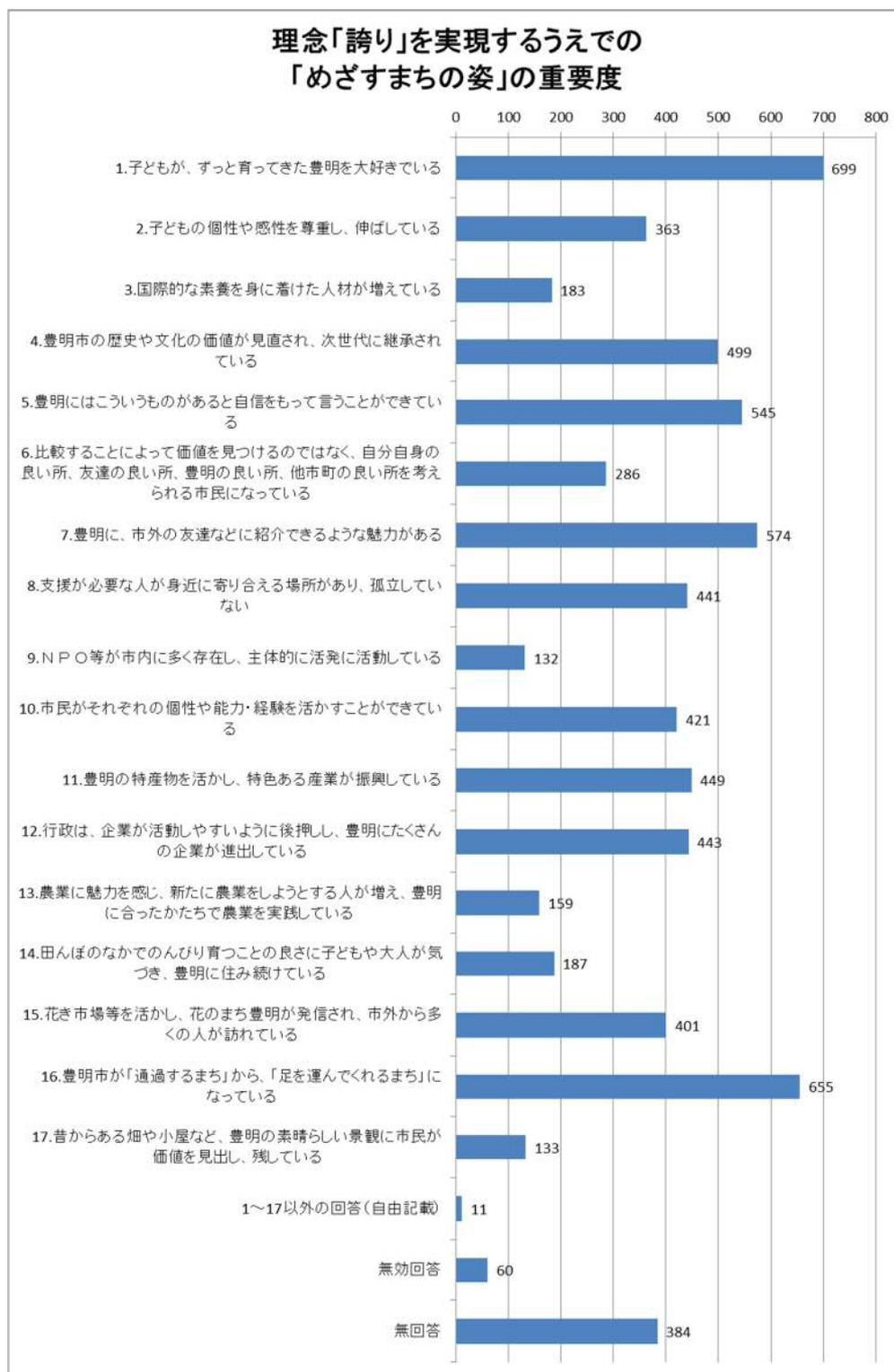
めざすまちの姿	選択数	構成比
1.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	566	8.1%

2.民間の力が活用されている	289	4.1%
3.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている	229	3.3%
4.子どもの数が増えている	489	7.0%
5.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	394	5.6%
6.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	521	7.4%
7.健康寿命が延びている	305	4.3%
8.子どもの骨が丈夫で、体力がある	144	2.0%
9.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	277	3.9%
10.子どもが元気に外で遊んでいる	618	8.8%
11.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある	312	4.4%
12.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	331	4.7%
13.NPO等が市内に多く存在し、主体的に活発に活動している	102	1.5%
14.交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	531	7.6%
15.中小企業が活性化し、雇用が生まれている	457	6.5%
16.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろいろな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている	465	6.6%
17.豊明市内で、従業員の能力を活かし、新しい発想が出るような会社がある	209	3.0%
18.商店に魅力があり、人を呼び込むことができている	382	5.4%
1～18以外の回答（自由記載）	8	0.1%
無効回答	70	1.0%
無回答	326	4.6%
合計	7,025	100%



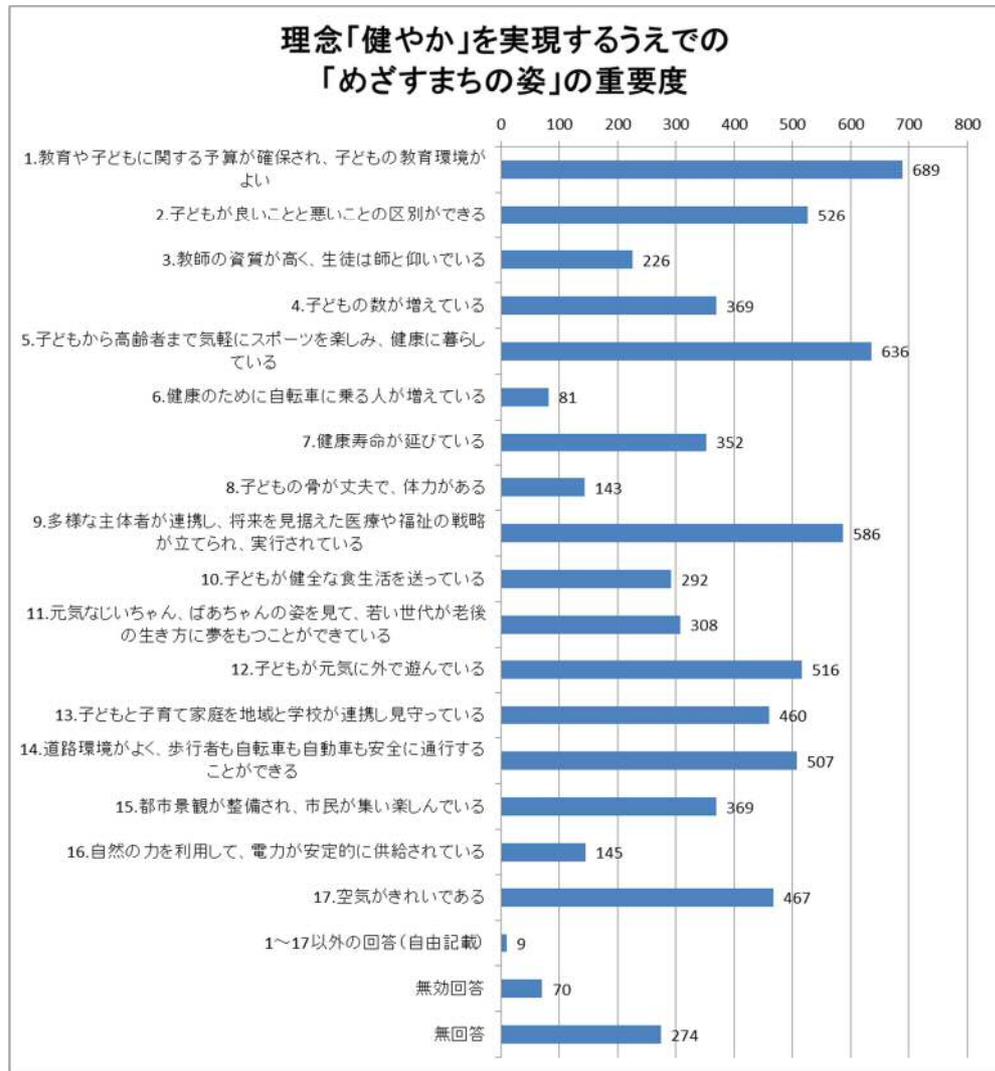
⑧理念「誇り」

めざすまちの姿	選択数	構成比
1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	699	10.0%
2.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	363	5.2%
3.国際的な素養を身に着けた人材が増えている	183	2.6%
4.豊明市の歴史や文化の価値が見直され、次世代に継承されている	499	7.1%
5.豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができる	545	7.8%
6.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている	286	4.1%
7.豊明に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある	574	8.2%
8.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない	441	6.3%
9.NPO等が市内に多く存在し、主体的に活発に活動している	132	1.9%
10.市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができる	421	6.0%
11.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している	449	6.4%
12.行政は、企業が活動しやすいように後押しし、豊明にたくさん企業が進出している	443	6.3%
13.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している	159	2.3%
14.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている	187	2.7%
15.花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人を訪れている	401	5.7%
16.豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	655	9.3%
17.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している	133	1.9%
1～17 以外の回答（自由記載）	11	0.2%
無効回答	60	0.9%
無回答	384	5.5%
合計	7,025	100%



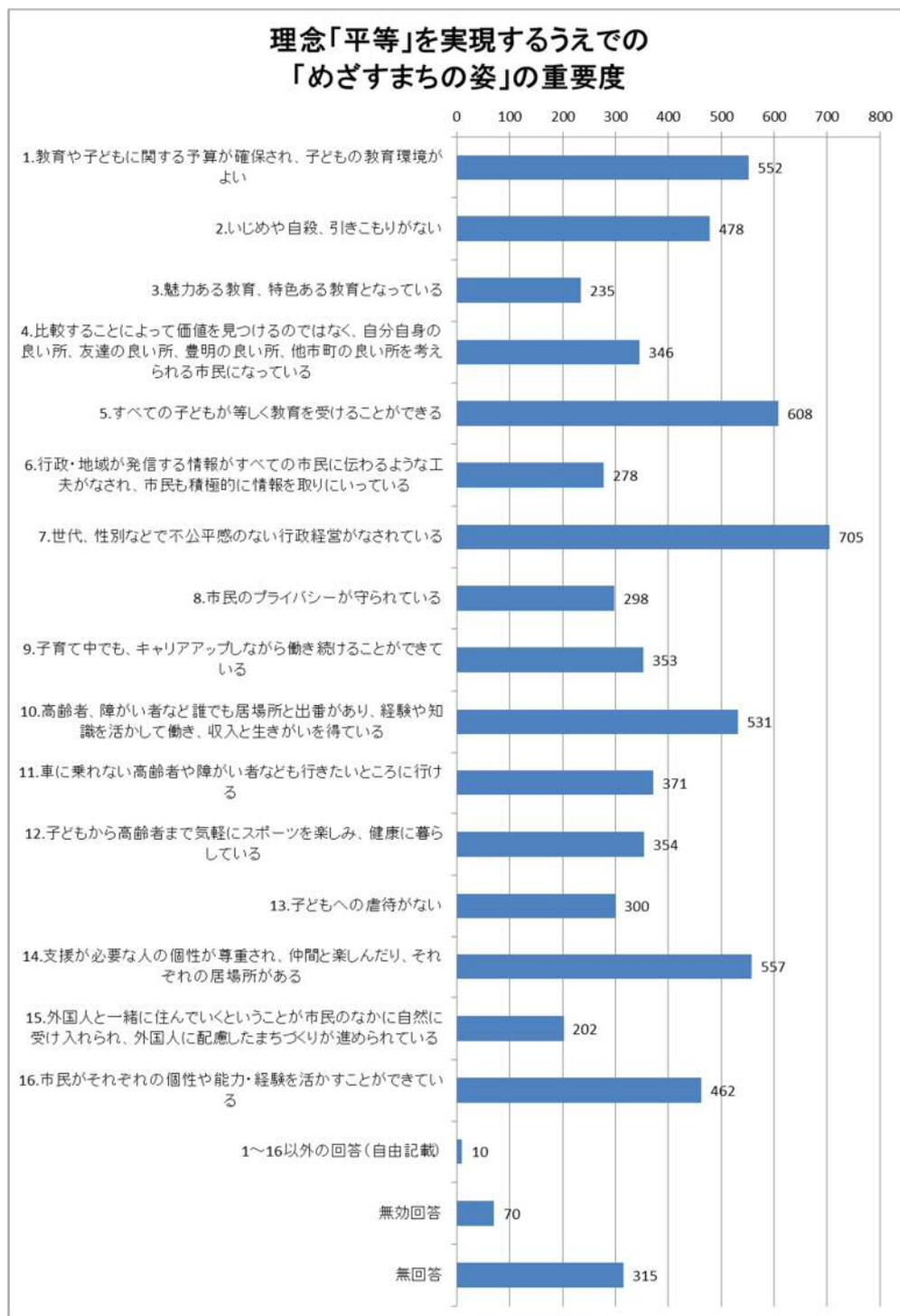
⑨理念「健やか」

めざすまちの姿	選択数	構成比
1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	689	9.8%
2.子どもが良いことと悪いことの区別ができる	526	7.5%
3.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる	226	3.2%
4.子どもの数が増えている	369	5.3%
5.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	636	9.1%
6.健康のために自転車に乗る人が増えている	81	1.2%
7.健康寿命が延びている	352	5.0%
8.子どもの骨が丈夫で、体力がある	143	2.0%
9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている	586	8.3%
10.子どもが健全な食生活を送っている	292	4.2%
11.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	308	4.4%
12.子どもが元気に外で遊んでいる	516	7.3%
13.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている	460	6.5%
14.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	507	7.2%
15.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる	369	5.3%
16.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている	145	2.1%
17.空気がきれいである	467	6.6%
1～17 以外の回答（自由記載）	9	0.1%
無効回答	70	1.0%
無回答	274	3.9%
合計	7025	100%



⑩理念「平等」

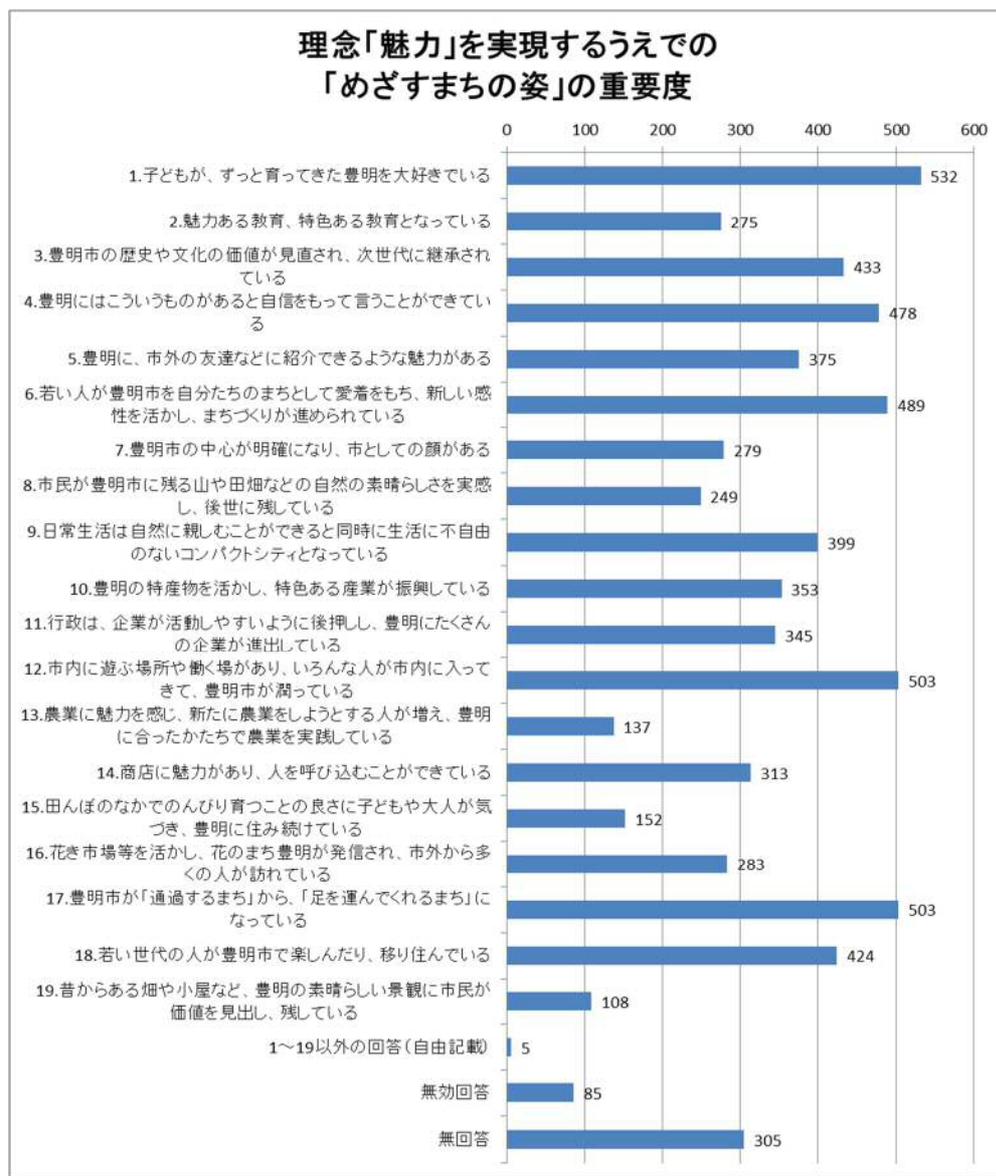
めざすまちの姿	選択数	構成比
1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	552	7.9%
2.いじめや自殺、引きこもりがない	478	6.8%
3.魅力ある教育、特色ある教育となっている	235	3.3%
4.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民となっている	346	4.9%
5.すべての子どもが等しく教育を受けることができる	608	8.7%
6.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにいつている	278	4.0%
7.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている	705	10.0%
8.市民のプライバシーが守られている	298	4.2%
9.子育て中でも、キャリアアップしながら働き続けることができる	353	5.0%
10.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	531	7.6%
11.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける	371	5.3%
12.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	354	5.0%
13.子どもへの虐待がない	300	4.3%
14.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある	557	7.9%
15.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている	202	2.9%
16.市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができる	462	6.6%
1～16以外の回答（自由記載）	10	0.1%
無効回答	70	1.0%
無回答	315	4.5%
合計	7,025	100%



⑪理念「魅力」

めざすまちの姿	選択数	構成比
1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	532	7.6%

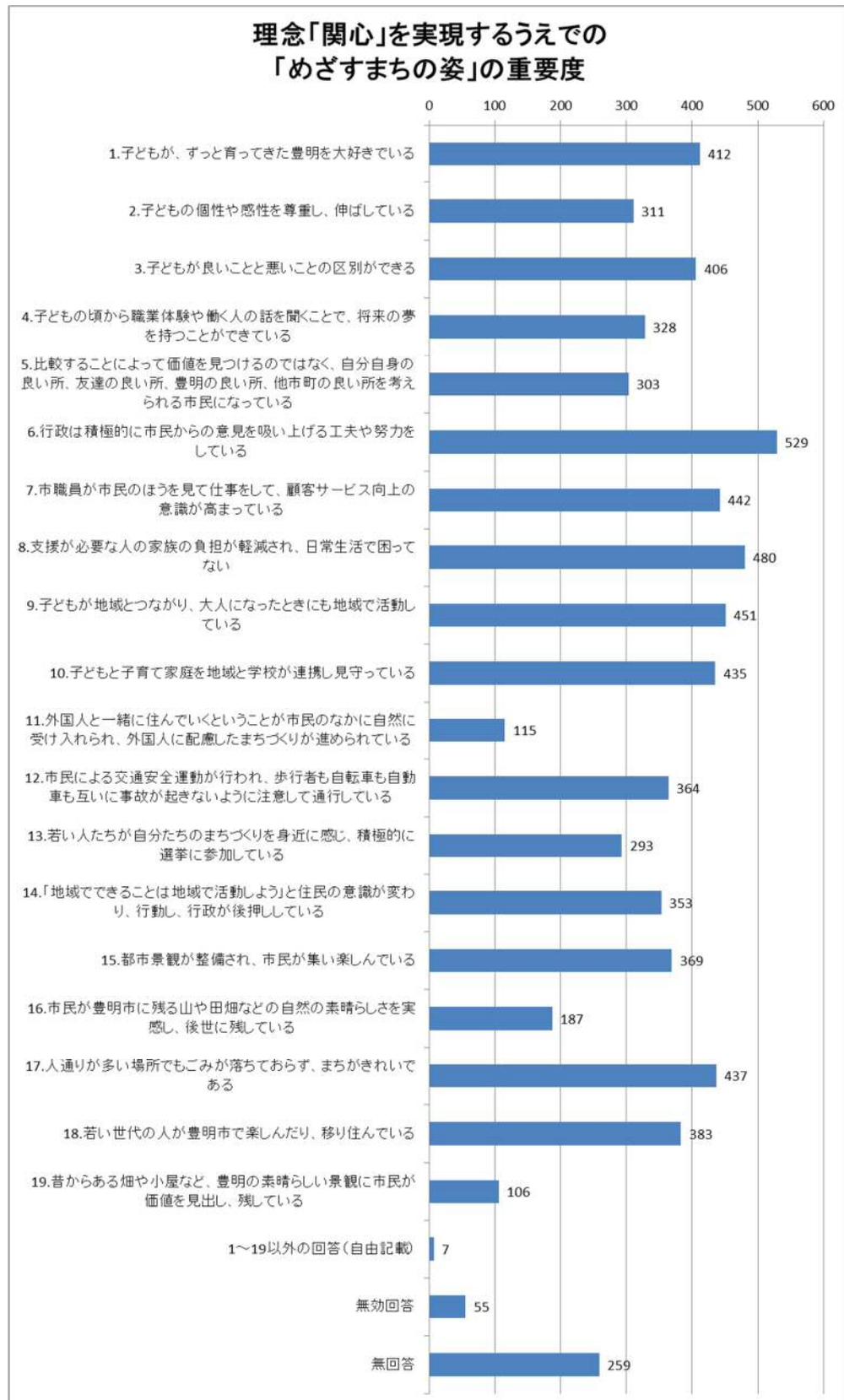
2.魅力ある教育、特色ある教育となっている	275	3.9%
3.豊明市の歴史や文化の価値が見直され、次世代に継承されている	433	6.2%
4.豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができる	478	6.8%
5.豊明に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある	375	5.3%
6.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	489	7.0%
7.豊明市の中心が明確になり、市としての顔がある	279	4.0%
8.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している	249	3.5%
9.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	399	5.7%
10.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している	353	5.0%
11.行政は、企業が活動しやすいように後押しし、豊明にたくさん企業が進出している	345	4.9%
12.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている	503	7.2%
13.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している	137	2.0%
14.商店に魅力があり、人を呼び込むことができる	313	4.5%
15.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている	152	2.2%
16.花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人を訪れている	283	4.0%
17.豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	503	7.2%
18.若い世代の人が豊明市で楽しんだり、移り住んでいる	424	6.0%
19.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している	108	1.5%
1～19 以外の回答（自由記載）	5	0.1%
無効回答	85	1.2%
無回答	305	4.3%
合計	7,025	100%



⑫理念「関心」

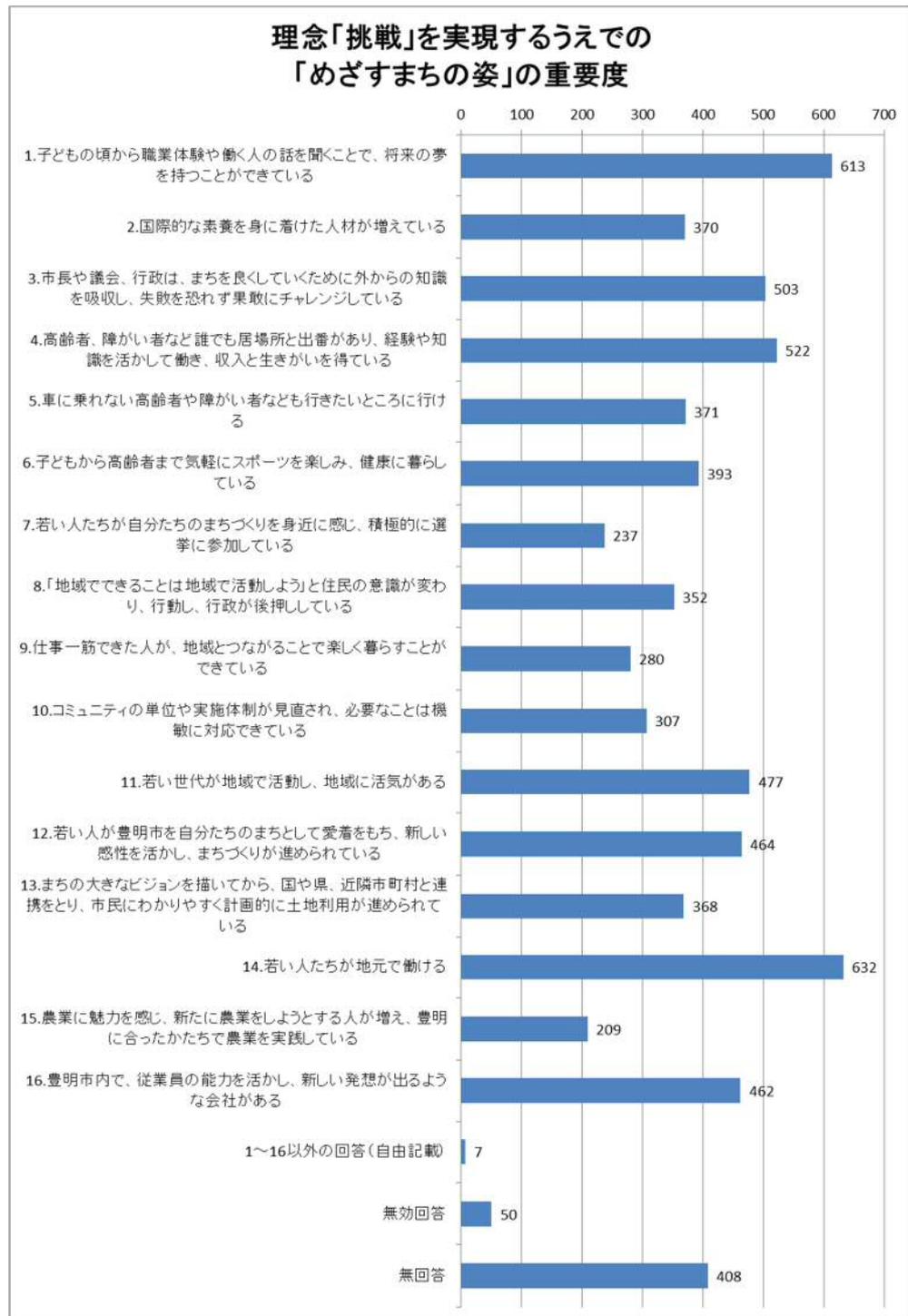
めざすまちの姿	選択数	構成比
1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	412	5.9%
2.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	311	4.4%
3.子どもが良いことと悪いことの区別ができる	406	5.8%
4.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができる	328	4.7%
5.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている	303	4.3%

6.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	529	7.5%
7.市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている	442	6.3%
8.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない	480	6.8%
9.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	451	6.4%
10.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている	435	6.2%
11.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている	115	1.6%
12.市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している	364	5.2%
13.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している	293	4.2%
14.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている	353	5.0%
15.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる	369	5.3%
16.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している	187	2.7%
17.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	437	6.2%
18.若い世代の人が豊明市で楽しんだり、移り住んでいる	383	5.5%
19.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している	106	1.5%
1～19 以外の回答（自由記載）	7	0.1%
無効回答	55	0.8%
無回答	259	3.7%
合計	7,025	100%



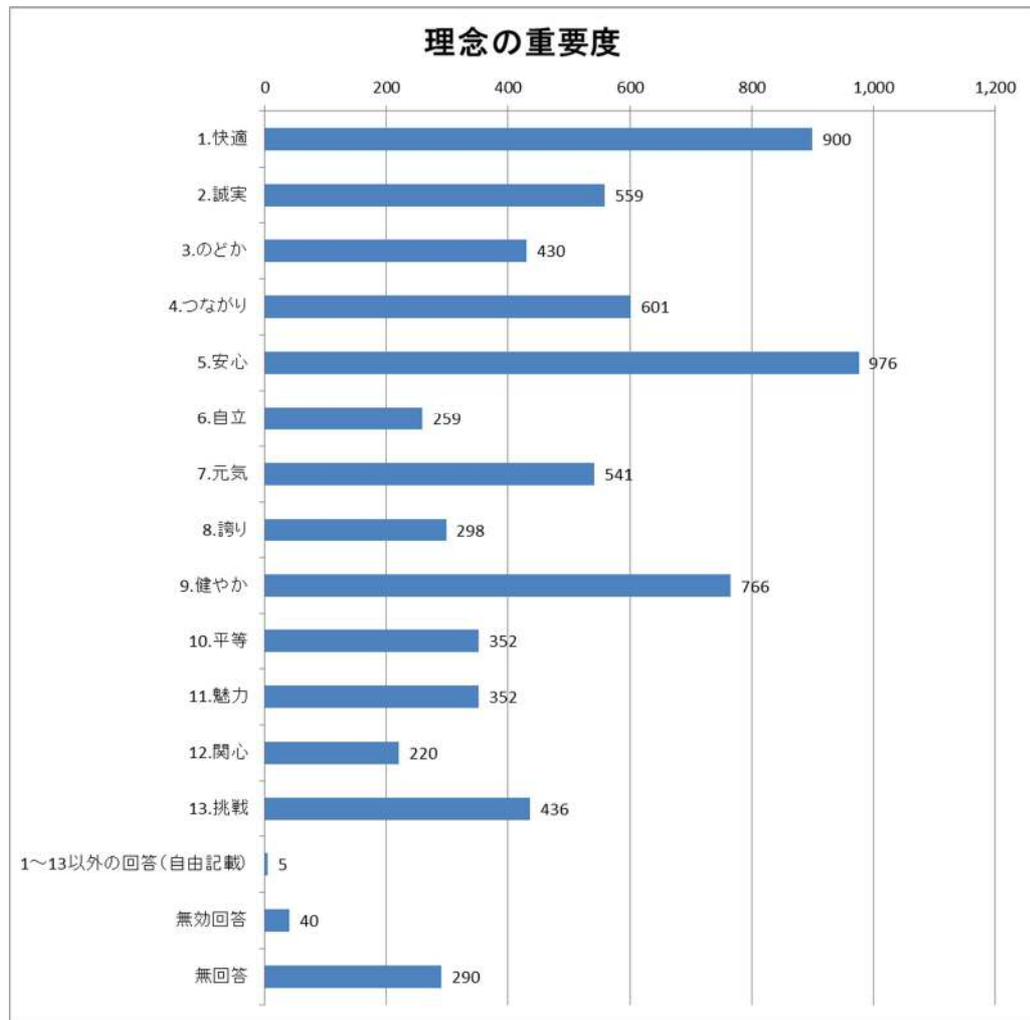
⑬理念「挑戦」

めざすまちの姿	選択数	構成比
1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている	613	8.7%
2.国際的な素養を身に着けた人材が増えている	370	5.3%
3.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	503	7.2%
4.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	522	7.4%
5.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける	371	5.3%
6.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	393	5.6%
7.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している	237	3.4%
8.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている	352	5.0%
9.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができている	280	4.0%
10.コミュニティの単位や実施体制が見直され、必要なことは機敏に対応できている	307	4.4%
11.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある	477	6.8%
12.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	464	6.6%
13.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている	368	5.2%
14.若い人たちが地元で働ける	632	9.0%
15.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している	209	3.0%
16.豊明市内で、従業員の能力を活かし、新しい発想が出るような会社がある	462	6.6%
1～16以外の回答（自由記載）	7	0.1%
無効回答	50	0.7%
無回答	408	5.8%
合計	7,025	100%



問3 「理念」の重要度

理念	選択数	構成比
1.快適	900	12.8%
2.誠実	559	8.0%
3.のどか	430	6.1%
4.つながり	601	8.6%
5.安心	976	13.9%
6.自立	259	3.7%
7.元気	541	7.7%
8.誇り	298	4.2%
9.健やか	766	10.9%
10.平等	352	5.0%
11.魅力	352	5.0%
12.関心	220	3.1%
13.挑戦	436	6.2%
1～13以外の回答（自由記載）	5	0.1%
無効回答	40	0.6%
無回答	290	4.1%
合計	7,025	100%



問4 1つずつの「めざすまちの姿」の5段階評価

順位	めざすまちの姿	平均値	差
1	46.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	4.558	—
2	4.子どもが良いことと悪いことの区別ができる	4.544	-0.014
3	44.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	4.529	-0.014
4	6.いじめや自殺、引きこもりがない	4.483	-0.046
5	37.子どもへの虐待がない	4.483	-0.001
6	13.すべての子どもが等しく教育を受けることができる	4.472	-0.011
7	2.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	4.408	-0.063
8	68.空気がきれいである	4.398	-0.010
9	59.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	4.381	-0.017
10	45.防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができている	4.373	-0.008
11	34.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている	4.367	-0.007
12	15.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	4.346	-0.021
13	60.下水道の整備がなされている	4.301	-0.045
14	21.税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている	4.292	-0.008
15	70.中小企業が活性化し、雇用が生まれている	4.274	-0.018
16	28.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない	4.272	-0.002
17	47.市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している	4.263	-0.009
18	39.子どもが元気に外で遊んでいる	4.258	-0.005
19	27.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない	4.239	-0.019
20	35.子どもが健全な食生活を送っている	4.222	-0.017

21	41.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている	4.206	-0.016
22	23.市民のプライバシーが守られている	4.193	-0.013
23	26.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	4.179	-0.015
24	71.行政は、企業が活動しやすいように後押しし、豊明にたくさんの企業が進出している	4.178	-0.001
25	20.市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている	4.177	0.000
26	73.若い人たちが地元で働ける	4.176	-0.002
27	58.交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	4.168	-0.007
28	19.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている	4.165	-0.004
29	38.親がつながり、相談したり助け合うことで子育ての不安が解消されている	4.162	-0.002
30	65.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	4.159	-0.004
31	72.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている	4.152	-0.007
32	1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	4.107	-0.045
33	3.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	4.099	-0.008
34	42.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある	4.096	-0.003
35	25.子どもの数が増えている	4.084	-0.013
36	80.若い世代の人が豊明市で楽しんだり、移り住んでいる	4.060	-0.024
37	79.豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	4.054	-0.006
38	29.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける	4.043	-0.011
39	52.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある	4.042	-0.001
40	66.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	4.031	-0.011
41	40.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	4.025	-0.007
42	16.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	4.023	-0.002

43	8.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる	4.017	-0.006
44	76.商店に魅力があり、人を呼び込むことができている	4.013	-0.004
45	18.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている	4.002	-0.010
46	61.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている	3.999	-0.003
47	53.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	3.996	-0.003
48	17.市民や企業、大学、行政などさまざまな主体者が連携し、まちの理念を実現するための地域経営ができている	3.978	-0.018
49	48.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している	3.976	-0.002
50	33.子どもの骨が丈夫で、体力がある	3.973	-0.004
51	75.豊明市内で、従業員の能力を活かし、新しい発想が出るような会社がある	3.956	-0.017
52	30.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	3.947	-0.008
53	14.民間の力が活用されている	3.943	-0.004
54	69.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している	3.940	-0.003
55	5.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている	3.936	-0.005
56	62.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる	3.931	-0.004
57	24.子育て中でも、キャリアアップしながら働き続けることができている	3.924	-0.007
58	7.魅力ある教育、特色ある教育となっている	3.915	-0.010
59	49.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている	3.907	-0.008
60	63.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している	3.895	-0.011
61	36.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	3.887	-0.009
62	67.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている	3.855	-0.032
63	32.健康寿命が延びている	3.802	-0.053

64	12.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている	3.799	-0.003
65	51.コミュニティの単位や実施体制が見直され、必要なことは機敏に対応できている	3.784	-0.015
66	55.市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができている	3.780	-0.004
67	11.豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができている	3.779	-0.001
68	78.花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人を訪れている	3.778	-0.001
69	74.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している	3.759	-0.018
70	50.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができている	3.736	-0.023
71	10.豊明市の歴史や文化の価値が見直され、次世代に継承されている	3.734	-0.002
72	56.家族や友達と出かける場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている	3.730	-0.004
73	64.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している	3.730	0.000
74	57.豊明市の中心が明確になり、市としての顔がある	3.680	-0.050
75	22.豊明に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある	3.647	-0.033
76	77.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている	3.642	-0.005
77	9.国際的な素養を身に着けた人材が増えている	3.615	-0.027
78	81.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している	3.611	-0.004
79	54.NPO等が市内に多く存在し、主体的に活発に活動している	3.459	-0.151
80	43.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている	3.435	-0.025
81	31.健康のために自転車に乗る人が増えている	3.142	-0.292

(4) マトリクス

市民意識調査の結果を理念（横軸）と分野（縦軸）でマトリクスとして整理した。

	安心(976票)	快適(900票)	健やか(766票)	つながり(601票)	誠実(559票)	元気(541票)	挑戦(436票)	のどか(430票)	平等(352票)	魅力(352票)	誇り(298票)	自立(259票)	関心(220票)
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち	自然にふれあい、のんびりとゆっくり暮らせるまち	誰もが等しく個性を伸ばし、自分らしく生きられるまち	豊明の良さを発信し、多くの人に親しまれるまち	市民一人ひとりが、わがまちに愛着と自信を持ち続けられるまち	市民、地域、行政が自ら考え行動し、それぞれの役割を果たしているまち	一人ひとりが互いに気遣い、普段から地域活動に参加しているまち
1位	1.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(676)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(887)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(689)	16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない(706)	11.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(762)	10.子どもが元気に外で遊んでいる(618)	14.若い人たちが地元で働ける(632)	13.空気がきれいである(609)	7.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている(705)	1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる(532)	1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる(699)	9.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(692)	6.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている(529)
2位	16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない(656)	6.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(835)	5.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しむ、健康に暮らしている(636)	6.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない(547)	2.すべての子どもが等しく教育を受けることができる(659)	1.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている(566)	1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている(613)	3.元氣なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている(575)	5.すべての子どもが等しく教育を受けることができる(608)	12.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている(503)	16.豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている(655)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(632)	8.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない(480)
3位	18.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(586)	5.交通の利便性が高く、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している(810)	9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(586)	14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(538)	3.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている(589)	14.交通の利便性が高く、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している(531)	4.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(522)	11.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(574)	14.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある(557)	17.豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている(503)	7.豊明に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある(574)	14.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(485)	9.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している(451)
4位	2.いじめや自殺、引きこもりがない(471)	14.空気がきれいである(658)	2.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(526)	7.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない(507)	1.いじめや自殺、引きこもりがない(579)	6.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しむ、健康に暮らしている(521)	3.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている(503)	4.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している(552)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(552)	6.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(489)	5.豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができている(545)	17.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(435)	7.市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている(442)
5位	14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(451)	12.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(604)	12.子どもが元気に外で遊んでいる(516)	1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている(463)	8.市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている(472)	4.子どもの数が増えている(489)	11.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある(477)	5.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある(500)	10.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(531)	4.豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができている(478)	4.豊明市の歴史や文化の価値が見直され、次世代に継承されている(499)	6.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている(424)	17.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである(437)
6位	6.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない(414)	11.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである(581)	14.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(507)	9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(419)	7.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている(466)	16.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている(465)	12.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(464)	7.家族や友達と出かける場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている(496)	2.いじめや自殺、引きこもりがない(478)	3.豊明市の歴史や文化の価値が見直され、次世代に継承されている(433)	11.豊明の特産物を活かす、特色ある産業が振興している(449)	13.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある(424)	10.子どもと子育てで家庭を地域と学校が連携し見守っている(435)

	安心(976票)	快適(900票)	健やか(766票)	つながり(601票)	誠実(559票)	元気(541票)	挑戦(436票)	のどか(430票)	平等(352票)	魅力(352票)	誇り(298票)	自立(259票)	関心(220票)
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいをもち、夢や目標に向かって踏み出せるまち	自然にふれあい、のんびりとゆっくり暮らせるまち	誰もが等しく個性を伸ばし、自分らしく生きられるまち	豊明の良さを発信し、多くの人に親しまれるまち	市民一人ひとりが、わがまちに愛着と自信を持ち続けられるまち	市民、地域、行政が自ら考え行動し、それぞれの役割を果たしているまち	一人ひとりが互いに気遣い、普段から地域活動に参加しているまち
7位	8.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(414)	7.下水道の整備がなされている(490)	17.空気がきれいである(467)	3.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている(402)	9.税金が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている(416)	15.中小企業が活性化し、雇用が生まれている(457)	16.豊明市内で、従業員の能力を活かし、新しい発想が出るような会社がある(462)	8.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる(485)	16.市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができている(462)	18.若い世代の人が豊明市で楽しんだり、移り住んでいる(424)	12.行政は、企業が活動しやすいように後押しし、豊明にたくさんの企業が進出している(443)	2.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている(415)	1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる(412)
8位	3.税金が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている(413)	9.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる(434)	13.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている(460)	8.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける(395)	14.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている(407)	5.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(394)	6.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている(393)	1.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている(481)	11.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける(371)	9.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(399)	8.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない(441)	7.市民や企業、大学、行政などさまざまな主体者が連携し、まちの理念を実現するための地域経営ができている(400)	3.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(406)
9位	5.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない(379)	8.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている(358)	4.子どもの数が増えている(369)	5.子育て中でも、キャリアアップしながら働き続けることができている(356)	4.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている(358)	18.商店に魅力があり、人を呼び込むことができている(382)	5.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける(371)	14.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している(432)	12.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しむ、健康に暮らしている(354)	5.豊明に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある(375)	10.市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができている(421)	16.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている(363)	18.若い世代の人が豊明市で楽しんだり、移り住んでいる(383)
10位	4.市民のプライバシーが守られている(327)	2.魅力ある教育、特色ある教育となっている(301)	15.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる(369)	2.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる(337)	10.市民のプライバシーが守られている(353)	12.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(331)	2.国際的な素養を身に着けた人材が増えている(370)	10.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している(425)	9.子育て中でも、キャリアアップしながら働き続けることができている(353)	10.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している(353)	15.花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人が訪れている(401)	8.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている(351)	15.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる(369)
11位	7.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける(290)	10.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している(292)	7.健康寿命が延びている(352)	11.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している(318)	5.市民や企業、大学、行政などさまざまな主体者が連携し、まちの理念を実現するための地域経営ができている(337)	11.若い世代が地域で活動し、地域に活力がある(312)	13.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている(368)	6.仕事一筋できた人で、地域とつながることによって楽しく暮らすことができている(346)	4.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている(346)	11.行政は、企業が活動しやすいように後押しし、豊明にたくさんの企業が進出している(345)	2.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている(363)	15.豊明市の中心が明確になり、市としての顔がある(351)	12.市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している(364)
12位	11.子どもへの虐待がない(280)	13.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている(273)	11.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている(308)	12.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている(317)	6.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている(335)	7.健康寿命が延びている(305)	8.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(352)	16.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている(272)	13.子どもへの虐待がない(300)	14.商店に魅力があり、人を呼び込むことができている(313)	6.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている(286)	11.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(348)	14.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(353)
13位	13.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある(275)	4.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている(149)	10.子どもが健全な食生活を送っている(292)	15.防災を行政任せせず、普段から家庭と地域の連携ができおり、災害時には助け合うことができている(281)	15.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している(293)	2.民間の力が活用されている(289)	10.コミュニティの単位や実施体制が見直され、必要なことは機敏に対応できている(307)	9.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している(250)	8.市民のプライバシーが守られている(298)	16.花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人が訪れている(283)	14.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている(187)	3.魅力ある教育、特色ある教育となっている(320)	4.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている(187)

	安心(976票)	快適(900票)	健やか(766票)	つながり(601票)	誠実(559票)	元気(541票)	挑戦(436票)	のどか(430票)	平等(352票)	魅力(352票)	誇り(298票)	自立(259票)	関心(220票)
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち	自然にふれあい、のんびりとゆっくり暮らせるまち	誰もが等しく個性を伸ばし、自分らしく生きられるまち	豊明の良さを発信し、多くの人に親しまれるまち	市民一人ひとりが、わがまちに愛着と自信を持ち続けられるまち	市民、地域、行政が自ら考え行動し、それぞれの役割を果たしているまち	一人ひとりが互いに気遣い、普段から地域活動に参加しているまち
14位	9.子どもが健全な食生活を送っている(270)	3.健康のために自転車に乗る人が増えている(121)	3.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる(226)	4.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている(260)	13.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(285)	9.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている(277)	9.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができている(280)	15.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している(203)	6.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている(278)	7.豊明市の中心が明確になり、市としての顔がある(279)	3.国際的な素養を身に着けた人材が増えている(183)	4.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる(285)	2.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている(311)
15位	10.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている(227)		16.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている(145)	10.親がつながり、相談したり助け合うことで子育ての不安が解消されている(203)	12.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している(238)	3.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている(229)	7.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している(237)	17.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している(203)	3.魅力ある教育、特色ある教育となっている(235)	2.魅力ある教育、特色ある教育となっている(275)	13.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している(159)	10.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している(270)	5.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている(303)
16位	15.防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができている(220)		8.子どもの骨が丈夫で、体力がある(143)	19.家族や友達と出かける場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている(195)	16.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている(200)	17.豊明市内で、従業員の能力を活かし、新しい発想が出るような会社がある(209)	15.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している(209)	12.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている(198)	15.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている(202)	8.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している(249)	17.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している(133)	5.国際的な素養を身に着けた人材が増えている(268)	13.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している(293)
17位	12.親がつながり、相談したり助け合うことで子育ての不安が解消されている(216)		6.健康のために自転車に乗る人が増えている(81)	18.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができている(175)		8.子どもの骨が丈夫で、体力がある(144)		2.健康のために自転車に乗る人が増えている(105)		15.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている(152)	9.NPO等が市内に多く存在し、主体的に活発に活動している(132)	12.コミュニティの単位や実施体制が見直され、必要なことは機敏に対応できている(249)	16.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している(187)
18位	17.市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している(186)			17.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(149)		13.NPO等が市内に多く存在し、主体的に活発に活動している(102)				13.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している(137)			11.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている(115)
19位				13.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている(99)						19.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している(108)			19.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している(106)

第5次豊明市総合計画策定
市民の潜在的なニーズ調査・分析報告書

豊 明 市

目次

1. 目的.....	1
2. 政策マーケティング調査の実施.....	1
(1) グループインタビューの実施.....	1
(2) Facebook による意見募集.....	2
(3) 発言分解・整理.....	2
(4) 理念出しワークショップの実施.....	2
3. 政策マーケティング調査結果の活用.....	3
4. 参考.....	4
(1) 1023 個の「めざすまちの姿」(グループインタビュー及び Facebook より)	4
(2) 64 個の「めざすまちの姿」(市職員より)	51
(3) 81 個の「めざすまちの姿」(重複・階層整理後)	55

1. 目的

第5次豊明市総合計画の策定にあたり、総合計画に掲げる目標の設定を市民ニーズを踏まえて行うために、「政策マーケティング調査」を実施した。政策マーケティング調査とは、グループインタビューと市民アンケートの2段階の調査により、市民の潜在的なニーズを把握しようとするものである。

2. 政策マーケティング調査の実施

(1) グループインタビューの実施

年齢、性別、職業、居住地など、さまざまな属性の市民を対象として、10回のグループインタビューを実施した。インタビューでは、つぎの2点についてお話しいただいた。

- ① 豊明市にとっての現状と課題
- ② 豊明市の「めざすまちの姿」

(実施状況)

回数	日時	場所	参加者数
第1回	2014年1月9日(木) 18:30~20:30	文化会館	12名
第2回	2014年1月10日(金) 10:00~12:00	本郷公会堂	9名
第3回	2014年1月10日(金) 13:30~15:30	市役所	9名
第4回	2014年1月10日(金) 18:00~20:00	落合会館	11名
第5回	2014年1月11日(土) 10:00~12:00	文化会館	12名 ※中学生対象
第6回	2014年1月11日(土) 13:30~15:30	坂部公民館	6名
第7回	2014年1月12日(日) 10:00~12:00	大根公民館	10名
第8回	2014年1月12日(日) 13:30~15:30	市役所	4名

第9回	2014年1月13日(月) 10:00~12:00	豊明団地自治センター	12名
第10回	2014年1月13日(月) 13:30~15:30	阿野ふれあい会館	7名
合計			92名

(年代別構成)

年代	人数
10代	13名
20代	5名
30代	6名
40代	8名
50代	14名
60代	23名
70代	23名
合計	92名

(2) Facebookによる意見募集

グループインタビューのほか、Facebookを活用して市民の意見を募集した。

募集期間：平成26年1月23日(木)～2月2日(日)

(3) 発言分解・整理

グループインタビューとFacebookから得られた市民の声をすべて記録し、発言分解・整理したところ1023個の「めざすまちの姿」が得られた。さらに、市職員から追加したほうがよいと考える「めざすまちの姿」64個が追加され、重複・階層の整理をしたところ、102個の「めざすまちの姿」となった。さらに、下記の理念出しワークショップ後に、さらに精査したところ、最終的に81個の「めざすまちの姿」となった。

(4) 理念出しワークショップの実施

平成26年2月4日に、市職員による理念出しワークショップを実施し、102個の「めざすまちの姿」を同じ方向性で整理し、「理念」の言葉を考えた。また、理念出しワークショップの結果を受けて、最終的に13個の「理念」として整理した。

(ワークショップ結果)

グループ A	「快適」、「平等」、「誠実」、「のどか」、「つながり」、「安心」、「安全」、「自立」、「愛着」、「活気」、「生きがい」、「健康」
グループ B	「フューチャー」、「ヘルス」、「チャーム」、「コミュニティ」、「サポート」、「リスペクト」、「クリーン」、「パワー」、「フリーダム」、「コンビニエンス」
グループ C	「つながる」、「踏み出せる」、「見える」、「誇れる」、「住みやすい」、「楽しめる」、「頼れる」、「惹きつける」、「みなぎる」
グループ D	「発信」、「便利」、「チャレンジ」、「安心して暮らせる」、「平等」、「スピード」、「関心」、「のどか」、「魅力」、「未来」、「活発」、「つながり」

(最終的な理念)

快適	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち
誠実	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち
のどか	自然にふれあい、のんびりとゆっくり暮らせるまち
つながり	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち
安心	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち
自立	市民、地域、行政が自ら考え行動し、それぞれの役割を果たしているまち
元気	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち
誇り	市民一人ひとりが、わがまちに愛着と自信を持ち続けられるまち
健やか	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち
平等	誰もが等しく個性を伸ばし、自分らしく生きられるまち
魅力	豊明の良さを発信し、多くの人に親しまれるまち
関心	一人ひとりが互いに気遣い、普段から地域活動に参加しているまち
挑戦	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち

3. 政策マーケティング調査結果の活用

市民へのグループインタビュー及びFacebookにより得られた81個の「めざすまちの姿」と「めざすまちの姿」から導き出した13個の「理念」をもとに、市民アンケート調査の選択肢を設定した（詳細は「市民意識調査中間報告書」を参照）。

4. 参考

(1) 1023 個の「めざすまちの姿」(グループインタビュー及び Facebook より)

※各めざすまちの姿の前につくアルファベット及び数字は整理上のものである。

○子育て・子育て関連

No.	めざすまちの姿
1	A37-1 子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる
2	A122-1 子どもたちが小学校、中学校を卒業したあとも豊明に残りたいという気持ちになっている
3	A195-1 産業都市を追求するのではなく、子どもを育てる環境が整い、お年寄りが安心して暮らせるような、住みやすいまちづくりが進められている
4	D107-2 小学生低学年の子どもを預ける場所がある
5	E74-1 子どもを長く預かってもらえる
6	E64-1 長く仕事をしたい人も、子どもを預かってもらえる
7	E136-1 子どもを預けることができ、キャリアアップしながら働き続けることができる
8	E62-1 児童館で夜遅くまで預かってもらえる
9	E108-1 24時間の保育サービスがある
10	E132-1 育児施設が身近にある
11	E110-1 0歳のこどもも預けることができる保育施設が近くにある
12	F297-1 親が自分のペースで仕事と子育てを両立させることができている
13	F287-1 子育てしながら働き続けることができている
14	E553-1 こどもの成長とともに家族で協力し、工夫し、働くことができる
15	H33-1 子育てに関する家族の負担が軽減されている
16	F285-3 保育環境が整っており、働きながらも安心してゆったりと子育てをすることができる
17	D107-1-3 市内に子育て中の親が働ける場がある

18	F361-2 子どもが障がいをもっていても、親が働きに出ることができている
19	C360-1 市の将来を考えるうえで、「未来そのもの」の子どもたちの成長が考えられている
20	D173-1 行政が子どもたちの安全確保に迅速に対応している
21	D232-1 教育や子どもの育ちに関する予算が確保され、学校が子どもがのびのびと成長できる場となっている。
22	D195-1 福祉だけに偏るのではなく、教育に必要な予算が確保されている
23	ア 42-1 子どもの教育が重要視されている
24	J11-1 老後の環境や教育環境が充実し、自然があり、まちとしてのバランスが非常によい
25	D39-2 子どもの遊ぶ場が市内にある
26	F180-1 犯罪に巻き込まれる心配なく、子どもが外で遊ぶことができている
27	F182-1 断罪の不安なく子どもが外で遊ぶことができる
28	D112-4 子どもが元気に外で遊んでいる
29	I133-3 子どもがゲームばかりせず、外で遊んでいる
30	E182-1 子どもが家に引きこもっておらず、スポーツをして、たくさん食べて元気に過ごしている
31	G133-1 子どもが地域で遊び体力をつけている
32	G136-6 子どもたちが使えるサッカー場がある
33	D236-1 学校教育にて、子どもたちの感性を豊かにしたり、個性を活かせるような取り組みがなされている
34	ア 29-1 学校では、子どもの個性や特技を尊重し、評価している
35	I29-1 子どもが外で遊びながら、いろんなものを目にしたり、お話を聞いたりすることができる
36	G221-1 子どもが古典芸能に触れる機会がある
37	G233-1 地域で子どもへの伝統芸能に触れ合う機会を作っている
38	A108-1 子どもに歴史やまちの原点を語り継がれ、子どものころから自助・共助・公助の考え方について地域で教育がなされている
39	D230-1 子どもが日常的に楽しみながら英語を学ぶことができ、グローバルな感覚を身につけている

40	E654-1 国際交流という特別な機会を設けるのではなく、普段から学校で地域に住む外国人に来てもらい、子どもたちがたくさんの国の文化を学んでいる
41	F417-1 子どもが家や学校以外で輝ける場所があり、成長することができている
42	F418-1 子どもが自分たちを認めてもらえる場所がある
43	H3-4 子どもや若い世代が活躍できるまちとなっている
44	D253-1 子どもがマナーを身につけている
45	D256-1 子どもが挨拶できる
46	E626-1 子どもが小さい時から、周りの大人や先生がよいことと悪いことの区別を教えることができている
47	E637-1 地域の大人が子どもたちにマナーに関してなど注意をすることができている
48	ア 3-1 地域で子どもに礼節を教えている
49	E611-1 子どもが、教員だけではなく、地域で働くさまざまな人の話を聞く機会があり、新しい発見ができている
50	E609-1 子どもの頃から職業体験ができ、具体的な将来の夢をもつことができている
51	E294-1 異年齢のこどもが地域と一緒にボランティア活動をしている
52	E286-1 青少年が地域でボランティア活動をしている
53	E644-1 不登校の子どもがいなくなっている
54	F162-1 親が子どもを連れて、地域の活動に参加している
55	F154-2 子どものころから地域の活動に参加し、地域のつながりがあり、まちに活気がある
56	F164-1 子どもが親に連れられて資源回収や子ども会の活動など、地域の活動に参加している
57	F287-4 子どもの頃から地域活動に参加し、成長しても活動を継続している
58	F391-1 子どもたちが地域の活動に積極的に参加することに対して、学校がその意義を理解し、地域と協力している
59	F406-1 地域の文化や祭りなどを通して、子どもたちが地域との太いパイプでつながり、学校も理解を示している
60	F424-1 親が子どもたちが地域の活動に参加することに理解を示している
61	G130-1 子ども会などの地域に根差した団体が地域の中にあり、活動している

62	I212-1 子どもをきっかけとして親が地域の活動に参加するようになっている
63	H349-1 中高生が地域の子ども会のリーダーとなっている
64	H333-1 子ども会の活動が活発である
65	H378-1 地区に子ども会や子どもが参加できる行事がある
66	I27-1 子どものころから地域の活動に参加することの大切さを学ぶことで、大人になったときに地域の活動に参加している
67	E296-1 子どもたちが参加する地域の防犯活動はこどもが楽しんで参加している
68	F371-1 子どもが学校の勉強だけではなく、地域の活動などに参加することで、社会とのつながりを学び、将来に活かしている
69	F428-1 こどもが地域で活動できるように保護者が後押ししている
70	F62-2 おじいちゃん、おばあちゃんの助けがあり、母親が子育ての息抜きをすることができ、こどもや家族にやさしくできている
71	J81-2 高齢者が共稼ぎの方の子どもの面倒をみるなど、人間関係ができています
72	F421-1 地域と学校が互いに連携し、子どもたちの成長をサポートしている
73	F27-1 子どもたちの成長を親だけではなく、地域の人が見守っている
74	G112-5 子どもが子ども同士や近所の大人とのつながりがある
75	G89-1 子どもとお年寄りの交流がある
76	G126-1 隣近所で子どもと大人の交流がある
77	G116-1 子どもが大人になっても、地元の友達とつながりを持っていたり、ふるさとの大切な思い出を持っている
78	I178-2 児童館などが、少子高齢化の時代にあわせて、子どもたちだけではなく高齢者も活用できるようにすることで、多世代交流ができています
79	H351-1 子ども同士でサポートできる仕組みがある
80	F343-1 外国人の子どもががんばっている姿を地域の人知っている
81	F345-2 外国の子どもが日本の風習や文化を学んでいる
82	F60-1 子育て世代がおじいちゃんおばあちゃんから学ぶ講座がある
83	F58-1 子育てに関して、おじいちゃんおばあちゃんの知恵から学ぶことができる

84	F62-1 子育て世代がおじいちゃん、おばあちゃんから子育ての方法について学んでいる
85	G205-1 子育て中にいろいろ学ぶ機会がある
86	F184-1 親がさまざまな情報を適切に把握し、子育てにおいて過剰に不安になっていない。
87	F379-1 学校と地域が連携し、中学生が地域の活動に参加している
88	F385-1 学校と地域とのコミュニケーションが取れている
89	F381-1 学校が地域との連携に積極的である
90	F383-1 学校が地域の活動にこどもの積極的な参加を促している
91	F399-1 学校と地域がつながるきっかけがある
92	F418-2 こどもが地域のひとに挨拶ができ地域で活動することを学校が後押ししている
93	F419-1 地域と学校の取り組みが広く伝わっている
94	G31-2 学校と市が連携して、若者が市に愛着をもつことができるような取り組みをしている
95	C314-1 保護者が学校に意見を言える
96	C318-1 保護者や関係者が学校運営についての意見を言うことができている
97	H404-1 保護者への対応が取られている
98	H408-1 親への対応がとられ、教師の悩みや負担が軽減されている
99	H402-1 モンスターペアレンツが減っている
100	H410-1 父兄への家庭教育がなされている
101	I29-2 家の中で、家族の会話ができている
102	E260-1 学校の部活に地域の経験者が参加し、ともに向上している
103	F55-1 お年寄りが学校などでこれまでの経験や知識を活かして生徒に教えている
104	J234-1 学校校舎が教育のためだけではなく、防災やコミュニティの観点から総合的に活動されている
105	F415-1 こどもが地域で学ぶ場がある

106	I178-1 団地に子どもたちの声が溢れ、にぎやかである
107	I133-2 子どもが増えている
108	I53-1 まちに外国人だけではなく、日本人の子どもたちや大人も行きかっている
109	A144-1 名古屋や三河方面へのアクセスの良さや周辺地域と比べての土地の安さ、学校等のインフラが充実し、豊明に移り住む人が増えている
110	J11-4 学校がたくさんあり、教育環境が充実している
111	C66-1 学校給食の安全性が確保されている
112	D238-1 市内の学校間で設備や人的体制などが偏りのないように配慮されている
113	D107-3 幼稚園や学童等での規制が緩和され、教員や幼稚園教諭を目指している人が市内で活動したり働くことができる
114	E582-1 寒くても学校が子どもが学べる環境となっている
115	E104-1 集合住宅の空き部屋等が、高齢者や子どものために活用されている
116	E555-1 学校の授業がわかりやすい
117	E558-1 学校の授業が楽しい
118	E562-1 教科書が使いやすい
119	E564-1 教科書の持ち運びの困難がない
120	E574-1 教科書の持ち運びの困難がない持ち運びの困難がない
121	E593-1 授業がわかりやすい
122	E604-1 楽器は本で学ぶだけでなく、直接見て触れて学ぶ
123	E660-1 こどもが世界の多くの文化を知っている
124	E262-1 部活に地域の人が参加し、互いに切磋琢磨し、楽しんでいる
125	E404-1 地震が起きたとき、学校だけでなく家庭でもどうすればよいのかわかっている
126	F70-1 学校や地域で救命救急などを学ぶことができる
127	E310-1 学校で環境活動を始めることで家庭でも実践され資源がリサイクルされる

128	D107-1 いじめがない
129	C334-1 いじめがない
130	C70-1 いじめや自殺、引きこもりがない
131	E630-1 いじめがなくなっている
132	B29-1 豊明市の教育が魅力あるものとなり、市外の子どもも豊明市に学びに来ている
133	B25-5 教育の見直しがされ、特徴ある教育となっている
134	H166-1 新しい人材を生み出すような教育となっている
135	H170-1 「教えてやる」という教育からその人を育てる教育となっている
136	H196-2 市内の教育体制が充実していることがPRされている
137	ア 42-2 豊明市の教育知名度があがっている
138	A41-1 特色ある学校やおしゃれな商業店舗があり、若い世代がまちなかで楽しむことができている
139	ア 27-2 市内の中学生同士が交流する機会がある
140	E322-1 部活は学校間の交流があり地域のひとも集まっている
141	E276-1 卒業生が母校で後輩へのアドバイスをを行い、応援している
142	E278-1 部活に先輩や地域の人が参加し交流し、技術を向上させ互いに楽しんでいる
143	H392-1 教師と生徒は友達ではなく、生徒は先生を師として仰いでいる
144	H396-1 教師と生徒それぞれの立ち位置が明確となっている
145	D107-1-2 教員の資質が高い
146	E591-1 教員の質が高く、生徒に対して毅然と振る舞うことができている
147	ア 11-1 小中学生の教育問題が解決されている

○高齢者関連

No.	めざすまちの姿
148	A9-1 高齢者が医療や福祉のことを心配することなく暮らすことができる
149	D189-2 高齢化社会に対応し、すべての高齢者をどのように介護していくのか考え、取り組まれている
150	B126-3 在宅でのケアを支える仕組みが充実している
151	J188-3 高齢者のための施設などが充実し、住みやすいまちになっている
152	I117-2 医療が充実し、高齢者が安心して暮らしている
153	H63-2 高齢者の多い地域には高齢者に配慮した政策が進められている。
154	J11-2 高齢者の老後のケアに関して人材や施設が充実している
155	H327-1 お年寄りも住みよい地域となっている
156	B126-2 地域包括支援センターがPRされ、市民が利用している
157	B130-1 地域包括支援センターの役割を市民がわかっている
158	A61-2 障がい者や元気な高齢者、外国人が豊明の地域資源を活かし、仕事をしている。
159	A65-1 障がい者や高齢者、外国人が地域で仕事に就き、そこで生産された商品・サービスが地域で循環している
160	A67-1 障がい者や高齢者、外国人が地域で仕事に就き、そこで生産された商品が地域で消費されている
161	A69-1 障がい者や高齢者、外国人が地域で仕事に就き、そこで生産された商品に付加価値がついて地域で循環している
162	A75-1 障がい者や高齢者、外国人の雇用が生まれ、企業の社会貢献性が高まっている
163	F116-1 高齢者が地元で働く場所がある。
164	F118-1 高齢者がボランティア活動に加えて、生活の糧を得る仕事に就くことができる
165	G57-1 高齢者が働くことで、明るい人生を送っている
166	G47-1 高齢者が自分のできることを活かして働き、収入と生きがいを得ている
167	G193-2 若い人や高齢者が市内で働く場所がある
168	H67-2 高齢者も若い人も豊明市内で働いている

169	I82-2 老後の経済的な不安が軽減している
170	ア 5-1 市内に暮らす障がい者・高齢者・外国人が就労するために市がサポートしている。
171	F228-2 高齢者を一括りにせず、元気な高齢者は自分の経験や特技を活かして働く場をつくり、若い人の希望となっている
172	E540-1 障がい者が働ける企業が増えている
173	E536-1 障がい者が働く場所がある
174	A90-1 一人暮らしの高齢者や独身の人が気が合う人同士で寄り合える場所がある
175	E177-1 高齢者のうつ病や閉じこもりが少ない
176	F226-1 高齢者が家族以外にも地域の人と支え合いながら、孤立することなく暮らすことができている
177	F224-13 お年寄りの孤独死がない
178	I1-1 高齢者の閉じこもりを防ぐために話し合いがなされている
179	I5-1 高齢者が外出して身近にお茶が飲めたり、集まれる場所がある
180	I7-1 高齢者が身近でおしゃべりができたり、友達が作れる場所がある
181	I15-1 人づきあいが苦手な高齢者も地域の輪の中に入っていくことができている
182	I178-3 高齢者同士が安心して住める住居があり、孤独死がなくなっている
183	C6-3 高齢者がゴミ出しに困っていない
184	C76-1 時刻表や標識などが、高齢者でも見やすく、わかりやすい
185	A100-1 高齢者が災害時・平常時問わずに、これからの生活に不安を感じていない
186	A179-1 地域で連携がとられ高齢者が犯罪に巻き込まれない
187	F154-1 高齢者に対しての災害対策が中長期的に考えられている
188	F156-1 高齢者に対してきめ細かな防災対策がとられ、街全体として防災の意識が高まっている
189	E106-1 年をとっても身近で買い物をしたり、人と話をすることができ、楽しく暮らしている
190	I117-1 近くで買い物をするところがあり、不便を感じていない

191	I66-1 身近に商店があることで高齢者が日常の生活に困っていない
192	D23-1 車に乗れない高齢者も移動に困らない
193	F224-6 高齢者が交通の不便を感じていない
194	F246-1 高齢者が公共施設に不便なくいくことができる
195	F248-1 高齢者が車が運転できなくても移動に困っていない
196	G39-2 高齢者が車に乗れなくなっても外出に困らない
197	B13-1 高齢者が買い物や通院など日常生活での移動ができている
198	H3-2 高齢者が行きたいときに行きたい場所へ行ける交通手段がある
199	G43-1 障がい者など社会的弱者が外出に困らない
200	ア 30-2 障がい者が乗りやすいバスとなっている
201	D113-1 高齢者が健康増進のために地域で運動する機会が増え、医療費の削減につながっている
202	E167-1 若い人から高齢者まで気軽にスポーツを楽しみいつまでも元気に暮らしている
203	E169-1 高齢者がスポーツができる施設がある
204	E171-1 高齢者がスポーツを行い元気になっている
205	E173-1 高齢者が自宅で暮らし、気軽にスポーツができる
206	E213-1 高齢者や子ども等誰でも趣味やスポーツに参加できる工夫がなされている
207	H5-1 高齢者が日々刺激を受けながら、能力・健康維持に努めている
208	H11-1 高齢者が健康に暮らしている
209	H75-4 高齢者が健康づくりと重症化を防ぐことに取り組んでいる
210	H7-1 高齢者がこれまでの経験や知識を活かすことができている
211	J241-1 高齢者が自分たちの趣味などをもち、仲間をつくって活動している
212	J43-1 高齢社会において、高齢者の出番や役割があり、高齢者が活躍している

213	G39-3 高齢者に働く場や活躍の場があり、生きがいを持つことができている
214	B3-2 高齢者や定年退職者が農業ができる
215	J266-1 高齢者が老後の生きがいづくりとして農業に携われるように行政や民間が連携して取り組んでいる
216	J221-1 高齢者が生きがいづくりや健康維持のための農業を始めている
217	G136-2 看病・介護をする家族の負担が軽減されている

○障がい者関連

No.	めざすまちの姿
218	E542-1 障がい者が気軽にいつでも集まれる場所があり、悩みなどを一人で抱え込んでいない
219	E546-1 障害者が悩みを話し合うことで不安が少なくなっている
220	E548-1 障害者が悩みを自然に話すことができる
221	E544-1 同じハンディを持った人で悩みを話し合うことができる
222	F367-2 障がい者や障がい者の家族が切ない思いをしなくてもよいように、元気な人が言葉だけではなく具体的にサポートし、福祉に強いまちになっている
223	E532-1 支援が必要な人の個性を尊重し、それぞれの居場所がある
224	E534-1 支援が必要な人が自分で趣味のことができたり、仲間と楽しんだり選択できる
225	E518-1 支援が必要な人にもひとりの時間がある
226	E520-1 支援が必要なひとにもひとりになれる空間がある
227	E528-1 支援が必要な人も一人になることができる空間がある
228	E522-1 支援が必要な人の自律を妨げない
229	E526-1 支援ありきではなく見守りながら支援が必要な時に援助する

○外国人関連

No.	めざすまちの姿
230	A118-1 外国人との共存ができている

231	A120-3 地元住民と外国人が、同じ市民としていっしょに暮している
232	A197-1 地元住民と外国人が祭りなどをきっかけに交流し、共存ができている
233	C88-1 日本人と外国人が国籍を問わず、自然に無理なく同じような意識で地域でともに暮らしている
234	C208-1 ブラジル人が自分たちだけのコミュニティのなかで暮らすのではなく、日本人と交わりながら暮らしている
235	H176-1 在日の外国人との共生が進み、元気で活気あるまちとなっている
236	C90-1 外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられている
237	C180-1 日本人と外国人とが互いに顔の見える関係になり、連携し差別のない住みよいまちを創っている
238	C128-1 気構えた交流ではなく、普段から日本人と外国人が自然に挨拶や言葉を交わしている
239	H178-2 市内で暮らす外国人に対して、受け入れる側は受け入れる力を持ち、互いのルールを尊重しながら融合が図られている
240	F341-1 外国人を地域で歓迎して受け入れている
241	H180-1 豊明市民が外国人側の立場に立って考え、積極的に受け入れる努力をしている
242	F349-1 外国人との生活習慣や文化の違いを理解する
243	F351-1 日本人と外国人が互いの宗教や文化の違いを理解している
244	C216-1 外国の人が地域の活動に参加している
245	C246-1 外国人が地域のコミュニケーションの大切さを理解し地域の活動に参加している
246	D273-2 外国人がゴミ捨てや社会的マナーを守って生活している
247	E250-1 生活習慣や文化の違いで外国人を迷惑と思わない
248	E252-1 外国人との生活習慣や文化の違いで隣近所とトラブルが起きない
249	E254-1 在住外国人に日本で暮らすうえでのマナーを理解してもらえるように住民がサポートしている
250	I45-4 外国人のマナーがよくなるように行政がフォローしている
251	ア 16-1 標識が絵表示になっているなど、外国人に配慮した整備がなされている
252	H182-1 外国人移住者を受け入れるための制度や施設などの体制が整っている
253	C96-2 市内に住む外国籍の方に配慮した標識になっており、共存することができている

254	C238-1 外国人に市からの広報が届いている
255	C242-1 外国人や集合住宅の住民にもわかりやすいように広報が工夫され、地域の活動にも参加している
256	E469-1 災害時に外国人も避難することができる
257	E471-1 災害が起きても外国人も地域の人も命を失うことがない
258	C224-1 外国人が意見を言える機会がある
259	C226-1 外国人の声を市が聞いている
260	C170-2 国際交流のかけ声だけではなく、具体的な行動につながっている
261	F345-1 日本人と外国人の言語の壁が低くなっている
262	E656-1 こどもが外国人との交流への関心が高まっている
263	B167-1 国際的な素養を身に着けた人材が増えている

○都市基盤関連

No.	めざすまちの姿
264	C50-1 巡回バスのダイヤや路線が便利で市民の足として機能している
265	D197-4 ひまわりバスなどの交通に関する情報が市民に伝わり、活用されている
266	E128-1 バスの利用ができる
267	E226-1 バスが無料で利用できる
268	G149-3 バスなどの市内の交通機関が便利で利用しやすくなっている
269	G181-2 ひまわりバスが便利になっている
270	A33-2 交通の便がよく、まちなかで買い物が楽しめて、住みたくなるようなまちになっている
271	A35-1 交通の便がよく、まちが活性化している
272	D11-4 交通の便がよい
273	D91-4 市の交通機関が時間帯やルートが生活にあった形で運行されている

274	A37-7 さまざまな施設と公共交通が連動し、高齢になっても住み続けられるようになっている
275	D105-1 価格だけではなく、効率や利便性を考えた市内の交通手段がある
276	G73-1 すべての市民に平等に公共交通サービスを提供することは難しく、市民の意見が反映され、工夫をしている。
277	G153-1 市外やお年寄りにも優しい交通が整っている
278	G181-1 横の移動だけではなく、縦の移動も便利な交通環境となっている
279	D197-3 市内に安価で便利に利用できる公共施設がある
280	C54-1 車を使わなくても、駅までのアクセスがよい
281	ア 20-2 車が運転できなくなっても、安心して通行することができる
282	ア 9-1 インフラが整備され、車がなくても生活ができる
283	A148-1 駅と駅周辺の商業施設へのアクセスがよい
284	A148-2 交通の結節点など、外からのアクセスの良さを活かして、豊明市の魅力を発信することができる
285	A37-5 通勤など、交通の便が良い
286	E10-1 交通アクセスがよい
287	E116-2 交通網が充実し、市外から人が集まるようになっている
288	E126-1 さまざまな公共交通があり、アクセスがよい
289	E130-1 交通網が整備され、豊明が名古屋のベッドタウンになっている
290	G31-3 交通の利便性を活かし、賑わいのあるまちとなっている
291	G149-1 交通が便利である
292	A144-2 高速道路や鉄道などアクセスの良さを活かして、豊明の良さを外に発信できている
293	D71-1 市外への通勤・通学が便利である
294	D77-1 市外や県外への移動など、車の移動が便利である
295	E124-1 豊明まで地下鉄が通っている

296	E138-1 豊明に地下鉄が走っている
297	B88-1 素通りがないように、豊明市内の道路が整備されている
298	D49-1 前後駅がまちの玄関としての役割を果たしている
299	B98-1 市の顔である市役所の前がきれいに整備されている
300	B126-5 豊明市の中心が明確になり、市の顔として整備されている
301	I97-1 交通網の整備や駅周辺の土地活用が進んでいる
302	E52-1 道路の視界がよく、交通事故がない
303	E50-1 交通事故がない
304	A171-2 交通事故が少ない
305	E138-2 道路環境がよくなっている
306	E138-3 生活道路の通行が安全である
307	E140-1 電柱がなく、自動車が通行しやすい
308	D67-1 歩行者にも車も安全に通行できる
309	D63-2 自転車にもやさしい道路になっている
310	C184-1 病院の周辺の道路が整備されている
311	D45-2 道路などの整備が計画され、実施されている
312	B92-1 騒音が少ない。
313	H47-1 東西南北偏りなく道路整備が進められている
314	ア 20-1 市内の道路が自転車やベビーカー・シニアカーなども安心して通れるように整備され、ネットワーク化されている。
315	H238-1 宅地とともに交通環境の整備が進んでいる
316	G35-1 道路や下水道の整備がされている
317	C253-1 ゴミや下水などの整備方針を市が示している

318	A158-2 まちの大きなビジョンを描いてから、計画的に土地利用が進められている
319	H55-1 まち全体の将来の青写真を描き土地利用計画が進められている
320	J312-1 計画策定の際に、ソフト面だけではなく、ハード面の土地開発などがしっかりと進められている
321	ア 51-1 市全体の長期的な土地利用計画がある
322	C180-2 道路整備や区画整理、開発がなされ、まちが明るく活気に満ちている
323	J27-3 10年、20年先を見越した大きな方針を出して、土地利用がすすめられている
324	H59-1 町の将来像を考えた大胆な土地利用計画が進められている
325	D55-1 都市計画などの進捗情報が市民に伝わっている
326	H57-1 まち全体の将来の青写真が実現できるように土地利用の基準が緩和されている
327	B90-1 土地利用の規制が緩和され、土地が有効活用されている
328	H117-2 土地利用の縛りが緩和され、必要な用途に合わせて使用することができる
329	B46-4 土地利用の規制が緩和され、ベッドタウンとしての役割を果たしている
330	H232-1 土地利用の規制が緩和され、市内に戸建ての家を持ち、豊明に永住する人が増えている
331	H234-1 宅地の造成などが行える土地利用計画となっている
332	I35-1 開発された団地がベッドタウンとして将来にわたり機能している
333	I37-1 団地に住む住民が増え、周りのお店も成り立っている
334	A120-2 団地の老朽化が改善され、商店街に活気が戻ってきている
335	I80-2 買い物難民がいない
336	H121-1 土地が安く、住居を手に入れやすい
337	D69-1 住まいが安価で購入でき、交通の利便性もよい
338	A120-1 空き家が活用される昔からの建物と新しい建物をバランスよく活かしている。
339	H63-1 新しいベッドタウンの町内と昔からの町内が融合した面白いまちとなっている

340	H49-1 近隣自治体と連携した道路整備が進められている
341	H51-1 近隣自治体と連携した道路整備が進められている
342	H254-1 国や県、近隣市町村と連携した都市計画が進められている
343	I31-1 昔に開発された団地が高齢者世帯だけではなく、若い人も入ってくるようになり、ゴーストタウンとなっていない
344	C124-2 市内で憩えるような場所があり、市民がゆとりをもって暮らしている
345	ア 14-2 市内に市民広場がある
346	B11-2 都市景観が整備され、きれいなまちである
347	ア 44-1 河川敷がきれいになり、活用されている
348	B17-1 公園と周りの施設や自然を活かしすべての世代が集い楽しんでいる
349	B64-1 街路樹のよさが活かされている
350	B66-1 木の良さが活かされるように植樹されている
351	H75-3 まちが計画的に整備され、まちに緑が残っている
352	H77-1 まちが計画的に整備され、まちに緑がある
353	B35-3 地域デザインを明確にし、地権者への理解が進むことで計画が倒れることなく、進められている
354	B126-4 北部地域は自然を残しながらも開発がされている
355	E155-1 道路に電柱がない地域となっている
356	ア 14-1 若王子池周辺が整備されている

○防犯・防災関連

No.	めざすまちの姿
357	C362-2 災害時に近隣市町村との広域連携がとれている
358	C431-1 災害に関する情報は担当が変わっても継続的に発信されている
359	E383-1 災害時の対応への不安が共有されるだけでなく具体的な方策を市民がとれるようになっている

360	C402-1 行政が防災に関するさまざまな情報を市民に提供している
361	C362-1 地元住民だけではなく、在住外国人も含めて、行政と民間が連携して災害時の対策が立てられている
362	C373-1 行政は在住外国人も含めた防災計画が立て、いざというときには民間が協力している
363	J43-2 災害に備えて、自助・共助だけでなく公助の考えで備えている
364	ア 34-1 市の災害に備えた対策が明らかとなっている
365	H218-1 災害を見据え、他地域の自治体と連携するなどの対策が取られている
366	B116-2 災害に対して地域の人に関心を持ち、実際に動くことができる防災訓練に参加している
367	A162-1 平常時だけではなく災害時をも見据えて、公共施設等が活かされている
368	E377-1 災害時にだれもが避難できる場所がある
369	E467-1 津波や液状化などの災害が発生した時に高台に避難できる場所がある
370	B122-1 避難所の設置や運営において、実際に機能するように具体的に想定され対策が立てられている
371	C382-1 普段から隣近所での連携ができており、災害時には助け合うことができている
372	G157-1 近所付き合いがあり、犯罪などの緊急時にも助けを求められる関係ができている
373	C397-1 防災を行政に任せるのではなく、地域で隣に住んでいる人の顔がわかり、互いに助け合うことができている
374	C457-1 災害弱者をすべてたすけることができるように備えがある
375	E499-1 土地勘のない人も避難できる
376	E501-1 車いすの人が避難できる
377	E503-1 歩行が困難な人などが避難できる
378	E508-1 ペットが避難できる
379	C453-1 近所以外に民生委員など行政も連携し災害弱者を助けてくれる人がいる
380	E497-1 観光客などが避難できる
381	F359-1 地域の中で救命などの訓練を受けた人がたくさんいて、いざというときに役立てられている

382	D139-2 防災の情報や取り組みが地域住民に伝わっている
383	C393-1 災害の予防として地域で決められたルールは守るようにする
384	E491-1 災害時に病気の人や障がい者、高齢者や小さな子ども、土地勘のない人、ペットなどが避難することができる
385	E495-1 子どもが避難できる
386	E440-1 普段から家族で災害時にとるべき行動について話し合われている
387	E399-1 地震がおきたらどうすればよいのか豊明のどこに住んでいてもわかっている
388	E379-1 災害発生時のために普段から訓練をしている
389	E381-1 災害が発生した時の避難場所がわかり、実戦的な訓練が行われている
390	E406-1 誰もが災害が起きたときの避難方法について理解している
391	F51-1 災害発生時に市民が応急救急行為ができる
392	F53-1 災害や救急時に市民が適切な行動がとれるように普段から訓練が行われている
393	F72-1 市民に災害や救急時の対応が伝わっている
394	E387-1 住民が住んでいる土地の特性を理解し、普段から実践的な防災訓練に参加し、いざという時のために備えている
395	F68-1 市民が救命救急などを学んでいる
396	F224-10 住民が定期的に防災訓練に参加し、いざという時のために備えている
397	B120-1 住民が防災訓練に参加し、一人ひとりが災害に対する備えをしている
398	H204-1 災害マップなどの災害への備えができている
399	H214-1 災害発生直後だけではなく、その後の生活も見据えた防災訓練が行われている
400	H216-1 市民が日頃から災害に対して緊張感を持っている
401	J19-1 自然災害に対して、過去の経験から安心することなく、常に備えている
402	B116-1 各地区の実情に合った防災マニュアルが作製されている
403	F224-2 災害や犯罪の心配がない

404	A169-1 空き巣などの対策がとられ、犯罪が少ないまちになっている
405	A177-1 犯罪が少ない
406	F210-1 防犯活動が活発で犯罪の抑制になっている
407	F283-1 犯罪の不安なく通学や塾等に行くことができる
408	G13-1 犯罪が少なく、安心して住める
409	F154-3 防犯対策がとられている
410	F206-1 集合住宅の人や若い人が防犯活動に参加している
411	F208-1 新しい人も気軽に防犯活動に参加できるような雰囲気がある
412	F212-1 継続的な防犯活動を実施している
413	F224-12 住民が自発的に防災や防犯活動を行い、安心して暮らすことができている
414	H41-1 犯罪が少なく、治安がよい
415	H29-3 治安がよく、ベッドタウンとして人が住み着いてきている
416	F186-1 地域で若い人も参加して、自発的な防犯活動が行われている
417	F216-1 地域の人ができるだけ外にでて防犯対策をしている
418	F218-1 防犯のために、地域の誰もが積極的に家の外に出ている
419	G177-1 犯罪や事件などの経過などの情報が市民に伝わっている
420	F285-1 防犯情報が市民に届けられている
421	E38-1 夜間でも明るく、不審者に遭ったりする心配がない。
422	E46-1 まちが明るく、不審者がいない
423	E114-1 田んぼだけでなく市街地でも、不審者に遭わない
424	D63-1 街灯が整備され、女性でも安全に歩くことができている
425	D91-3-1 道に街灯が整備され、安全に歩くことができる

426	F224-11 まちが明るく、人通りがあり、安心してまちなかを歩くことができる
427	G149-2 街灯が整備され、夜間も安心して歩くことができる
428	G155-1 住宅街も安心して夜間に歩くことができる
429	G175-1 警察署ができ、まちの治安がよくなっている
430	G175-2 街灯が整備され、夜間でも安全に通行することができる
431	H45-1 豊明市内に警察署がある
432	I95-1 まちが明るい
433	E58-1 自動車を運転する人も歩行者も、互いに事故が起きないように注意している
434	B94-1 交通事故が減っている
435	A175-1 交通安全のために市民が交通安全活動を行っている
436	E56-1 歩行者も運転手も交通ルールを守っている
437	E92-1 車や自転車が交通ルールを守っている
438	E94-1 生活道路では、自動車や自転車が一旦停止や法定速度などを守って通行している
439	B92-2 通り抜け通行などが減っている

○環境保全

No.	めざすまちの姿
440	C20-1 環境に配慮する市民の自発的な活動に対し、市が後押ししている
441	C136-2 市民が意義を理解して、ごみの分別をしている
442	A197-2 不要になったものを再活用するなど、循環型社会が実現している
443	E88-1 人通りが多い場所でも、ごみが落ちておらず、きれいである
444	E82-1 まちにごみが落ちておらず、きれいである
445	E86-1 ポイ捨てが少ない

446	D49-2 市民がまちの玄関をきれいにしている
447	C124-3 単発的ではなく、日常から市民がまちの美化に取り組んでいる
448	B3-1 自然が守られている
449	B35-4 豊明市北部の歴史的遺産や自然の豊かさが周辺の人に理解され、魅力ある場所となっている
450	B102-1 自然が残され、後世に受け継がれている
451	H91-1 市内に自然が残っている
452	H97-1 市内に山などの自然が残っている
453	H105-1 豊明市の住民が豊明市に残る自然の素晴らしさを実感している
454	H105-2 国内でも誇れる山などの自然が残っている
455	I103-1 豊明の自然が後世に残されている
456	J95-2 自然が人工的ではなく、自然のままで残されている
457	J97-1 見せかけだけの自然ではなく、昔からある畑や自然が残されている
458	ア 49-1 自然が守られている
459	ア 27-1 市内に田んぼが残っている
460	B106-1 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている。
461	B104-1 日常生活が便利で自然との触れ合いもできる
462	I101-1 開発と自然保全の調和がとれている
463	J11-3 山や田んぼと適度な街があり、バランスがよい
464	I97-2 緑が多く、まちが明るく豊かである
465	J11-5 急激な人口増加により、風土や自治が崩れていない
466	J19-2 開発と人口増加に対応し、バランスがとれている
467	E106-2 自然を壊して開発するのではなく、自然を利用する

468	B35-2 地域の自然の特徴を活かした地域のデザインがある
469	B82-1 豊明市内で電力が自給できる
470	H246-1 広い土地などを利用した自然エネルギーが活用されている
471	H75-2 空気がきれいである

○行政・議会関連

No.	めざすまちの姿
472	C247-1 市は、行政としてやるべきことと民間に任せることの整理ができています
473	C287-1 市民と行政が適正な役割分担で活動している
474	A217-1 豊明で公民連携を進める恒久的な仕組みができています
475	H258-2 市独自でやること、連携してやることのすみわけができています
476	H294-1 まちのPRが、市単独で行うことと、連携して広域で行うことが見極められており、無駄な費用や労力を要していない。
477	D5-1 市の職員の負担が軽減されている
478	A88-1 議会、市長、行政は市民の声を聴き、活動の透明性が高い
479	A94-2 行政が市民の声を聴く仕組みがある
480	C162-1 市民の声が行政に届いている
481	C168-1 市民の声が行政職員に伝わっている
482	D163-1 行政が市民からの声を聞き、対応している
483	F7-2 地域や行政で取り組まれていることが住民に見えるかたちになっている
484	B114-1 行政が民間の意見を聞いている
485	I262-1 市が積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている
486	ア 23-1 市民の意見を集約できる機会が継続して行われている
487	ア 35-1 地域の課題を聞き、問題解決ができる計画となっている

488	D209-1 市長が、自らの責務を果たしている
489	J103-1 市長が市民の声に耳を傾け、その言おうとしていることを理解している
490	C172-1 議員が市民の声をきいて議員としての活動を行っている
491	ア 19-1 市議会議員の定数が削減されている
492	I220-1 議員の数が適正である
493	B110-1 行政や議会が外からの知識を吸収しながら、まちをよりよくするために仕事をしている
494	J31-1 市長も議会も、まちを良くしていくために、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
495	D139-6 予算ありきではなく、ニーズや現状に基づいた計画が立てられた行政経営がなされている
496	D197-1 行政がメリハリのきいた行政経営を実践している
497	D91-5 まわりをみてきめるのではなく、豊明市が自分たちで課題を発見し、解決のために速やかに対応する行政となっている
498	C251-1 市は明確な理念をもって、行政経営を行っている
499	G187-1 メリハリの効いたスピード感ある行政経営がなされている
500	G104-1 道路工事など行政が計画したことを決められた予算の中で迅速に計画を実行している
501	A160-1 市は予算がないから事業を先送りにするのではなく、市民の力を活かして目標を実現させるための工夫や努力をしている
502	G136-7 市の目指す姿が明確である
503	G199-2 市が重点的に行う事業や施策が明確に示されている
504	H67-1 市が市としての構想と持って、まちづくりの計画を進めている
505	H85-1 まちづくりが長期的な展望を持って計画的に進められている
506	H87-1 まちづくりが長期的な展望を持って計画的に進められている
507	I182-1 豊明のまちづくりの軸がしっかりしており、まちに魅力がある
508	J107-1 まちづくりの明確なビジョンが打ち出され、その実現のためにあきらめないで努力している
509	B9-1 市の目標が明確である

510	J173-1 50年や100年の長いスパンでまちが構想されている
511	B35-1 まちの計画が具体的に進められている
512	B46-1 総合計画などの計画が策定されて終わりではなく、進められ、見直しも行われている
513	J175-1 50年くらいの長期的な目標をもったうえで、それを実現していくための5年や10年の計画が立てられ、その都度達成状況が確認されている
514	J183-1 市としての理念とビジョンがうまく組み合わせられている
515	J27-5 税金を上げてでも、まちを良くしていくためのいろんな事業を行うことができている
516	ア 6-1 グループインタビューが恒例化し、PDCAを回すことで市政に役立てられている。
517	B126-1 総合計画はハード面だけでなく、災害や福祉政策などのソフト面も重視した計画となっている
518	A158-1 まちづくりの目標を実現するために、具体的な策があり実行されている。
519	A130-1 市民や企業や大学や行政などが互いに豊明の課題を整理し、対策を立て、実施し、検証することができている
520	A37-8 企業と行政が連携して、これからの豊明をつくっている
521	A29-1 地域も行政も同じ方向を向いて協力して地域づくりをしている
522	A181-1 行政は、市民や企業などから積極的に提案を受ける仕組みがあり、市民や企業の活動を応援している
523	A209-1 まちを元気にするために、市民や企業や行政などさまざまな主体者が儀礼的ではなく定期的に本音で議論している
524	C307-1 住民も企業も行政もみんなが豊明のために動いている
525	F369-1 どんな課題に対しても、市民も行政もともに考え、第一歩が踏み出せている
526	G63-2 行政には限界があり、市民と話し合い解決をしている
527	B39-1 豊明市にある歴史・自然・人材などの魅力に市民や行政が気づき、自分たちで活かすような仕組みがある
528	B138-1 将来を描く計画に若い人の声が反映されている
529	J185-1 まちの目標に対する評価が定性的と定量的の両方で評価されている
530	A205-2 市民や企業などがコミュニケーションをとれる機会をもち続けている
531	C265-1 市が地域と連携して、末端までとどくサービスを提供している

532	D139-4 豊明市や各地区をよくするために住民と地域、市民と市が一緒になって活動している
533	D171-1 市民と市が互いに信頼し、連携して地域課題を解決している
534	D139-5 行政が縦割りではなく、横断的で各課での連携がとれている
535	F108-1 縦割り行政が解消し、地域と行政が連携して、地域の課題解決に取り組んでいる
536	I270-2 行政の横の連携がとれており、市民が不自由を感じていない
537	J188-2 行政の同じような事業は整理し、効率的に税金が使われている
538	I278-1 職員に専門性があり、市役所内部での横の連携ができています
539	ア 51-2 市役所の組織が変わっている
540	C433-1 行政が市民に発信する情報が一過性ではなく、転入者にも届くような工夫がなされている
541	C447-1 行政が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされている
542	C441-1 行政からの情報発信の方法が多彩である
543	F224-9 転入者にも行政サービスが分かりやすく説明されている
544	G27-1 行政側の都合の情報ではなく、市民が求めている情報が発信されている
545	C136-1 標識などいろんなことを伝える際に、一番わからない方を基準に考えることで、すべての人が理解できるようになっている
546	C443-1 情報の発信は一時的な配布だけではなくほかの手段も活用している
547	C445-1 必要な情報は定期的に発信する
548	D3-1 市民にわかりやすいように、市長の方針や行動が明確に示されている
549	D91-1 市の情報が市民に向けてわかりやすく発信され、市民が必要な情報を得ることができている
550	D91-2 SNS を活用するなど、若い世代にも届くように情報発信がなされている
551	D91-3 市民が読みたくなるような魅力ある広報となっている
552	D91-4-1 市の情報を市民に発信する場がある
553	D151-1 市の取り組みが発信され、市民に市の情報が伝わっている

554	D153-1 各年代の市民にあった形での広報がなされている
555	D161-1 市外の人に豊明市のことが発信されている
556	D197-2 市の広報が市民が読みたくなるような魅力ある広報になっている
557	D207-1 市が行っている事業の目的・内容・成果がきちんと示され、情報が市民に対して公開されている
558	F224-5 転入者への配慮がなされている
559	F299-1 市の広報で、市のさまざまな取り組みがうまく発信されている
560	F310-1 広報紙が、ただ情報を詰め込むのではなく、さまざまな市民に読みやすいように工夫されている
561	F312-1 市のホームページが充実している
562	F325-1 市民が市からの情報をうまく収集することができている
563	F335-1 市のイベントや行事などの情報が市民に届けられている
564	F333-1 イベントなどの内容の良さが伝わっている
565	F337-1 市が企画するさまざまなイベントの良さをもっと市民に対して宣伝している
566	F365-1 市が適切な情報発信をしており、市民も自ら情報を取りに行っている
567	G13-2 市のホームページが見やすくなり、市の魅力がアピールされている
568	G21-1 市民にわかりやすく情報発信がなされている
569	G29-1 市民が必要な情報を得ることができ、まちをよりよくしていくための意見を出せる仕組みがある
570	G227-1 紙媒体での広報手段が活用され、インターネットを見ない世代でも市の情報を知ることができている
571	G229-1 さまざまな形で市の情報が発信されている
572	G244-1 市民が情報を率先して取るように意識している
573	I78-1 行政は一旦計画したことについて、その結果を最後まで責任をもって市民に説明している
574	I256-1 市のホームページが見やすくなっている
575	J162-2 今ある広報媒体だけではなく、市民が参加するきっかけが作れるような情報の伝え方が工夫されている

576	ア 23-2 ネットを利用して市民の声を聞ける仕組みがある
577	ア 41-2 情報が具体的に記載されている
578	ア 21-1 各項目別に整理され、市民がわかるような総合計画が策定され、市民に伝わるような広報がなされている
579	F5-1 世代間で不公平感のない行政運営がなされている
580	F21-1 世代間での予算配分が市民にわかりやすい
581	A225-1 若い世代に禍根を残さない保険制度になっている
582	D11-2 お年寄りだけに偏るのではなく、バランスの取れた施策となっている
583	F13-1 それぞれの世代で求める重点施策が市民に納得のいくかたちで取り組まれている
584	F17-1 どの世代のどのくらい公的資金が投入されているかが市民に分かりやすい。
585	ア 37-3 市が変えるべきところは変え、イキイキと活動している
586	F11-1 高齢者と若い世代との公共サービスの格差が少ない。
587	J35-1 高齢社会において、高齢者をターゲットとした事業が進められている
588	C76-2 行政サービスを提供する際の対応が親切である
589	F224-8 市民のための行政サービスが、市民にきちんと利用される工夫がなされている
590	C297-1 市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている
591	D7-1 市の職員が縦割りではなく、顧客を意識して仕事をしている
592	C301-1 市の窓口が迅速に対応ができています
593	F224-7 行政サービスを便利に受けることができている
594	I276-1 行政職員が市民に対して親切に対応している
595	B160-1 市役所が 24 時間サービスを提供している
596	D113-2 公共施設が気楽に便利に利用できるようになっている
597	ア 40-1 図書館が便利に使える仕組みがある

598	I272-1 行政職員の移動があっても、各部課に理解のある人がいる状態になっている
599	I270-3 行政文書がきちんと精査して市民に公開されている
600	I282-1 行政が市民のよりどころとして機能し、市民が安心できている
601	I284-1 市民が安心感をもてる行政になっている
602	ア 17-1 委託事業や市民参加のプロセスや結果を行政が把握し、行政も責任を持った仕事をしている。
603	I270-1 市の職員がプロフェッショナルになっている
604	C295-1 市職員に活気がある
605	C303-1 職員が率先して動いている
606	C6-1 行政サービスが周辺自治体と比べて同じレベルになっている
607	F301-1 広報紙が高齢者にも読みやすいように工夫されている
608	F317-1 市のホームページが高齢者にもわかりやすくなっている
609	A37-2-1 市の税収が増えている
610	D1-1 税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている
611	D11-5 豊明市が継続して収入を得られるような手段がある
612	G1-1 市の赤字が改善され、プライマリーバランスがとれた市となっている
613	G31-4 税収が確保され、持続可能な自治体になっている
614	G63-3 市独自の事業があり、市の税収が増えている
615	G142-1 市内に道の駅ができ、市の税収が上がっている
616	ア 2-1 市が税を得て力をつけている
617	I45-5 住民税が安くなっている
618	D99-1 若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している

○健康・スポーツ・医療関連

No.	めざすまちの姿
619	E324-1 スポーツや趣味の活動にたくさんの市民が参加している
620	D193-1 市民のニーズにあったスポーツの取り組みがなされている
621	D189-3 スポーツの大会など、市民全員が集う場がある
622	E203-1 市民が気軽にいろいろなスポーツを体験する機会があり、自分にあったスポーツができる
623	G165-1 市外の人が豊明市を訪れ、一緒にスポーツや食事などを楽しんでいる
624	D192-1 市民や団体が自由に使え、サッカーができるグラウンドがある
625	C136-4 福祉やスポーツや文化など、それぞれの活動が広がりをもって関心が向けられている
626	H150-1 まちの特徴を活かしたスポーツの取り組みが行われている
627	ア 24-1 市内にスポーツ施設があり、多くの人でにぎわっている
628	H220-1 適度に体を動かせる機会がある
629	H224-1 市民が体を動かす時間を持っている
630	ア 43-2 公園やセンターが整備され、運動できる場となっている
631	F287-2 健康寿命が延びている
632	H3-3 年をとっても健康づくりを行える場所や機会がある
633	E180-1 こどもの骨が転んだりしても骨折しない丈夫な骨になっている
634	E587-1 こどもに体力がある
635	E197-1 子どもの骨折が少ない
636	D258-1 将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている
637	D189-1 医療機関や福祉施設が充実し、住みよいまちとなっている
638	G63-4 医療や福祉施設が整っている
639	C100-1 医療機関同士の連携がとれていて、休日や緊急の時にも専門的な治療が受けられる

640	C96-3 さまざまな診療科目で休日診療を受けることができる
641	C6-2 行政と大学が連携して、質の高い医療サービスが提供されている
642	B50-1 医療・福祉施設を活用したまちづくりが進められている
643	H125-1 総合病院との連携も進み、医療体制が充実している
644	I123-1 大きな病院とかかりつけの病院との役割分担ができている
645	J27-4 病院がたくさんあり、便利である
646	ア 37-1 休日や夜間も対応できる診療所がある
647	D65-1 自転車に乗る人が増えている
648	C74-1 学校給食の献立が子どもの成長を考えた内容になっている
649	C354-1 学校給食は子どもの好きなものだけでなく地産地消にて栄養のバランスが取られている
650	C356-1 学校給食が子どもの好きなものばかりではなく、栄養バランスを考えて作られ、子どもが心身ともに健やかに成長している

○産業・労働関連

No.	めざすまちの姿
651	A193-1 市は豊明ブランドを積極的に応援し、産業が活性化し、人口が増え、まちに活気が出ている
652	G11-1 花を活かしたビジネスが展開され、雇用の場ともなっている
653	G136-3 豊明市の特産物がある
654	H119-1 豊明市独自の産業があり、特色あるまちとなっている
655	H117-1 豊明市独自の産業ができ、発信されている
656	F7-3 まちが明るいムードで教育や産業振興の取り組みが進んでいる
657	C116-2 商業施設や工場などがあり、まちに活気がある
658	A158-3 医療や福祉や産業など、それぞれの分野の成長が互いの成長を促し、活性化している
659	G9-1 従来の産業だけではなく、商業・農業・サービス業など新しい産業が増えている

660	A128-1 中小企業が活発に活動している
661	A136-1 中小企業が活性化し、そこで働く人が増え、税収というかたちで市に還元されている
662	A205-1 中小企業が活性化し、地域が盛り上がっている
663	D123-1 企業誘致に成功し、企業が増えている
664	D220-2 企業誘致が積極的に取り組まれ、市内に働く場ができる
665	A187-1 行政が企業が活動がしやすいように後押しをし、豊明にたくさんの企業が進出している
666	B78-1 企業誘致が進み、人が集まり賑わっている
667	H115-1 企業誘致が進み、若い人が移り住んできている
668	H115-4 企業誘致が進み、人口が増加している
669	ア 26-1 大きな企業が市内にでき、税収があがっている。
670	ア 39-1 市がビジョンをもち、関係者にはたらきかけて再開発・企業誘致を行っている
671	A37-3 さまざまな商業施設ができ、市外から人が訪れるようになり、市の財政が潤っている
672	A148-3 商業が盛んになっている
673	C96-1 市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている
674	D11-3 若い人たちが地元で働ける場所がある
675	D13-1 若い人が地元で働き、地元で税金を納めている
676	D215-1 市内で働くことができる
677	D216-1 市内で働くことができる
678	F114-1 地元で仕事がある
679	G1-2 若い世代の働く場が確保され、若年層の人口が増えている
680	B25-3 市内に働く場があり、若い世代が豊明市に住みついている
681	H67-4 若い人が豊明市で働く場所がある

682	H67-5 若い人が市のサポートを受けながら、豊明市内で働いている
683	H69-1 豊明市内に働く場所があり、昼も若い人が暮らしている
684	H89-1 学校を卒業した若者が豊明に残り、豊明市内で働いている
685	I119-1 若い人が地元で働き、暮らすことができている
686	H158-1 正規職員として働く機会や場が市内にある
687	ア 46-2 若い人が働ける場がある
688	H67-3 豊明市内に働く場所がある
689	D19-1 若い世代が健康で働き、安定した収入を得ている
690	H15-1 若者が正社員で働くことができ雇用が安定している
691	H17-1 若者が働くことができている
692	H15-2 若者が活躍できる社会となっている
693	F224-4 女性が働くことに対して、市が積極的に後押ししている
694	F272-1 名古屋との近さを強みとして、女性が働き、社会参加ができている
695	H3-5 結婚しても子育て中でも女性が働きやすい環境となっている
696	H19-1 女性が社会進出しやすい環境になっている
697	H21-1 女性の活躍を応援する社会となっている
698	H23-1 女性も男性も活躍できる社会となっている
699	H25-1 女性も男性も分け隔てなく活躍できる社会となっている
700	G219-1 豊明市内でできた農産物が安く購入できる
701	G136-4 豊明市に道の駅がある
702	J210-1 農業が先端産業として位置付けられ、農家が自信をもって農業をしている
703	J264-1 農業を単純に商売としてではなく、生きがいという切り口から考えられ、盛り上がっている

704	J107-2 農業が嫌々受け継がれるのではなく、魅力的な農作物が多くの人に向けて販売されている
705	J217-1 都市近郊としての特性を生かした農業が展開され、退職者など、新たに農業をしようとする人が増えている
706	J223-1 農業の現場の人の声を聴き、現場で何が求められているかを把握し、農業の振興が図られている
707	J224-1 工場誘致ではなく、宅地増設と農業振興を図る
708	J243-1 農地として農業をやりたい人が専門家に教えてもらって農業ができる
709	B3-3 地元で作られた農産物を地元の人が安心して食べることができる
710	B50-2 豊明で栽培可能な農産物があり、農地が活用されている
711	J284-1 地域の中で地産地消の取り組みができています
712	H162-1 会社は効率性だけを重視し、安い労働力だけを求めている
713	H158-2 豊明市内で、従業員の能力を活かし新しい発想が出るような会社がある
714	G197-1 働く意欲を持つ人の就労支援がなされている
715	I56-1 住民が地元の商店を利用することで商店街が持続している
716	I45-2 商店が開いており、まちに活気がある
717	I60-1 昔ながらの商店が、大規模商店に対抗することができている
718	I68-1 地元の商店を活性化するような取り組みや工夫がなされている
719	I82-1 まちや商店に魅力があり、おもてなしができています
720	I107-1 シャッター商店街になっていない
721	I178-4 商店街に観光客が来て賑わえるような取り組みがなされ、まちが活性化している

○地域・まちづくり関連

No.	めざすまちの姿
722	J152-2 まず地域のあるべき姿を描き、それを実現するためにどういう組織でどう取り組んでいくかということが考えられている
723	C269-1 市と地域が連携し、地域住民の活動が広がっている

724	B35-5 豊明市に来たいと思えるようなフレーズがあり、住民みんなが地域づくりに取り組んでいる
725	D139-1 市と地域が協力し、各地区それぞれの課題解決が可能になる仕組みとなっている
726	J45-1 地域の中で情報が共有され、問題意識を共通にして取り組んでいる
727	G77-1 地域ごとでの話し合いによって、地域の実情を理解し特性を活かした地域づくりが進んでいる
728	J15-1 まちをさらに良くしていこうとするエネルギーがあり、新しい考え方などとの融合性が図られている
729	H29-4 高齢者だけではなく、現役世代も活躍できる地域となっている
730	H31-1 若い人から高齢者まで共に意見を出し合いながら、地域づくりが進められている
731	ア 10-1 「住みよいまちはどんな町か」住民自らが話し合って決定し、そのための行動を実行している
732	B25-1 市内どこの地域でもまちづくりに参加できる
733	I184-1 住民が地域の活動への参加の意味を理解し参加している
734	F168-1 市民が自発的に自分の意志で地域の活動に参加している
735	I238-1 市民が地域の集まりに参加する工夫がなされている
736	J66-1 地域のいろんな行事に住民が参加している
737	J150-1 地域の役員だけではなく、たくさんの住民が行事に参加している
738	C271-1 地域でできることは地域で活動しようと住民の意識が変わっている
739	G69-1 市民一人ひとりが身近な地域で活動し意識が変わり、さらにまち全員の意識が変わっている
740	J156-1 地域の活動に参加するきっかけがある
741	J160-1 地域の活動が人を介して広がり、来てもらえるような工夫がなされている
742	J162-1 地域活動に参加するときに自分の役割があることで継続して活動することができている
743	J165-1 地域の活動をやらされ感をもってやるのではなく、自分の役割に満足して活動に参加している
744	J188-6 婦人会の活動の必要性が地域で理解されている、役員だけでなくみんなで活動している
745	J202-1 地域の活動が楽しく、活動が継続している
746	ア 50-1 豊明市で生まれ育った人が地域活動に参加しやすいまちとなっている

747	D161-2 まちづくりの活動が一部の市民への負担になっていない
748	F86-2 集合住宅に住んでいる人も地域の人も地域の活動に参加している
749	F88-1 集合住宅が多い地域でも、住民同士が顔が見える関係になっている
750	F285-2 集合住宅に住んでいる人も地域の活動に参加していくことができている
751	C178-1 集合住宅に暮らす方が地域の集まりに参加している
752	C170-1 集合住宅に暮らす方の自治意識が高まっている
753	G63-1 市民が自発的に思いやりの気持ちを持ってボランティア活動を地域で行っている
754	ア 18-2 世代の異なる人たちが意見交換できる機会がある
755	C273-1 住民の自治の意識が高まり、地域は行政の下請けではなく、地域でできることは地域で行い、行政に提案をしている
756	A31-1 地域の主体的な活動を行政が後押ししている
757	C283-1 市民が主体的に活動することで行政を動かしている
758	C275-1 市民ができることは行い、行政に丸投げしていない
759	F7-1 地域のつながりが大切にされ、行政はその応援をしている
760	F35-1 地域の活動を行政が応援し、地域の役員が動きやすい体制となっており、地域の活動が活性化している
761	F37-1 行政から地域への丸投げの事業が減り、地域の中で専門性を活かした活動の輪が広がっている
762	G89-3 人と人のつながりが大切にされ、市もサポートしている
763	J69-1 区の考えや方向性や市と同じ方向を向いている
764	J240-1 定年退職した方が生きがいとして地域に参画し、元気に活動している
765	J270-1 農業が、定年を迎える人にとって、定年後の地域での暮らしやコミュニケーションのきっかけになっている
766	F108-2 団塊世代が地域活動を支えている
767	G112-3 定年退職後の男性が孤立せず、地域の中で活動している
768	G100-1 男性が外に出て人とつながることで、心身ともに健康に暮らしている
769	A27-2 地域と行政が連携し、企業人が退職後も地域でひととの交流で楽しく暮らすことができる

770	I9-1 これまで仕事一筋で地域と関わりをもってこなかった男性が、老後に地域との交流がもてて互いに声をかけあって暮らすことができている
771	J81-1 外から移り住んで、仕事一筋できた人が、老後に地域とのつながりをもって楽しく暮らすことができている
772	I23-1 妻が先に亡くなっても、夫が地域の人とつながりながら暮らしていくことができている
773	A27-3 企業人が地域で子どもと関わり、これからも住み続けたいと思っている
774	J27-1 働いているときから地域の活動に関わり、地域の人との顔と名前がわかっている
775	A27-1 企業人が退職後に地域に友達ができ、地域で子どもと関わり、人との交流がある
776	F86-1 地域の役員のなり手に困っていない
777	F98-1 仕事をしている人でも地域の役員を務めることができている
778	F224-3 住民が積極的に地域の役を担っている
779	G112-1 地域の役員や行事などに参加することで、自らも成長し、地域の中でボランティアや自分の楽しみを見つけることができる
780	D145-1 区長や副区長だけに責任が偏らない住民自治の仕組みがある
781	G186-1 各区の経済的な負担が軽減されている
782	F100-1 仕事をしている人が役員を受けることができる
783	I228-1 若い世代が地域のさまざまな役に就いて活動している
784	H337-1 地域内の組織同士が支え合って活動している
785	H345-1 地域内の組織同士が支え合って活動している
786	I25-1 地域の活動に参加し、運営に協力する人が増えている
787	H27-1 現役世代が発言でき、現役世代の声も反映された地域づくりがなされている
788	J13-1 一部の人の考え方だけで物事が進むのではなく、イノベーションが起きやすい地域となっている
789	J27-2 地域の役員に若い人が入るようになり、必要性があることはスピード感をもって変えている
790	J67-1 自治会や区が、きちんと役割分担ができ、それぞれが旧態依然の状態から脱皮でき、地域をよりよくしていくことができている
791	J91-1 町内かいくらいの単位で地域の支え合いができている
792	J47-1 コミュニティの単位が再編成されている

793	J49-1 コミュニティの単位が再編成されている
794	J53-1 コミュニティは機能する単位となっている
795	J55-1 コミュニティの単位が再編成され、今より大きな視野で物事を考えている
796	F31-1 住民に身近な単位での活動が重視されている
797	G89-2 豊明市のすべての地域がまちをよくするための活動をしている
798	G236-1 各地域で格差なく、地域活動が取り組まれている
799	H29-1 地域が現役世代の声を聴いている
800	H35-1 現役世代が負担感を感じることなく地域活動に継続して参加している
801	H39-1 現役世代が地域活動に勇気をもって参加している
802	I51-1 昔から住んでいる人が新しく移り住んできた人を温かく迎えており、互いの交流がある
803	J7-1 外から移り住む人を対して温かく迎えている
804	J87-1 市外から移り住んできた人が近所で支え合うことができている
805	J151-1 市外から移り住んだ人が、地元の集まりに気軽に参加し、溶け込めることができている
806	J152-1 昔から住んでいる人と新しく移り住んできた人の融合性が大事にされている
807	F144-1 よそ者に冷たい雰囲気がない
808	F148-1 地元の人が市外から移り住んできた人に声をかけ、気遣っており、転入者も安心している
809	F158-1 知り合いがいないと参加しにくいということがない
810	F224-1 転入者が暮らしやすいように配慮がされている
811	F361-1 集合住宅や戸建てなど分け隔てなく、外から転入してきた人に対して、地元の住民が声をかけている
812	I45-1 市外から転入してきた人がよそ者扱いされず、地域の人との交流がもてている
813	I47-1 外から転入してきた人がよそ者扱いされずに、地域の人との交流がもてている
814	H178-1 新しい世代と古くから暮らす世代が共に歩みより、融合している
815	I39-1 団地の住民と昔から住んでいる住民との交流がある

816	D89-1 豊明市は名古屋よりすごいと評判になり、豊明市に住み続けたり、市外から移住してくる人が増えている
817	A19-1 他地域から豊明に移り住む人々が、豊明の暮らしに満足し、これからも住み続けたいと思っている
818	F102-1 若い人が地域の活動に意見を述べ地域の活動に参加している
819	F126-1 若い人が地域で友達がいて、地域の活動と一緒に参加している
820	F128-1 若い人が友達と地域の活動に参加している
821	F136-1 若い人やこどもが地域の活動に参加することを歓迎する工夫がある
822	F140-1 地域の活動に若い人が参加するための工夫がなされている
823	F124-1 地域の活動に若い人が参加している
824	F132-1 若い人が地域の活動に参加できるように工夫している
825	G136-1 若い世代が地区と接点を持ち、自分のまちとして捉え、活動に参加している
826	H29-2 若い現役世代の人が社会や地域に貢献している
827	H127-1 若い人が地域活動やイベントなどに参加している
828	H345-2 母親がサポートを受けながら、なるべく負担なく地域活動にも参加している
829	H361-1 子育て家庭の地域活動への負担が軽減されている
830	H371-1 子育て家庭の地域活動への負担が軽減されている
831	H372-1 子育て家庭の地域活動への負担が軽減されている
832	I117-3 若い人が地元に残り、地域の活動に参加している
833	I150-1 若い世代が地元のことを調べたり、活動に参加し、他地域の人に豊明の良さを伝えることができている
834	I160-1 地域の担い手として若い世代に引き継がれ、若い世代が活動し、地域に活気がある
835	J126-2 婦人会に若い人が参加し、活動を盛り上げていくことができている
836	ア 33-1 地域と中学生がかかわりともっている
837	J146-1 働いている人も婦人会の活動に参加しやすい工夫がなされている
838	I196-1 若い人が地域や行政の取り組みに参加することをきっかけに自分の意識を変えている

839	A37-4 若い人の新しい感性を活かし、まちづくりが進められている
840	C136-7 若者がまちづくりを引っ張っており、豊明がよりよいまちになっている
841	ア 2-2 若い人たちの力を活かし、ショッピングモールに頼らないまちおこしが進められている
842	G31-1 若い世代が豊明市を自分のまちとして意識し愛着を持ち、豊明市に暮らしている
843	I133-4 若い世代が自分のことだけではなく、豊明市に関心をもち、市のことを考えている
844	A120-7 若者が豊明が好きであり、こんなまちにしたいという気持ちで豊明に住んでいる。
845	A120-4 子育て中に限らず、市民が豊明市民としての意識をもっている
846	ア 43-1 学生が活躍している場がある
847	J140-2 年をとっても生涯現役で、まちのために活動している
848	J9-1 住む人の個性が際立っている
849	F49-1 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている
850	A92-1 豊明に住んでいる人が、一日に必ず誰かと話ができる
851	A94-1 一人暮らしの方が毎日誰かと話ができる
852	H37-1 新興住宅地に暮らす人が近所の人と顔見知りになり、地域に溶け込んでいる
853	I11-1 地域に住んでいる人を気にかけて、孤独死が防げている
854	F102-2 地域で互いに生活の困難を助け合っている
855	F106-1 認知症の方の見守りを地域おこなっている
856	F160-1 近所づきあいがあり、地域の活動にも住民が積極的に集まっている。
857	A90-2 隣近所とのコミュニケーションがとれている
858	C130-1 住民が参加する活動が定期的にあることで、隣近所での付き合いができている
859	G161-1 近所の人同士であいさつするなどの交流がある
860	J130-1 隣近所の付き合いがあり、困ったときに相談したり、悩みを聞いてもらえる
861	ア 46-1 いろいろな人が集まり、不安や意見を交わせる場や機会がある

862	A100-2 豊明で人々が一緒に生きていく、助け合っていくという精神が受け継がれ、誇りをもって暮らし続けている
863	A189-1 自助・共助・公助の精神がまち全体に広がっていることに魅力を感じ、市外から人が集まるようになっている
864	ア 28-1 市や地域に暮らす人たちのつながりが強くなっている
865	G39-1 自然と科学が調和され、お年寄りにやさしいまちになっている
866	H3-1 高齢者にもやさしいまちになっている
867	ア 9-2 老後も住みやすいまちとなっている
868	F287-3 元気なお年寄りがお年寄りの生活支援をしている
869	C281-1 市民が主体的に行う意識が高まっている
870	D139-3 NPOが市内に多く存在し、多彩な資源を活用し、活発に活動している
871	C277-1 自己責任にてできるだけことは行う
872	D147-1 まちをよくしたいと思える人たちの情熱が活きる組織や仕組みがある
873	G112-2 市内でボランティア団体が活発に活動しており、市民が活動や行事に参加している
874	ア 18-3 多くの人が夢を語る場や機会がある
875	G199-1 多様な主体者がそのノウハウや経験を活かし、連携しまちをよりよくしている
876	J206-1 地域の活動やNPOの活動に楽しさがあり、活動が継続している
877	B9-4 NPOやボランティアが連携し、活躍している
878	ア 36-1 市民が意識を持つ大切さを理解している
879	J140-1 婦人会を支える人がいて、婦人会が豊明市のために活動している
880	B46-2 地域やまちをよくしようとするリーダーがいる
881	C124-1 市内で市民が参加できるような活動が行われており、市外の人に自慢することができている
882	J142-1 40代、50代の人々がどんどん入ってもらえる魅力ある婦人会になっている
883	D139-7 豊明市にまちをよくするために活動するNPOや引っ張っていけるようなまちのリーダーがいる。
884	E211-1 遊休施設などを活用し、市民が興味のあることを学んだり、楽しむことができている

885	E232-1 市民がさまざまな教室に積極的に参加している
886	E238-1 身近で人と会話ができる場所があり、趣味などが広がっている
887	ア 28-1 地域で演奏会やイベントなどが定期的に行われている
888	B9-3 市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができている
889	F29-1 いろんな知識をもった住民が地域の活動に力を発揮している
890	F90-1 地域の活動を行う際に、地域の先人たちのアドバイスをもらうことができている
891	C134-1 市民が日常的に楽しめるような祭りやイベントがある
892	H127-2 若い世代をターゲットとしたイベントや行事が市内で行われている
893	H135-1 全世代が参加できるようなイベントがある
894	I178-5 市民だけではなく、市外の人でも集まり楽しめるような大きなイベントがあり、まちが活性化している
895	ア 31-3 市内で多くのイベントが行われている
896	D177-1 地区のイベントや行事に高齢者だけではなく多世代が参加している
897	G245-1 市民が人と人とのつながりの中で情報を得ている
898	G240-1 市内で活動するさまざまな団体が情報発信できる場や機会がある
899	G149-4 ボランティアなどの情報が市民に分かりやすく発信されている
900	J154-1 地域の活動が具体的に見える
901	J241-2 他地域の良い取り組みなど、情報の共有化が図られている
902	ア 37-2 市や地域が行っている活動が共有され、市民が知っている
903	F375-1 中学生に地域の情報が伝わっている
904	D95-1 市や地域ごとの取り組みや情報が発信されている
905	ア 4-1 豊明市の歴史や文化が見直され、次世代に継承されている
906	B9-2 市の地域資源が活用され、新たな地域資源も発見されている
907	A120-6 田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている

908	ア 30-1 小さい子どもが自然に親しめる場所がある
909	J126-1 のんびりした田舎で、子どもたちが泥にまみれて育っている
910	E30-1 子どもの頃に連れて行ってもらった山や自然が残され、自分が大人になったときにも子どもを連れて行くことができている

○観光・まちの魅力関連

No.	めざすまちの姿
911	D43-1 地域全体で「花の街とよあけ」を考え、取り組んでいる
912	A37-6 花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人が訪れている
913	A201-1 豊明にしか咲かない花を栽培し発信している
914	D39-1 「花の街とよあけ」としての取り組みが継続されている
915	J188-5 花のまちや介護にやさしまち、子育てしやすいまちなど、今ある豊明の良さをPRして多くの人に住み着いてもらっている
916	B11-1 花き市場が活かされ、花が多い豊明となっている
917	B25-2 花き市場が活性化し、豊明が日本一の「花の街」になっている
918	J316-1 花き市場がたくさんの人を呼び込む場所となっている
919	ア 48-1 花の町らしく市内の至るところでにひまわりが咲き誇っている
920	G136-5 花木市場の名前が知れることで盛り上がり、周りの花屋も活気づいている
921	B78-2-1 豊明市内で気軽に花の苗や種を手に入れることができる
922	J188-4 行政がお金を使って「花のまち」をPRするのではなく、市民一人ひとりが庭先に花を植えたり、花き市場がいろんな企画をしたりすることで、本当の花のまちがPRできている
923	A1-1 豊明市を「通過するまち」から、豊明市に「足を運んでくれるまち」になっている
924	A49-1 豊明のなかに楽しめる施設や空間があり、市外からも人が訪れるようになっている
925	A150-1 通り過ぎていくまちから立ち止まってみていただけるまちになっている
926	B78-2 豊明市が人がわざわざ来るようなまちになっている
927	A1-2 豊明の特徴を示すものが一つにつながり、豊明の魅力となっている

928	A21-1 豊明に住む魅力がある
929	A25-1 市民がみんなで、一生懸命、豊明の魅力をつくっている
930	A120-5 豊明に、市外の友達に紹介できるような魅力がある
931	A152-1 豊明を発信する場があり、市外の人に豊明を知ってもらうことができている
932	C116-3 市外の人を案内したり、自慢できる場所がある
933	C122-1 豊明市で市民が自慢できることがある
934	C126-1 もう少し刺激のあるまちになっている
935	D77-1-1 豊明市ならではの特徴があり、外の人にも知られるまちとなっている
936	D220-1 豊明市が魅力あるまちとなっている
937	B62-2 外部にアピールできる魅力がある
938	B72-1 他の自治体に勝るような魅力や吸引力がある
939	ア 8-1 荒削りでも人が魅力を感じる豊明市の特徴ができあがっている
940	B25-4 他のまちにはない、豊明市だけが誇れるものがある
941	B37-1 名古屋市よりも誇れるものがある
942	H137-1 豊明市独自の面白い取り組みがある
943	H141-1 豊明市独自の取り組みができ、面白いまちとなっている
944	H262-1 豊明のオリジナルが議論され、進められている
945	I152-1 豊明のまちを象徴できるようなものがある
946	G146-1 地域資源を活かした観光地づくりが市民によって取り組まれている
947	A5-1 低コストで暮らしやすく、豊明市に住みたいという人が多く訪れている
948	A17-1 豊明に住んでいてよかった、これからも住み続けたいと思えるまちになっている
949	A37-2 若い人の住居が確保でき、若い人が豊明に移り住んでいる

950	D77-2 若い世代が豊明市に移り住み、人口が増加している
951	D272-1 公団の入居率が上がり、活気が戻ってきている
952	D81-1 若い世代が住み続けたいようなまちとなっている
953	D91-2-1 若い人たちが将来「豊明市に住みたい」と思うようなまちになっている
954	E282-1 若い人が豊明にたくさん住んでいる
955	G5-1 20代から40代の人口が増えている
956	B75-1 新しい人が住みたくなるようなまちの魅力がある
957	H123-1 若い世代が暮らしたいと思う魅力あるまちとなっている
958	B46-3 人口が増えて10万都市となっている。
959	H115-3 若い世代の人が豊明市に移り住んでいる
960	I45-3 人口が増えている
961	J194-1 豊明の住みやすさをPRすることで、若い世代がたくさん入ってくるようになっている
962	D273-1 若い人や子どもたちが多く暮らし、活気あるまちが戻ってきている
963	H115-2 医療が充実し、子育てしやすい環境になり、若い人が移り住んでいる
964	E116-1 集合住宅に高齢者だけではなく、若い人がもっと入居するようになっている
965	A227-1 昼間に若い人が市内にいる
966	A229-1 昼間人口が増えている
967	E284-1 学生が放課後や休日に市内で遊んでいる
968	I174-1 学生が通学するだけでなく、まちなかで楽しむことができている
969	D226-1 豊明駅周辺がお店やオフィスでにぎわっている
970	ア 25-1 スポーツ施設や大型スーパー・映画館などが市内にある。
971	G211-1 市内で日用品が便利に購入できる場所がある

972	I160-2 市内で買い物を楽しむことができ、若い世代が豊明市を離れていない
973	B50-3 市内外の人が豊明市にお金を落としている
974	ア 45-1 市内に大型のショッピングモールができ、市内に人がとどまっている
975	A237-1 駅周辺に立ち寄れる店があり、人で賑わっている
976	ア 31-1 豊明市が名古屋市のベッドタウンとなっている
977	C132-1 家族で出かけられる場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている
978	C136-6 家族や友達を案内できるようなところがある
979	C144-1 家族の理解と仲間がいて、興味をもったことにチャレンジし、豊明に住んでいることを心地よく思うことができている
980	E14-1 市民が豊明のよいところをたくさん話すことができている
981	G185-1 豊明市の悪いところだけではなく、素晴らしいところも発信されている
982	B62-3 豊明市の魅力を積極的に発信している
983	H258-1 豊明市でしか語れないものがPR・情報発信されている
984	I154-1 豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができている
985	J5-1 市民の豊明への郷土愛が強い
986	J7-2 気候風土がよく、老後に住みたいまちとなっており、住民の自慢のまちとなっている
987	H75-1 豊明市内に暮らす人が「住みやすい」と実感できるまちになっている
988	H194-1 豊明市のキャッチコピーや住みやすさをアピールする目玉がある
989	H196-1 豊明市の住みやすさを発信できるキャッチコピーがある
990	H296-1 まちをPRすることで、市民への利益が生まれ、まちの活力につながっている
991	H382-1 暮らす人にとってのメリットが積極的に宣伝されている
992	I133-1 若い人の同世代が減らない
993	J7-3 「豊明」が全国的に知られている

994	ア 7-1 天国のように住みやすいまとなっている
995	C180-3 観光資源を市民が知っている
996	C182-1 桶狭間の古戦場や花き市場など、豊明の観光資源が発掘され、知れ渡っている
997	C186-1 観光資源を活用しイベントが行われている
998	C188-1 観光資源を活用している
999	C200-1 桶狭間の古戦場など豊明の観光資源が知れ渡っている
1,000	B104-2 豊明市の歴史的な資産がアピールされている
1,001	H113-1 豊明市で活躍した先人を豊明市民が知っている
1,002	H266-1 豊明の歴史や文化を直接見てもらっている
1,003	H274-1 豊明市の遺跡が話題になり、多くの人が豊明市を訪れている
1,004	H290-1 豊明市の遺跡が話題になり、多くの人が豊明市を訪れている
1,005	I176-1 豊明市のよいところが受け継がれている
1,006	ア 18-1 駅に観光案内所があり、まちが活性化している
1,007	A61-1 豊明のまちの未来について語り合える場所がたくさんある
1,008	B44-1 議会も行政も他人ごとではなく、真剣に魅力発信に取り組んでいる
1,009	J95-1 豊明にある素晴らしい景観が残されている
1,010	J95-3 昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残されている
1,011	J105-1 住民が豊明の美しい景色に価値を見出し、その景色を残すために協力している
1,012	ア 31-2 豊明市が四季折々の草花が見られるまちとなっている
1,013	J93-1 豊明の昔からの風景が残されている
1,014	B37-2 豊明市にある歴史・自然・人材などの魅力に市民が気づき、活かすような仕組みがある
1,015	A33-1 まちが元気になっていく

1,016	C136-3 いろんな人にやさしい社会になっている
1,017	C136-5 名前のように、「豊かで明るい」というまちのよさに市民が気づき、大好きなまち、住み続けたいまちになっている
1,018	C116-1 豊明に生まれ育った人が豊明を良いまちだと思っている
1,019	F3-1 10年後、20年後にも活気のあるまちである
1,020	B62-1 常に変化があり活気がある
1,021	B78-3 活気あるまちとなっている
1,022	ア 15-1 豊明市が明るく元気なまちとなっている
1,023	D11-1 豊明市が明るく豊かな住みよいまちになっている

(2) 64個の「めざすまちの姿」(市職員より)

※各めざすまちの姿の前につくアルファベット及び数字は整理上のものである。

○子育て・子育て関連

No.	めざすまちの姿
1	行 22 比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる人を育てていく。
2	行 26 子どもが安全に外で遊ぶことができる。大人が安心して子どもを外で遊ばせることができる。
3	行 27 子供に虐待がおこらない。
4	行 32 子育てをする親同士のコミュニティの場がある。
5	行 38 コマまわし、竹とんぼ、けん玉などの昔ながらの遊びを地域のおじいちゃん、おばあちゃんに教えてもらい、交流を楽しむ。
6	行 40 コンビニや大型スーパーなどではなく温かみのある駄菓子屋を増やし、子どもと地域の人がコミュニケーションを持っている。
7	行 50 子どもも大人も、趣味や地域の方々との交流を楽しむ場が多彩に、数多く設けられている。
8	行 57 男性が子育てに積極的に参加している。
9	行 67 子育てを楽しんでできる。

10	行 42 学校の教育環境が整い、生徒が伸び伸びと生活している。
11	行 52 学校教育の中で、子どもが日本固有の文化に親しみ、体験できる機会が多く設けられている。
12	行 64 障がいの有無に関わらず、等しく教育を受けることができる。
13	行 72 豊明市内から甲子園出場校を出す
14	行 73 運動部、文化部問わず、市内から全国区の部活のある中学校を増やす

○高齢者関連

No.	めざすまちの姿
15	行 35 一人暮らしの高齢者に目が行き届いている

○障がい者関連

No.	めざすまちの姿
16	行 59 病気や障がいがあっても、自分らしく生活ができる。
17	行 68 障がいのある人を、みんなで支えるまちになっている。

○都市基盤関連

No.	めざすまちの姿
18	行 7 豊明市内の主要道周辺が整備されており、活気がある。
19	行 12 開発されるべき地域が整備され、合理的なまちづくりがされている。
20	行 20 前後駅が豊明の顔として栄えている。
21	行 36 空き地の有効活用ができています
22	行 51 子どもが安全に負担なく通学できるよう、交通機関、道路の整備がされている。

○防犯・防災関連

No.	めざすまちの姿
23	行 29 災害時にライフラインが確保される
24	行 70 子どもが安心・安全に登下校ができる
25	行 74 夜中も女性1人で安心して歩ける街

○環境保全関連

No.	めざすまちの姿
26	行 31 自然が守られている
27	行 34 開発と自然保護が共存して住みやすいまちづくりがされている。

○行政・議会関連

No.	めざすまちの姿
28	行 1 年齢や社会的地位にとらわれず、一人一人の意見が尊重される町
29	行 9 総合計画が行政経営に生かされている。
30	行 10 税収が安定し、不交付団体になっている。
31	行 11 公共施設が適正に配備され、真に必要な施設が安全に維持されている。
32	行 13 大きな企業、商業施設が誘致され、安定した税収を確保できている。
33	行 15 市民が市役所に来て、困らないような案内・周知がされている。
34	行 17 いつでも必要な証明書類等の取得手続きができる。
35	行 44 公共施設の建替え等が行われ、市民ニーズにあった利用しやすいものになっている。
36	行 53 市で受けられるサービスを身近に知ることができ、必要とする地域住民が活用できている。
37	行 62 豊明市役所が、市民にとって来庁しやすい雰囲気である。
38	行 65 税金の無駄遣いがない。

39	行 66 公共施設が、安全で有効に活用されている。
----	---------------------------

○健康・スポーツ・医療関連

No.	めざすまちの姿
40	行 28 高い医療サービスが受けられる。
41	行 46 世代ごとに気軽にスポーツのできる機会や環境が整っている。
42	行 58 自分の健康だけでなく、家族や地域の健康にも気を配っている。

○産業・労働関連

No.	めざすまちの姿
43	行 4 市内外の人が誰でも知っている農産物（特産品）がある町
44	行 6 商店街に活気があり、人が集まる場所となっている。
45	行 14 地産地消が浸透し、市内農業が活性化されている。
46	行 23 男性も女性も、仕事や家庭について自分が叶えたいことを叶えられる。
47	行 43 大きく充実した商業施設ができ、市外の人も訪れる。
48	行 75 大型ショッピングモール、映画館、大手コーヒーチェーン店等の市内の施設の充実

○地域・まちづくり関連

No.	めざすまちの姿
49	行 18 世代間の交流が行われ、コミュニケーションが盛んになっている。
50	行 24 一人ひとりが「自分たちの住む豊明市をより良くしよう」という意識を持って取り組むことができる。
51	行 30 市民のプライバシーが守られる
52	行 33 市民の知識、経験を伝える場所が充実している。
53	行 37 給食に豊明のご当地メニュー(ひきずり鍋など)を取り入れ、幼い頃から豊明の味に親しみを持つ。

54	行 41 近隣同士の仲が良い。
55	行 45 まつりを活性化させる。
56	行 47 やってみたいと思ったことに気軽に挑戦できる環境があり、それが市民の間にも認知されている。
57	行 48 市民自ら、市全体でのイベントを企画、実行していくという環境や風潮がある。
58	行 61 全ての住民が夢や目標を持って生活している。

○観光・まちの魅力関連

No.	めざすまちの姿
59	行 8 豊明市を発展させるような施設等を積極的に誘致し、市内の人口や市外から遊びにくる人が増えている。
60	行 54 程よく遊ぶところがない。
61	行 60 全国の人が豊明を知っている。
62	行 63 豊明市の伝統行事が毎年テレビ放映され、有名になる。
63	行 69 花き市場の町として、市のいたるところに花がみられる
64	行 71 豊明市の良いところをうまく市内外に PR し、他市町の住民から豊明市が認知されている。

(3) 81 個の「めざすまちの姿」(重複・階層整理後)

No.	めざすまちの姿
1	子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる
2	教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい
3	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている
4	子どもが良いことと悪いことの区別ができる
5	子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている

6	いじめや自殺、引きこもりがない
7	魅力ある教育、特色ある教育となっている
8	教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる
9	国際的な素養を身に着けた人材が増えている
10	豊明市の歴史や文化の価値が見直され、次世代に継承されている
11	豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができている
12	比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている
13	すべての子どもが等しく教育を受けることができる
14	民間の力が活用されている
15	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている
16	市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
17	市民や企業、大学、行政などさまざまな主体者が連携し、まちの理念を実現するための地域経営ができている
18	行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにしている
19	世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている
20	市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている
21	税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている
22	豊明に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある
23	市民のプライバシーが守られている
24	子育て中でも、キャリアアップしながら働き続けることができている
25	子どもの数が増えている
26	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている
27	支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない

28	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない
29	車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける
30	子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている
31	健康のために自転車に乗る人が増えている
32	健康寿命が延びている
33	子どもの骨が丈夫で、体力がある
34	多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている
35	子どもが健全な食生活を送っている
36	元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている
37	子どもへの虐待がない
38	親がつながり、相談したり助け合うことで子育ての不安が解消されている
39	子どもが元気に外で遊んでいる
40	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している
41	子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている
42	支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある
43	外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている
44	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている
45	防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができている
46	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない
47	市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している
48	若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している
49	「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている

50	仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができている
51	コミュニティの単位や実施体制が見直され、必要なことは機敏に対応できている
52	若い世代が地域で活動し、地域に活気がある
53	若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている
54	NPO等が市内に多く存在し、主体的に活発に活動している
55	市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができている
56	家族や友達と出かける場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている
57	豊明市の中心が明確になり、市としての顔がある
58	交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している
59	道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる
60	下水道の整備がなされている
61	まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている
62	都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる
63	環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している
64	市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している
65	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである
66	日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている
67	自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている
68	空気がきれいである
69	豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している
70	中小企業が活性化し、雇用が生まれている
71	行政は、企業が活動しやすいように後押しし、豊明にたくさんの企業が進出している

72	市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている
73	若い人たちが地元で働ける
74	農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している
75	豊明市内で、従業員の能力を活かし、新しい発想が出るような会社がある
76	商店に魅力があり、人を呼び込むことができている
77	田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている
78	花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人を訪れている
79	豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている
80	若い世代の人が豊明市で楽しんだり、移り住んでいる
81	昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している